

# 三重県立看護大学 トイレ増築工事 設計図

図 面 リ ス ト							
建 築 工 事			電 気 設 備 工 事		機 械 設 備 工 事		
A-01	特記仕様書1	S-01	構造設計標準仕様	E-01	電気設備 特記仕様書	M-01	機械設備 特記仕様書
A-02	特記仕様書2	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-02	メーカーリスト	M-02	配置図
A-03	特記仕様書3	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-03	配置図	M-03	図示記号・樹仕様・機器表
A-04	特記仕様書4	S-04	鉄骨構造標準図(1)	E-04	分電盤結線図・照明器具姿図・凡例	M-04	1階平面詳細図 給排水衛生設備
A-05	特記仕様書5	S-05	鉄骨構造標準図(2)	E-05	電灯設備 1階・2階平面	M-05	2階平面詳細図 給排水衛生設備
A-06	特記仕様書6	S-06	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準	E-06	コンセント設備 1階・2階平面図	M-06	換気機器表
A-07	特記仕様書7	S-07	ベースバック柱脚工法設計施工標準図	E-07	拡声設備・自動火災報知設備 1階・2階平面図	M-07	1階平面詳細図 換気設備
A-08	敷地内標別概要表	S-08	地盤改良特記仕様書			M-08	2階平面詳細図 換気設備
A-09	標別概要、求積表	S-09	ボーリング調査位置図、柱状図				
A-10	配置図	S-10	基礎伏図、梁伏図				
A-11	設計概要、外部仕上表	S-11	軸組図				
A-12	内部仕上表	S-12	部材リスト				
A-13	1階平面詳細図	S-13	鉄骨詳細図				
A-14	2階平面詳細図						
A-15	屋根伏図						
A-16	立面図						
A-17	矩計図1						
A-18	矩計図2						
A-19	矩計図3						
A-20	展開図1						
A-21	展開図2						
A-22	天井伏図						
A-23	建具表						
A-24	家具詳細図、サイン詳細図						
A-25	部分詳細図						
A-26	改修前・後 既存部分詳細図						
A-27	外構図						
A-28	日影図						

工事特記仕様書	
I. 工 事 名	
II. 工事概要	
1. 工事場所	三重県津市夢が丘1丁目1番地1
2. 敷地面積	45,038.37㎡
3. 工事内容	
棟名称	トイレ棟
構造	S造
建築面積	74.40㎡
延べ面積	160.40㎡
工事項目	増築工事（建築、電気設備、機械設備、外構）

- III. 建築工事仕様
1. 共通仕様  
 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成25年版[平成26年3月改定]）（以下「標準仕様書」という。）による。
2. 特記仕様  
 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
 3) 項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
①	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（平成22年版） 2) 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（平成24年版）
	②発生材の処理等 (1.3.8)	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
	分別解体等の方法	
	工程	作業の有無
	造成等	・有・無 ・手作業 ・手作業、機械作業の併用
	基礎・基礎ぐい	・有・無 ・手作業 ・手作業、機械作業の併用
	上部構造部分・外装	○有・無 ・手作業 ○手作業、機械作業の併用
	屋根	・有・無 ・手作業 ・手作業、機械作業の併用
	建築設備・内装等	○有・無 ・手作業 ○手作業、機械作業の併用
	その他 ( )	・有・無 ・手作業 ・手作業、機械作業の併用
	○引渡を要するもの ○無 ・ 特別管理産業廃棄物 ・有( ) 処理方法( ) ・ 現場において再利用を図るもの( ) ・ 再資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材	
	引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告する。 (マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。)	

3. 建設副産物情報交換システムの利用  
 受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。  
 また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
- ④三重県産業廃棄物税  
 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。  
 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
- ⑤施工条件  
 下記で指定するもの以外は監督員と協議し決定する。  
 ・施工可能日  
 （ ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり ）  
 ・施工可能時間帯  
 （ ・ 指定なし ・ 時～ 時 ）  
 ・部別別の施工順序  
 （ ・ 指定なし ・ ）  
 ・工事車両の駐車場  
 （ ・ 指定なし ・ 図示(図面番号： ) ・ ( ) ）  
 ・資材置場  
 （ ・ 指定なし ・ 図示(図面番号： ) ・ ( ) ）
- ⑥概成工期  
 建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態にまで完了していること。
7. 部分引渡し部分使用  
 ・部分引渡しあり ・部分使用あり  
 指定部分（ ・ ）  
 時期（平成 年 月 日～ ）
8. 埋蔵文化財調査  
 埋蔵文化財調査が行われる場合は協力すること。  
 ・発掘調査等の実施あり  
 ・発見された場合、発掘調査等の実施あり
9. 電気保安技術者  
(1.3.3)
- ⑩技能士  
(1.5.2)
- ⑪建築材料等  
 職種別に可能なものについては積極的に活用すること
- 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築 材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」（最新版）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の 優先使用に努めること。  
 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。  
 3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。  
 4) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。  
 5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。  
 6) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。  
 (認定製品の品名： ・ )  
 7) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。  
 (認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ・ガードフェンス、 ・ )

12. 化学物質の濃度測定  
(1.5.9)
- |                       |        |          |      |      |         |      |
|-----------------------|--------|----------|------|------|---------|------|
| 測定対象化学物質（●で示したものとする。） |        |          |      |      |         |      |
| 適用                    | 施設用途   | ホルムアルデヒド | トルエン | キシレン | エチルベンゼン | スチレン |
|                       | 学校教育施設 | ●        | ●    | ●    | ●       | ●    |
|                       | 住宅     | ●        | ●    | ●    | ●       | ●    |
|                       | その他    | ●        | ●    | ●    | ●       | ●    |
- 対象箇所（ ・ 図示(図面番号： ) ・ ( ) ）  
 測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法 ）
- 報告書提出部数 2部
- ⑬特別な材料の工法  
 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
- ⑭騒音・振動の防止  
 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
- ⑮工事写真  
 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成24年版))に従い撮影する。  
 電子納品とし、次のものを提出する。  
 CD 部数は「18 電子納品」を参照
- ⑯完成図等  
 ○作成する ○完成図 ・ 保全に関する資料 ・ ( ) )  
 ○完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等) 完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかるとして発注者に移譲するものとする。
- ⑰完成写真  
 ○デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部  
 ○箇所数は外観4面各室2面程度とする  
 規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。  
 ○アルバム 1部 (大きさ 335mm×290mm程度)
- ⑱電子納品  
 ○工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。(提出部数 ○2部 ・ 部)  
 ○工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。(提出部数 ○2部 ・ 部)
- ⑲設備工事との取合い  
 施工範囲  
 ○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強  
 ○図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強  
 ○駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図  
 ○設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
- ⑳設計&L  
 ○図示のベンチマーク(B.M) mm  
 (現状地盤はB.M mm)
- ㉑養生その他  
 工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にないらぬ補修すること。
- ㉒事故の発生時  
 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。  
 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
- ㉓県内企業優先使用  
 本工事に於いて、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方は三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。
24. 総合評価落札方式  
 本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。
- ㉔不当介入を受けた場合の措置  
 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について  
 (1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固として

- これを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。  
 (2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。  
 (3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
- ㉖消防提出書類  
 1) 消火器の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。  
 2) 防火対象物使用開始届については書類の作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。
- ㉗主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間  
 1) 現場施工に着手するまで期間  
 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。  
 なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。  
 2) 検査終了後の期間  
 検査完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
- ㉘工事の一時中止  
 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。  
 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。  
 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。  
 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
- ㉙労働安全衛生法に基づく労働衛生防止措置  
 建築基準法に基づき定められた区分等  
 基準風速 Vo = 34 m/s  
 地表面相度区分 (○Ⅱ ⅢⅠ)  
 積雪区分 (30) cm
- ㉚火災保険等  
 三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。  
 (1) 保険の目的物 工事事務物及び工事材料（支給材料を含む）  
 (2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間  
 (3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額
- ㉛不正軽油の使用の禁止  
 1) 一般事項  
 県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。  
 2) 調査の協力  
 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。  
 3) 是正措置  
 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

備 考		NISSHIN SEKKEI 目新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之	Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov	
			Drawing Title	特記仕様書 1	SCALE	No Scale	
				設計担当者			
				一級建築士 No.27089 倉田利彦			A-01

仮設工事 1. 監督員事務所 (2.3.1) 2. 監督員事務所の備品 (2.3.1) 3. 仮設便所 4. 工用水 5. 工用水電力 6. 交通誘導員 7. 埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1) 8. 建設発生土の処理 (3.2.5) 9. 山留めの撤去 (3.3.3) 10. 地業改良 11. 砂及び砂利地業 (4.6.3) 12. 地盤改良 (4.6.5) 13. 床下防湿層 (4.6.5) 14. 既製コンクリート杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7)

(参考表) 種別 杭径(mm) 杭長 継手数 セット数 長期設計支持力(kN/本) 備考 8. 鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.4.3) (4.3.5) (4.3.6) 9. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.4) (4.5.5) (4.5.3) 10. 地盤改良 (表4.5.1) 11. 砂及び砂利地業 (4.6.3) 12. 地盤改良 (4.6.5) 13. 床下防湿層 (4.6.5)

鉄筋工事 1. 鉄筋の種類 (5.2.1) 2. 溶接金網 (5.2.2) 3. 内法直径 (5.3.2) 4. 継手 (5.3.4) 5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5) 6. 各部配筋 (5.3.7) 7. 圧接完了後の試験 (5.4.9) 8. 機械式継手及び溶接継手 (5.5.2) 9. コンクリートの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.11.1) (6.11.3) (6.10.1) 10. コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) 11. コンクリートの仕上り (6.2.5) 12. セメントの種類 (6.3.1) (表6.3.1)

5. 骨材 (6.3.1) 6. 量中コンクリート (6.12.2) 7. 型枠 (6.8.2) (6.8.3) 8. コンクリート強度試験 (6.9.3) 9. 軽量コンクリート (6.10.1) (表6.10.1) 10. 寒中コンクリート (6.11.2) 11. 無筋コンクリート (6.14.1) 12. マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) 13. 流動化コンクリート (6.15.1) 14. 混和材料 (6.3.1) (6.3.2)

⑦ 鉄骨工事

① 施工管理技術者 (7.1.4) 適用する

② 製作工場 (7.1.3) (株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場  
・ J ○ R ・ M ・ H ・ S

③ 鋼材 (7.2.1) 材質 ○ 図示 (図面番号: S-12)

④ 高力ボルト (7.2.2) 種類 ○ トルシア形高力ボルト2種 (S10T)  
・ JIS形高力ボルト2種 (F10T)  
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)  
高力ボルトの径 ○ 図示 (図面番号: S-12)  
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示 (図面番号: S-12)  
すべり係数試験 ○ 行わない ・ 行う  
試験方法等 ( )  
JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ( )。

⑤ 普通ボルト (7.2.3) ボルトの径 ○ 図示 (図面番号: S-12)  
(7.4.2) ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示 (図面番号: S-12)

6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.12.4) 摩擦面の処理  
・ プラスト処理 (表面相度 50 μm Rz以上)  
・ りん酸塩処理  
(7.4.2) すべり耐力等の確認方法  
・ すべり耐力試験  
試験方法等 ( )  
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
・ 図示 (図面番号: )

7. アンカーボルト (7.2.4) 材質 構造用 ・ 図示 (図面番号: )  
(7.10.3) 建方用 ・ SS400 ・ ( )  
(表7.10.1) ・ A種 ・ B種 ・ C種  
(表7.2.3) アンカーボルト及びナットの種類の規格、及び仕上げの程度  
(7.4.2) ・ 標仕 [表7.2.3] による  
適用箇所 図示 (図面番号: )  
形状、寸法 構造用アンカーボルト ・ 図示 (図面番号: )  
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
(表8.4.2) ・ 図示 (図面番号: )  
(8.4.5) ・ 標仕 [表7.2.3] による  
(表8.4.3) ・ 標仕 [7.2.5] (a) (b) 以外の溶接材料

⑧ 溶接材料 (7.2.5) 材料及び使用箇所 材料 ( )  
使用箇所 ○ 図示 (図面番号: S-04.05)

9. タンク (7.2.6) 種類 建築用ターンバックル鋼  
・ 割枠式 ( )  
建築用ターンバックルボルト  
・ 羽子板ボルト ( )

⑩ デッキプレート (7.2.7) (7.7.8) 材質、形状及び寸法 ○ 図示 (図面番号: S-06)  
溶接方法 ○ 図示 (図面番号: S-06)

⑪ 柱底均しモルタル (表7.10.2) (7.2.9) 柱底均しモルタルの工法、厚み ○ A種 (30)mm ・ B種 ( )mm  
無収縮モルタルの材料及び割合 ○ 標仕 [7.2.9] による ( )

12. 材料試験等 (7.2.10) 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験  
・ JIS G9091により行う

⑬ 仮組 (7.3.10) ○ 行わない ・ 行う  
仮組を行う範囲 ○ 図示 (図面番号: )

⑭ 溶接作業における技能資格者 (7.6.3) 溶接作業の技量付加試験  
○ 行わない ・ 行う

⑮ 溶接部の開先 (7.6.4) 開先の形状 ○ 図示 (図面番号: )

⑯ 溶接施工 (7.6.7) エンドタブの切除  
○ 無し ・ 有り (適用箇所 図示 (図面番号: ))  
スクラップの形状 ○ 図示 (図面番号: S-04.05) ( )

⑰ 溶接部の試験 (7.6.11) 試験の種類  
・ 超音波探傷試験 ( )  
溶接区分 AOQL (%) 検査水準 備考  
現場溶接 ・ 2.5  
・ 4.0 ・ 計数連続生産型採取検査  
工場溶接 ・ 2.5  
・ 4.0 ○ 6

⑱ 錆止め塗装 (7.8.3) 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製部への内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)  
○ 標仕 [18.3.2]、[表18.3.1] ( B ) 種  
耐火被覆材の接着する面への塗装  
・ 行わない ○ 行う  
適用箇所 図示 (図面番号: )  
種類  
○ 標仕 [18.3.2]、[表18.3.1] ( B ) 種  
・ 標仕 [18.3.2]、[表18.3.2] ( ) 種

⑲ 耐火被覆 (7.9.2) 部位 種別 仕様  
柱・梁 吹付 t25mm

20. 軽量形鋼構造 (7.11.2) 接合部 (ボルト接合の場合)  
・ 普通ボルト接合 ( )

8 ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.4) 種類  
・ 空洞ブロック16  
圧縮厚さ  
・ 図示 (図面番号: )  
正味厚さ  
・ 図示 (図面番号: )  
モジュール呼び寸法  
・ 図示 (図面番号: )  
各部の配筋  
・ 図示 (図面番号: )  
コンクリートの調合  
・ 標仕 [表8.2.2] 以外のとき  
・ 21N/mm<sup>2</sup> ( )

2. コンクリートブロック塀及び塀 (8.3.2) (8.3.3) ブロックの種類  
・ 標仕 [表8.3.1] ( )  
ブロックの厚さ  
・ 図示 (図面番号: )  
各部の配筋  
・ 図示 (図面番号: )  
化粧  
・ 有り ・ 無し

種類	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	呼び寸法		構法	耐火性能
		厚さ (mm)	幅 (mm)		
・ 外壁パネル	( )	・ 100	600	・ A種 ・ B種	・ ( ) 時間 ・ 無し
		( )			
・ 間仕切壁パネル	( )	・ 100	600	・ C種 ・ D種	・ ( ) 時間 ・ 無し
		( )			
・ 屋根パネル	( )	・ 100	600	・ F種	・ ( ) 時間 ・ 無し
		( )			
・ 床パネル	( )	・ 100	600	・ F種	・ ( ) 時間 ・ 無し
		120			
		150			

パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 (mm) ( )  
伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する (材料: )

種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法
・ 外壁パネル	・ フラットパネル	( )	( )	・ A種 ・ B種
	・ デザインパネル			
	・ タイルベースパネル			
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル	( )	( )	・ B種 ・ C種
	・ デザインパネル			
	・ タイルベースパネル			

パネル相互の目地幅 (mm)  
・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ( )  
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ・ 15 ( )  
パネルに欠き込みを行う場合  
・ パネル開口の限度 ○ 図示 (図面番号: )

4. 押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)

⑨ 防水工事

1. アスファルト防水 (表9.2.3) ~ (表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3) 改質アスファルトシート  
種類 ・ 標仕 [表9.2.3] ~ 標仕 [表9.2.8] ・ 図示 ( )  
厚さ ・ 標仕 [表9.2.3] ~ 標仕 [表9.2.8] ・ 図示 ( )  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート  
種類 ・ 標仕 [表9.2.5] ~ 標仕 [表9.2.8] ・ 図示 ( )  
厚さ ・ 標仕 [表9.2.5] ~ 標仕 [表9.2.8] ・ 図示 ( )  
絶縁用シート  
・ ポリエチレンフィルム (厚さ 0.15mm以上)  
・ フラットヤーンクロス (70g/m<sup>2</sup>)  
押え金物  
・ アルミ製 L30×15×2.0  
断熱材  
・ 屋根保護防水  
種類 ・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり)  
厚さ ( )  
・ 屋根露出防水  
種類 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種1号  
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種2号  
厚さ ( )  
(表9.2.7) ・ 脱気装置  
(表9.2.8) 種類 ( ) 設置数量 図示 (図面番号: )  
(9.2.4) ・ 仕上げ塗料  
(9.2.5) 種類 ( ) 使用量 ( )  
・ 防水層下地モルタル塗 (施工箇所 図示 (図面番号: ))  
ルーフトレンドリ立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ( )  
(9.2.3) 保護コンクリートの厚さ  
こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 ( )  
床タイル張り ・ 水下 60mm以上 ( )  
屋上排水溝の適用  
・ 適用する  
屋内防水  
保護層 ・ 設ける (適用箇所 図示 (図面番号: ))  
・ 設けない

種別	施工箇所

2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1) ~ (表9.3.3) 改質アスファルトシート  
種類 ・ 標仕 [表9.3.1] ~ 標仕 [表9.3.3] ・ 図示 ( )  
厚さ ・ 標仕 [表9.3.1] ~ 標仕 [表9.3.3] ・ 図示 ( )  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート  
種類 ・ 標仕 [表9.3.1] ~ 標仕 [表9.3.3] ・ 図示 ( )  
厚さ ・ 標仕 [表9.3.1] ~ 標仕 [表9.3.3] ・ 図示 ( )  
断熱材  
・ 屋根保護防水  
厚さ ( )  
・ 屋根露出防水  
種類 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種1号  
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種2号  
厚さ ( )  
・ 脱気装置  
種類 ( ) 設置数量 図示 (図面番号: )  
種類 ( )

種別	施工箇所

3. 合成高分子ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1) (9.4.2) (9.4.4) 断熱工法の場合の断熱材  
・ 標仕 [表9.4.2] による ・ 図示 (図面番号: )  
絶縁用シート  
・ 発砲ポリエチレンシート  
( )  
露出の場合の保護塗装  
・ カラー ・ シルバー  
目地処理 (接着工法)  
・ PCコンクリート下地の場合 図示 (図面番号: )  
増張り  
・ S-F1の場合のPCコンクリート部材の入隅部 図示 (図面番号: )

④ 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2) 屋根  
種類 X-カ仕様  
Y-1  
Y-2  
・ 種別X-1における脱気装置  
種類 ( ) 設置数量 図示 (図面番号: )  
・ 種別Y-2における保護層 図示 (図面番号: )  
適用部位  
・ 図示 (図面番号: )  
防水層の種類及び工程  
・ C-U1 ・ C-UP  
(9.6.3) 下地処理  
・ 図示 (図面番号: )  
(9.7.5) 接着性試験  
○ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

施工箇所	種別
屋根	X-カ仕様
	Y-1
	Y-2

⑤ ケイ酸系系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) 適用部位  
・ 図示 (図面番号: )  
防水層の種類及び工程  
・ C-U1 ・ C-UP  
(9.6.3) 下地処理  
・ 図示 (図面番号: )  
(9.7.5) 接着性試験  
○ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

⑥ シーリング (9.7.2) (表9.7.1) 種別  
・ 標仕 [表9.7.1] による

施工箇所	目地寸法	種類
建具廻り	20x10	MS-2
仕上り廻り	15x10	MS-2
外壁ジョイント目地	20x10	MS-2

⑩ 石工事

① 天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2) 使用部位 種類 (名称) 品質 寸法・厚さ (mm) 表面仕上げ 工法 形状  
床 御影石 ・ 2等 t30 ・ 粗磨き  
・ 本磨き  
壁 ・ 1等 ・ 水磨き  
・ ( )  
(10.1.5) ○ 清掃は床面ワックスを使用する  
(表10.2.1) ・ ジェットバーナー仕上面のパフ仕上有り  
(10.6.2) 石裏面処理 (床面)  
・ 適用する ○ 適用しない  
(10.1.3) 裏打ち処理  
・ 適用する ○ 適用しない  
・ 粗面仕上げの場合ののみみ込み部分の仕上げ ( )  
・ 割付 図示 (図面番号: )  
・ 標仕 [10.1.3] (a) による

2. テラゾ (10.2.1) (表10.2.2) テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・ 大理石	・ 1.5~12mm	・ 300型 ・ 400型	・ ( )

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上
	・ 大理石	・ 1.5~12mm	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面	・ ( )	・ ( )

3. 外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3) 受け金物の材質、形状、寸法  
・ ( )  
ドレンパイプの材質  
・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ  
・ ( )  
下地ごしらえ  
・ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法  
・ あと施工アンカー横筋流し工法  
アンカーの材質及び径 ・ SS400 M12 ( )  
あと施工アンカーの材質及び形状 ( )  
目地 一般目地  
目地幅 (mm) ・ 6以上 ( )  
シーリング材 ・ 適用する  
伸縮調整目地  
位置  
・ 標仕 [表11.1.1] による ・ 図示 (図面番号: )  
シーリング材の目地寸法  
・ 幅、深さとも6mm以上 ・ 図示 (図面番号: )



15 左官工事

1. モルタル塗り (15.2.2) (15.2.5)  
 ・既製目地材を使用する  
 形状 ( )  
 外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着試験  
 ・行う

2. エルペレバング (15.4.2) (表15.4.1)  
 ・せっこう系 ( )  
 ・セメント系 ( )

3. 仕上塗材仕上 (15.5.2) (表15.5.1) (15.5.4)

種類	呼び名	仕上形状	工法
薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク	
厚付け仕上塗材	・( )	・( )	・( )
	・外装厚塗材C	スタック状 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひきお越し ・かき落とし	・吹き付け
			・こて
	・外装厚塗材S	スタック状 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひきお越し	・吹き付け
・こて			
・外装厚塗材E	・凹凸状 ・ひきお越し	・ローラー	
・( )	・( )	・( )	・( )
複層仕上塗材	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様	・ローラー ・吹付け
	・( )	・( )	・( )
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量骨材仕上塗材	・砂壁状	

内装薄塗材・内装厚塗り材  
 ・ JIS A 6909 調湿形

内装薄塗材W  
 ・耐湿性必要

・外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタック以外の場合  
 材所要量 ( kg/m<sup>2</sup>)

(表15.5.2) 下地処理  
 ALCパネルの場合の内壁目地部の形状  
 ・V形目地付き ( )

複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・シリカ系	・水系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・水系	・水系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・水系	・水系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・水系	・水系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無

4. マスチック塗材塗り (15.6.2) (表15.6.1)  
 種類 ・A種 ・B種  
 仕上げ材塗り ( )

5. ロックウール吹付け (15.7.2) (表15.7.1)  
 ・仕上げ吹付け厚さ ( ) mm

16 建具工事

1. 防火戸 (16.1.3)  
 例示仕様  
 ・個別認定 (認定番号 )  
 ・自動開閉機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知器又は煙感知機と連動  
 ・図示 (図面番号 : )

2. 見本の製作等 (16.1.4)  
 ・製作する ( )  
 ・製作しない ( )

3. 防犯建物部品 (16.1.6)  
 ・図示 (図面番号 : )

4. 窓枠製建具 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表14.2.1)  
 外部に面する建具の性能等級等  
 ・A種 ( )  
 ・B種 ( )  
 ・C種 ( )  
 表面処理  
 ・B-1種 ( )  
 ・B-2種 ( )  
 内部に面する建具  
 表面処理 種別 ( ) ・標準色 ( ) ・特注色 ( )  
 ・防音ドアセット、防音サッシ ( 等級 )  
 ・断熱ドアセット、断熱サッシ ( 等級 )  
 ・耐震ドアセット、面内変形追随性 ( 等級 )  
 ・結露水の処理方法 ( )

5. 網戸 (16.2.3) (16.2.4) (16.2.5)  
 形式 ( )  
 ・可動式 ( )  
 ・固定式 ( )  
 網の材質  
 ・合成樹脂 ( )  
 ・ガラス繊維入り合成樹脂 ( )  
 ・ステンレス (SUS316) ( )  
 網目  
 ・16メッシュ ( )  
 ・18メッシュ ( )  
 形状及び仕上げ  
 建具の見込み寸法 ( )  
 ・図示 (図面番号 :A-23, 25)  
 工法  
 水切り板、ぜん板等 ( )  
 ・図示 (図面番号 :A-23, 25)

6. 樹脂製建具 (16.2.1) (16.2.3) (16.2.4) (16.2.5) (16.8.2)  
 ・水密性 ・A種 ・B種 ・C種  
 ・防音ドアセット、防音サッシ ( 等級 )  
 ・断熱ドアセット ( 等級 )  
 ガラス  
 ・複層ガラス ( )  
 建具枠見込み寸法 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 表面色  
 ・標準色 ( )  
 ・特注色 ( )  
 水切り板 ぜん板 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 丁番 標仕 [表16.8.3] ( )  
 ・図示 (図面番号 : )

7. 鋼製建具 (16.4.3) (表16.2.1) (16.2.4)  
 ・簡易気密型ドアセット  
 ・外部に面する建具の耐風圧 ( S-4 ・ S-5 ・ S-6 )  
 ・防音ドアセット、防音サッシ ( 等級 )  
 ・断熱ドアセット、断熱サッシ ( 等級 )  
 ・耐震ドアセット、面内変形追随性 ( 等級 )  
 めっき付着量 JIS3302 ・ Z12 ・ F12 ( )  
 JIS3317 ・ Y08 ( )

8. 鋼製軽量建具 (16.5.2)  
 ・簡易気密型ドアセット 気密性 ・ A-3  
 ・防音ドアセット、防音サッシ ( 等級 )  
 ・断熱ドアセット、断熱サッシ ( 等級 )  
 ・耐震ドアセット、面内変形追随性 ( 等級 )

9. ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.5)  
 鋼板類の表面仕上げ  
 ・塗装 ( )  
 ・ビニル被覆鋼板 ( )  
 ・カラー鋼板 ( )  
 ・ステンレス鋼板 ( ・HL ・鏡面 )  
 召し合せ、縦小口包み板等の材質  
 ・鋼板 ( )  
 ・ステンレス鋼板 ( )  
 ・アルミニウム合板押出形材 ( )  
 戸の H>2400 又は W>950  
 鋼板類の厚さ ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 ・防音ドアセット、防音サッシ ( 等級 )  
 ・断熱ドアセット、断熱サッシ ( 等級 )  
 ・耐震ドアセット、面内変形追随性 ( 等級 )  
 ステンレス鋼板 ・ SUS304 ( )  
 表面仕上げ  
 ・HL ( )  
 ・鏡面仕上げ ( )  
 曲げ加工  
 ・普通曲げ ( )  
 ・角出し曲げ ( )  
 戸の H>2400 又は W>950  
 鋼板類の厚さ ( )  
 ・図示 (図面番号 : )

10. 木製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)  
 建具材の含水率 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
 材料  
 ・フラッシュ戸の材料 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 ・枠及びくづりの材料 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 ・かまち戸のかまち、鏡板の樹種 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 ・ふすまの上張 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 ・縁の仕上げ ( )

11. 建具用金物 (16.8.2) (表16.8.1) (16.8.4)  
 マスターキー ( )  
 ・製作する ( )  
 ・製作しない ( )  
 ・監督員と協議の上システムを決定する ( )  
 キーボックス ( )  
 ・要 ( )  
 ・不要 ( )  
 金物の見え掛かり部等の材質等  
 ・標仕 [表16.7.1]、[表16.7.2]、[表16.7.3]、[表16.7.4]による ( )  
 ・図示 (図面番号 : )

12. 自動ドア開閉装置 (16.9.2) (表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3)  
 開閉装置  
 ・スライディングドア ( )  
 ・スイングドア ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 センサ種類 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 性能値 ( )  
 ・標仕 [表16.9.1] ( )

13. 自動式吊り引き戸装置 (16.10.3)  
 性能 ( )  
 ・標仕 [表16.10.1] ( )

14. 重量シャッター (16.11.2) (表16.11.1)  
 シャッターの種類 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 開閉機能による種類  
 ・上部電動式 (手動併用) ( )  
 ・上部手動式 ( )  
 一般重量シャッターのシャッターケース  
 ・設ける ( )  
 ・設けない ( )  
 ・耐風圧性能 ( Pa以上 )  
 ・めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ( )

15. 軽量シャッター (16.12.2) (表16.12.1) (16.12.4) (16.12.3)  
 開閉機能による種類  
 ・手動式 ( )  
 ・上部電動式 (手動併用) ( )  
 ・耐風圧性能 ( Pa以上 )  
 スラットの材質 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 スラットの形状  
 ・インターロッキング形 ( )  
 ・オーバーラッピング形 ( )  
 めっき付着量 JIS3312 ・ Z06 ・ F06 ( )  
 JIS3322 ・ Y90 ( )

16. オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)  

セクション材料	開閉形式	収納形式	ガイドレール
・スチールタイプ	・バランス式	・スタンダード系	・溶融亜鉛
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド系	めっき鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト系	・ステンレス
		・パーチカル系	

 ・耐風圧性能 ( Pa以上 )

17. ガラス (16.14.2) (16.14.3) (16.14.4) (表16.14.1)  
 板ガラス ( )  
 ・図示 (図面番号 : A-23 )  
 留め材 ( )  
 ・シーリング ( )  
 ・ガスケット ( )  
 ガラス溝の寸法、形状等  
 ・標仕 [表16.14.1]による ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 ・熱線反射ガラスの映像調整を行う ( )

18. ガラスブロック (16.14.5)  
 表面形状、寸法、厚さ ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 積み ( )  
 金属枠、補強材 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 化粧カバー ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 工法  
 ・標仕 [16.14.5] (b) (2)による ( )

17. カーテンウォール工事

1. 種類 (17.1.1) (17.1.3)  
 ・メタルカーテンウォール (種類 )  
 ・PCカーテンウォール ( )

2. 性能 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)  
 耐風圧性 ( )  
 耐震性 ( )  
 水密性 ( )  
 気密性 ( )  
 耐火性 ( )  
 耐温度差性 ( )  
 遮音性 ( )  
 断熱性 ( )  
 表面仕上げ ( )  
 ・シーリング ( )  
 性能の確認方法 ( )

3. メタルカーテンウォール (17.2.3) (表17.2.1) (17.2.5) (17.2.6)  
 カーテンウォールの材料  

材料	規格等	見え掛り部の仕上げ	映像調整
・アルミニウム製	・標仕 [16.2.3]	・A-1	・行う
・( )	・( )	・A-2	・( )

 製品の寸法許容差 ( )  
 ・標仕 [表17.2.1]による ( )  
 ガラス溝の寸法、形状等 ( )  
 ・カーテンウォール製作所の仕様による ( )  
 ・図示 (図面番号 : )

取付け  
 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ( )  
 ・標仕 [標17.2.2]による ( )  
 カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ( )  
 ・標仕 [標17.2.3]による ( )  
 ガラスの取付け ( )  
 ・構造用ガスケットを用いる (図示 (図面番号 : ))

4. PCカーテンウォール (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (17.3.9)  
 カーテンウォールの材料  
 コンクリートの種類及び品質 ( )  
 ・標仕 [17.3.2]による ( )  
 鉄筋 ( )  
 ・SD295A ( )  
 補強鉄線 ( )  
 ・3.2 ( )  
 配筋 ( )  
 ・図示 (図面番号 : )  
 先付け材料  
 ・サッシ枠 ( )  
 ・ゴンドラ用ガイドレール ( )  
 表面仕上げ材 ( )  
 ・磁器質タイル ( )  
 石材 ( ・花こう岩 ・大理石 ( ) )  
 取付け  
 カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ( )  
 ・標仕 [標17.3.2]による ( )  
 ガラスの取付け ( )  
 ・構造用ガスケットを用いる (図示 (図面番号 : ))

18. 塗装工事 (18.2.2) (18.14.2)

1. 材料 ( )  
 防火材料の指定箇所 ( )

2. 施工一般 (18.2.2) (18.14.2)  

塗料塗り		施工箇所	下地の種類	素地ごしらすえ	錆止め塗料の種類
種類	種別				
SOP	・A種 ・B種		鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種	
EP	・A種 ・B種		ボード面	・A種 ・B種	
EP	・B種		ボード面	・B種	

3. 耐水性塗料塗り (DP) (18.7.2) (表18.7.1)  

種別	施工箇所	上塗り等級
		・1級 ・2級 ・3級

19. 内装工事 (19.2.2) (19.2.2)

1. ビニル床シート張り (19.2.2)  

種類	色柄	厚さ (mm)	継目
・NC ( FS )	・無地 ( ) ・柄物 ( )	・2.0 ( 2.5 )	・溶接 ( ) ・突付け ( )

2. ビニル床タイル張り (19.2.2)  

寸法	種類	厚さ (mm)
・300×300	・コンポジションビニル床タイル	半硬質 ・2.0
・450×450	・コンポジションビニル床タイル	軟質 ・( )
	・ホモジニアスビニル床タイル	・( )

19 内装工事

3. 特殊機能床材 (19. 2. 2)

- ・ 帯電防止ビニル床タイル 寸法( mm) 厚さ( mm)
- ・ 視覚障害者用床タイル
- ・ 材質( ・ ビニル床タイル ・ ( ) )
- ・ 寸法( ・ 300×300 ・ ( ) )
- ・ 耐動荷重性床シート
- ・ 種類( ) 寸法( ) 厚さ( mm)
- ・ ゴム床タイル
- ・ 種類( ) 寸法( ) 厚さ( mm)
- ・ 防滑り性床シート 種類( ) 性能( ) 厚さ( )

4. ビニル幅木 (19. 2. 2)

高さ ・ 図示(図面番号: ) ○ 60mm

厚さ ・ 図示(図面番号: ) ○ 1.5mm以上

5. カーペット敷き (19. 3. 3)

(表19. 3. 1)

(表19. 3. 2)

種別	色柄	パイル形状	パイル長・総厚	織り方
・ A種	・ 無地	・ ループ	・ パイル長	・ ウィルトンカーペット
・ B種	・ 柄物	・ カット	・ 5~7mm	・ ダブルフェースカーペット
・ C種	(標準品)	・ カット、ループ併用	・ 4~6mm	・ アクシミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・総厚	工法
・ タフテッドカーペット	・ 無地	・ ループ	・ パイル長	・ グリップ
	・ 柄物	・ カット	・ 5~7mm	・ 全面接着
			・ 4~6mm	
・ ニードルパンチカーペット	・ 無地		・ 総厚さ	・ 全面接着
	・ 柄物		・ ( )	
・ タイルカーペット	・ 無地	・ ループ	・ 総厚さ、サイズ	・ 全面接着
	・ 柄物	・ カット	・ 6.5mm	
			・ 500角	

・ 帯電性(人体帯電電圧の値3kV以下)

タイルカーペットの敷き方

平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示(図面番号: )

階段部分

・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示(図面番号: )

下敷き材

・ 第2種2号、呼び厚さ8mm

・ 図示(図面番号: )

見切り、押え金物

・ 適用する(材質、形状等 図示(図面番号: ) )

6. 合成樹脂塗床 (19. 4. 2)

(表19. 4. 4)

(表19. 4. 5)~

(表19. 4. 8)

- ・ 弾性ウレタン塗床材(JISK 5970)
- ・ 仕上げ
- ・ 平滑仕上げ
- ・ 防滑仕上げ
- ・ つや消し仕上げ
- ・ エポキシ樹脂塗床材(JISK 5970)
- ・ 仕上げ
- ・ 薄膜流し展べ仕上げ
- ・ 厚膜流し展べ仕上げ( ・ 平滑 ・ 防滑 )
- ・ 樹脂モルタル仕上げ( ・ 平滑 ・ 防滑 )
- ・ 塗膜型塗床材仕上げ

7. フローリング張り (19. 5. 2)

(19. 5. 4)

(19. 5. 5)

(19. 5. 6)

(19. 5. 7)

材料	厚さ(mm)	大きさ(mm)	樹種
フローリングブロック	・ 15	・ 303×303	・ なら
	・ ( )	・ ( )	・ ( )

・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード(根太張用)		・ なら
		・ ( )
・ 複合フローリング(根太張用)	・ A種	
	・ B種	
	・ C種	

防湿処理 ・ 図示(図面番号: )

・ 接着工法

材料	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)
・ フローリングボード(直張用)	・ なら		
	・ ( )		
・ フローリングブロック(直張用)			
・ 複合1種フローリング(直張用)	・ A種		
	・ B種		
	・ C種		
・ 複合2種フローリング(直張用)			
・ 複合3種フローリング(直張用)			
・ モザイクパーケット(直張用)	・ 図示	・ 図示	・ 図示
	( )	( )	( )

8. 畳敷き (19. 6. 2)

(表19. 6. 1)

9. セッコウボード、その他のボード及び合板張り (19. 7. 2)

(表19. 7. 1)

(19. 7. 3)

(表19. 7. 4)

(表19. 7. 5)

材種	種別	厚さ(mm)
○セッコウボード	壁	・ 9.5(準不燃)
	天井	○ 12.5(不燃)
		○ 9.5
・ 化粧セッコウボード	・ トラパーチン模様	・ 9.5(不燃)
	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)
○ロックウール化粧吸音板	○普通	・ 9
	・ 立体模様	○ ( 12 )
		・ ( )
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	・ ( )
・ ( )	・ ( )	・ ( )

遮音シール材

・ 適用する( ・ シーリング材 ・ ジョイントパウンド)

合板類の張付け ・ A種 ・ B種

セッコウボードの目地工法

○ 継目処理 ○ 突付け ○ 目透し

材種	種別	厚さ(mm)	工法
・ 吸音用グラスウールボード	・ 2号32K	・ 25	・ グラスクロス19
・ グラスウール成型板			・ メッシュ張り(小口共)
			・ 化粧ボタン止め
			(タテ、ヨコ共@300程度)

特定フロンを含まないもの

施工箇所	材料	防火性能	品質

素地ごしらえ

セッコウボード面 ・ A種 ・ B種

コンクリート面 ・ A種 ・ B種

モルタル・プラスター面 ・ A種 ・ B種

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
土間下	押出法ポリスチレンフォーム保温材	・ B類2種	・ 25
			○ ( 30 )
	吹付け硬質ウレタンフォーム	・ A種1	・ ( )

10. 吸音材張り (19. 7. 2)

11. 壁紙張り (19. 8. 2)

12. 断熱材 (19. 9. 2)

20 ユニット及びその他工事

1. フリーアクセスフロア (20. 2. 2)

施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上げ材及び厚さ(mm)	備考
			・ タイルカーペット	・ 帯電防止
			・ 6.5mm	・ 漏えい抵抗
			・ ( )	・ ( )
			・ ビニル床タイル( )mm	
			・ タイルカーペット	・ 帯電防止
			・ 6.5mm	・ 漏えい抵抗
			・ ( )	・ ( )
			・ ビニル床タイル( )mm	

試験方法 20. 2. 2(2)(i) ~ (iv)

寸法精度 20. 2. 2(5)(i) ~ (iii)

2. 可動間仕切 (20. 2. 3)

組立て方式

・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式

寸法及び形状 ・ 図示(図面番号: )

表面材の材質及び仕上げ ・ 図示(図面番号: )

遮音性 ・ 高遮音

3. 移動間仕切 (20. 2. 4)

操作方法

・ 手動式 ・ 電動式

表面材の材質及び仕上げ ・ 図示(図面番号: )

遮音性 ・ 高遮音

ハンガーレールの取付け下地の補強

・ 標仕[20. 2. 4](c)(3)による ・ 図示(図面番号: )

4. トイレブース (20. 2. 5)

5. 階段滑り止め (20. 2. 6)

6. 黒板及びホワイトボード (20. 2. 8)

7. 表示 (20. 2. 10)

8. 煙突ライニング (20. 2. 11)

9. ブラインド (20. 2. 12)

10. ロールスクリーン (20. 2. 13)

11. カーテン及びカーテンレール (20. 2. 14)

12. アコーディオンドア

21 排水工事

1. 排水管 (21. 2. 1)

(表21. 2. 1)

材種	管の種類	呼び径	備考
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP		

2. 排水樹等 (21. 2. 2)

(22. 10. 2)

- ・ 排水樹
- ・ 種類及び寸法 ・ 図示(図面番号: )
- ・ 適用荷重( )
- ・ 排水溝
- ・ 種類及び寸法 ・ 図示(図面番号: )
- ・ ふたの種類

材質	用途	適用荷重	メンパーピッチ	備考

3. 地業の材料 (21. 2. 3)

(21. 10. 2)

4. 埋め戻し土 (21. 2. 3)

表面仕上

○メラミン樹脂系化粧板

○ポリエステル樹脂系化粧板

幅木

○ 図示(図面番号: A-23 )

扉小口の材質

・ ステンレス製 ・ アルミ製 ○扉一体成形

5. ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)

幅木

・ 約35mm ・ 図示(図面番号: )

工法

・ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 黒板の種類 ・ 焼付け ・ ( )

黒板の色 ・ 緑 ・ ( )

7. ホワイトボードの種類 ・ ホーロー ・ ( )

区分

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
・ 室名札	・ アクリル	・ 5mm	・ ( )	・ シルクスクリーン印刷	・ ( )
・ ( )	・ ( )				
・ 案内板	・ アクリル	・ 5mm	・ ( )	・ シルクスクリーン印刷	・ ( )
・ ( )	・ ( )				

・ 衝突防止表示 (図示(図面番号: ))

・ 非常用進入口表示 (図示(図面番号: ))

○ トイレ表示 (図示(図面番号: A-24 ))

煙突用成形ライニング材 ・ 適用する

適用安全使用温度 ・ ( )℃

形式

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
・ 横形ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式	・ 25	・ 鋼製
	・ ( )	・ コード式	・ ( )	・ ( )
・ 縦形ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式	・ 80	・ ( )
	・ ( )	・ コード式	・ 100	・ ( )
	・ ( )	・ ( )	・ ( )	

操作方法

・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式

寸法及び材種 ・ 図示(図面番号: )

カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ	・ フランスひだ	・ 片引き	・ 手引き
・ レース	・ 箱ひだ	・ つまひだ	・ ひも引き
・ 図示( )	・ プレーンひだ	・ 引分け	・ 電動
・ 暗幕(遮光( )級)		・ ( )	・ ( )

材種

・ ステンレス製 ・ アルミニウム製

強さ区分

・ 10-90 ・ ( )

形状

・ シングル ・ ダブル

断面形状

・ 角形 ・ C形 ・ D形

表面材

・ ビニルレザー張り ・ ( )

形式

・ 引分け ・ 片引き

折りたたみ幅(mm)

・ 約230 ・ 約120

22 舗装工事

1. 路床 (22. 2. 2)

(22. 2. 3)

(表22. 2. 2)

(22. 2. 4)

(22. 2. 5)

路床の材料(厚さは図示(図面番号: ))

- ・ 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂
- ・ 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ( )
- ・ フィルター層 ○ 砂

路床安定処理 ・ 行う

添加材料による安定処理

種類

- ・ 普通ポルトランドセメント
- ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰( )号
- ・ 消石灰( )号

添加量( )kg/m<sup>3</sup>(目標CBR ・ 5以上 ・ ( ))

ジオテキスタイル ・ 適応する

盛土に用いる材料

- ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土

C種の場合: 建設発生土受入量( )m<sup>3</sup>

片道の運搬距離( )km

舗装の種類	舗装の厚さ(mm)	路盤材料
○ アスファルト舗装	○ ( 50 ) ・ ( )	○ 再生クラッシュラン
・ カラー舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン
・ 透水性アスファルト舗装	・ ( ) ・ ( )	・ 鉄鋼スラグ
・ インターロッキングブロック舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン
		・ ( )

舗装厚

○ A-5-15 ・ ( )

・ A-3-10 ・ ( )

表層及び基層の種類

○ 加熱アスファルト混合物 ・ 再生加熱アスファルト混合物

路盤材料

- ・ クラッシュラン ○ 再生材クラッシュラン ・ ( )

シールコートの施工 ・ 行う(適用範囲 図示(図面番号: ))

4. コンクリート舗装 (22. 5. 2)(22. 5. 3)

(22. 5. 4)

早強セメント ・ 使用しない ・ 使用する

注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ

目次 ・ 種類( ) ・ 間隔( )

構造 ・ 標仕 [ 図22. 5. 1 ] ・ ( )

5. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2)

(表22. 7. 1)

舗装材料及び厚さ

ストレートアスファルト

厚さ(mm) ・ ( ) ・ 図示(図面番号: )

6. 排水性アスファルト舗装 (22. 8. 2)

舗装材料及び厚さ

構成・厚さ ・ 図示(図面番号: )

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板	・ 300角	・ 60	目地
	・ 透水平板	・ ( )	・ ( )	・ 砂 ・ モルタル
				表面加工
				・ 研ぎ出し
				・ 洗い出し
				・ たたき出し
・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック		車道部	表面加工
	・ 透水性ブロック		・ 80	・ 標準品
			・ ( )	・ ( )
			歩道部	
			・ 60	
			・ ( )	
・ 舗石舗装	・ 小舗石		・ 80~100	施工方法
	・ 花こう岩			・ ころこ張り
	・ ( )			・ ( )
				・ コンクリート舗装
				・ アスファルト舗装

8. 試験 (22. 2. 5)(22. 3. 5)

(22. 4. 6)(22. 5. 6)

(22. 6. 6)(22. 7. 6)

(22. 8. 6)(22. 9. 5)

⑨ 街きよ、縁石及び側溝 (22. 4. 2)

(22. 4. 3)

10. 砂利敷き (22. 10. 2)

材料

コンクリート縁石及び側溝 ○ 図示(図面番号: A-27 )

工法

砂利地業の厚さ ・ 100mm ・ ( )

・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ ( )

・ 建物周囲 ・ A種 ・ B種 ・ ( )



■ 内部仕上表

階	室名	内装制限	床		巾木	壁		天井		廻縁	天井高	備考
			下地	仕上		下地	仕上	下地	仕上			
共通	男子便所		珪藻土 珪藻土	ビニル床シートt2.5 汚垂石	ビニル巾木H60	LGS-W25@300(外壁面) LGS-W65@300(内壁面)	木目調メラミン不燃化粧板t3 耐水石膏ボードt12.5下地	LGS-19@360	吸音板t12、石膏ボードt9.5捨貼り	塩ビ	2.400	壁見切、衝立
	女子便所		珪藻土	ビニル床シートt2.5	ビニル巾木H60	LGS-W25@300(外壁面) LGS-W65@300(内壁面)	木目調メラミン不燃化粧板t3 耐水石膏ボードt12.5下地	LGS-19@360	吸音板t12、石膏ボードt9.5捨貼り	塩ビ	2.400	壁見切、ハンカチ棚
	踏込み		珪藻土	ビニル床シートt2.5	ビニル巾木H60	LGS-W25@300(外壁面) LGS-W65@300(内壁面)	EP-G塗、耐水石膏ボードt12.5	LGS-19@360	吸音板t12、石膏ボードt9.5捨貼り	塩ビ	2.400	天井吊り外サイン SUS製エクスパンションジョイント クリアアス150
既存部	廊下(改修前)		珪藻土リソック t10	ビニル床シートt2.5 撤去	ビニル巾木H60 撤去	既存コンクリート躯体	EP-G塗、耐水石膏ボードt12.5(GL工法) 撤去	LGS-19@360	吸音板t12、石膏ボードt9.5捨貼り 撤去	塩ビ 撤去	2.400	
	廊下(改修後)		下地調整	ビニル床シートt2.5	ビニル巾木H60	既存コンクリート躯体	EP-G塗、耐水石膏ボードt12.5(GL工法)	LGS-19@360	吸音板t12、石膏ボードt9.5捨貼り	塩ビ	2.400	常時開放式防火戸(特定防火設備)

注記		略記号	防火認定	内装制限記号
※メカ-名は参考とし、同等品を可とする。	ビニル床シート 東リ:707リユ-ムソルト	SOP	合成樹脂調合ペイント	石膏ボード t12.5 NM-8619 (不) 仕上、下地共不燃材
※仕上については、見本提出の上、仕上色及び材料を監督員の承諾を得た後に決定を行う。	汚垂石 TOTO:ハイデラ707PPU	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	石膏ボード t 9.5 QM-9828 (不) 仕上不燃材
	メラミン不燃化粧板 伊カ工業:セラール	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	化粧石膏ボード t9.5 QM-9824 (準) 仕上、下地共準不燃材以上
※クロルビリホスの含有する建材は使用しないこと。	吸音板 吉野石膏:ソラソ(ルカ柄)	CL	クリアラッカー	耐水石膏ボード t9.5 QM-9826 (準) 仕上準不燃材以上
※居室の内装へ第1・2・3種建築材料を使用しないこと。(規制対象外建築材料のみ使用すること)		2-FUE	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル	けい酸カルシウム板 NM-8578 (難) 仕上難燃材以上
		FC	フタル酸樹脂ワニス	準不燃ビニルクロス QM-9427
		AEP	アクリル樹脂エナメル	メラミン不燃化粧板 NM-9300
		WP	木材保護着色塗料	
		PB	石膏ボード	
		LGS	軽量鉄骨下地	

備		<p style="text-align: center;"><b>NISSHIN</b> <b>SEKKEI</b> 日新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之</p>	Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Aug
			Drawing Title	内部仕上表	SCALE	No Scale
書			設計担当者			A-13
			一般建築士 No.27089 倉田和彦			

敷地内棟別概要表

施設名	県立看護大学 (用途: 大学)											公衆衛生学院 (用途: 各種学校)	車庫棟 (用途: 車庫)
建築基準法(棟別)	1											2	3
消防法(棟別)	1					2						3	4
	計画部		既存部									既存部	既存部
棟名	トイ棟	講義棟 廊下B含	管理棟	研究棟 廊下A含	図書館棟 廊下C含	実習棟	渡り廊下 屋外	体育館棟	機械室棟	講堂棟	大学院研究棟		
構造種別	S	RC一部S	RC一部S	RC一部S	RC一部S	RC一部S	RC一部S	RC一部S	RC一部S	RC一部S	RC	RC	S
構造形式	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン
耐火種別	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	耐火	その他
階数	2	3	2	5	2	3	1	3	1	2	3	2	1
最高高さ	7.80m	17.13m	10.35m	22.80m	15.52m	17.13m	3.20m	11.60m	11.40m	20.60m	12.00m	11.92m	3.00m
軒高	7.20m	12.10m	7.10m	17.60m	12.60m	12.10m	2.70m	9.10m	4.60m	16.64m	12.00m	8.60m	2.80m

建築面積 (㎡)														
施設名	県立看護大学											公衆衛生学院	車庫棟	
	計画部		既存部									既存部	既存部	
棟名	トイ棟 (増築)	講義棟 廊下B含 (増築) (既存)	管理棟	研究棟 廊下A含	図書館棟 廊下C含	実習棟	渡り廊下 屋外	体育館棟	機械室棟	講堂棟	大学院研究棟			
建築面積	74.40	—	1,447.51	683.27	473.70	768.69	2,078.42	143.71	1,082.79	559.23	1,022.91	318.63	1,161.40	18.00
			51.92		234.46	132.35								
棟別計	74.40	—	1,499.43	683.27	708.16	901.04	2,078.42	143.71	1,082.79	559.23	1,022.91	318.63	1,161.40	18.00
小計	74.40											8,997.59	1,161.40	18.00
合計												9,071.99	1,161.40	18.00
敷地内合計														10,251.39

延床面積 (㎡)														
施設名	県立看護大学											公衆衛生学院	車庫棟	
	計画部		既存部									既存部	既存部	
棟名	トイ棟 (増築)	講義棟 廊下B含 (増築) (既存)	管理棟	研究棟 廊下A含	図書館棟 廊下C含	実習棟	渡り廊下 屋外	体育館棟	機械室棟	講堂棟	大学院研究棟			
5階				465.28										
4階			29.25	465.28		29.25								
3階			746.73	465.28		1,132.37		217.48			312.77	9.18		
2階	75.20	5.00	846.42	376.15	485.14	329.08	1,132.37	217.48		134.17	283.61	933.94		
1階	74.40	5.80	1,256.90	459.40	729.92	797.24	1,760.21	957.65	395.95	906.61	298.08	1,033.67	18.00	
棟別計	149.60	10.80	2,879.30	835.55	2,610.90	1,126.32	4,054.20	1,392.61	395.95	1,040.78	894.46	1,976.79	18.00	
小計	160.40											15,230.07	1,976.79	18.00
合計												15,390.47	1,976.79	18.00
敷地内合計														17,385.26

計画通知履歴						
施設名	用途	種別	延床面積 (㎡)	確認済証発行日	検査済証発行日	済証番号
看護大学、公衆衛生学院	大学、各種学校	新築	16,312.40	平成 7年 9月27日	平成 9年 3月21日	第10号
車庫棟	車庫	増築	18.00	平成10年10月19日	不明	第10計建11号
大学院研究棟	大学	増築	894.46	平成12年 1月11日	平成13年 1月26日	第11建通22号

備 考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

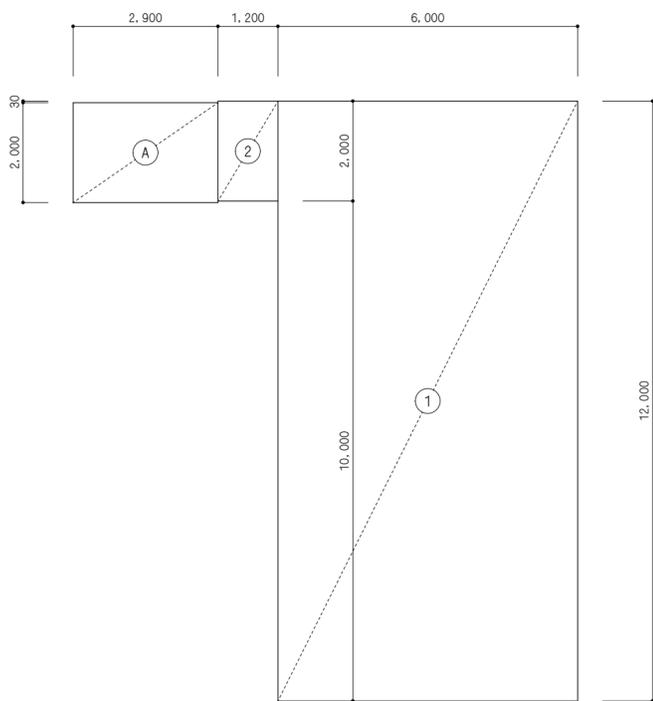
Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	敷地内棟別概要表	SCALE	A2: 1/100 A3: 1/140
設計担当者			
一般建築士 No.327089 倉田和彦			A-08

建物求積表

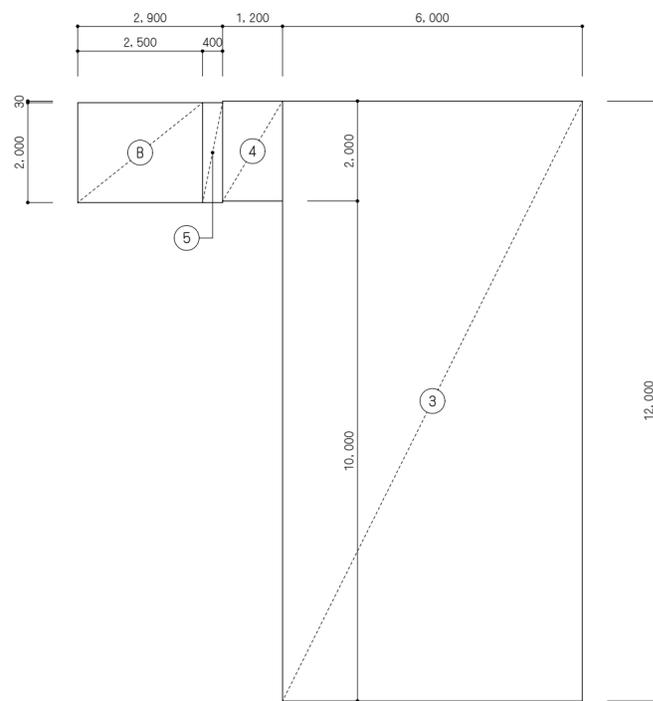
トイレ棟 面積表								
建築面積 (㎡)			延床面積 (㎡)					
番号	計算式	面積	番号	計算式	面積	番号	計算式	面積
①	6.00 x 12.00	72.00	①	6.00 x 12.00	72.00	③	6.00 x 12.00	72.00
②	1.20 x 2.00	2.40	②	1.20 x 2.00	2.40	④	1.20 x 2.00	2.40
						⑤	0.40 x 2.00	0.80
			1階床面積		74.40	2階床面積		75.20
合計		74.40	合計					149.60

講義棟(増築部) 面積表								
建築面積 (㎡)			延床面積 (㎡)					
番号	計算式	面積	番号	計算式	面積	番号	計算式	面積
			Ⓐ	2.90 x 2.00	5.80	Ⓑ	2.50 x 2.00	5.00
			1階床面積		5.80	2階床面積		5.00
合計			合計					10.80

※ⒶⒷ⑤部分は既存部の\*子、\*ルニであり、建設当初の申請にて、床面積は未計上、建築面積は計上済。



1階求積図 S:1/100



2階求積図 S:1/100

備 考	

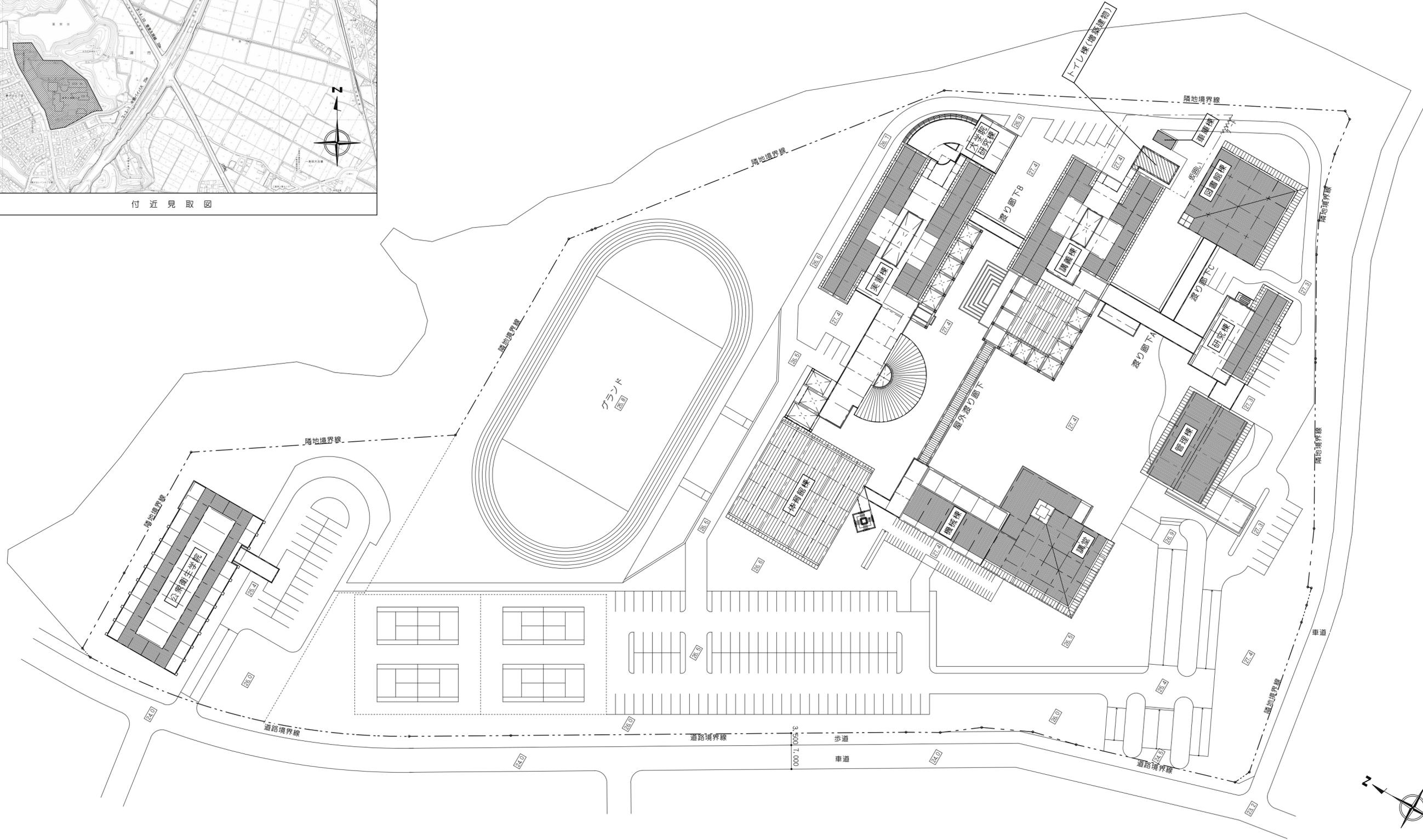
**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	棟別概要、求積表	SCALE	A2: 1/100 A3: 1/140
設計担当者			
一般建築士 No. 327089 倉田和彦			

A-09



付近見取図



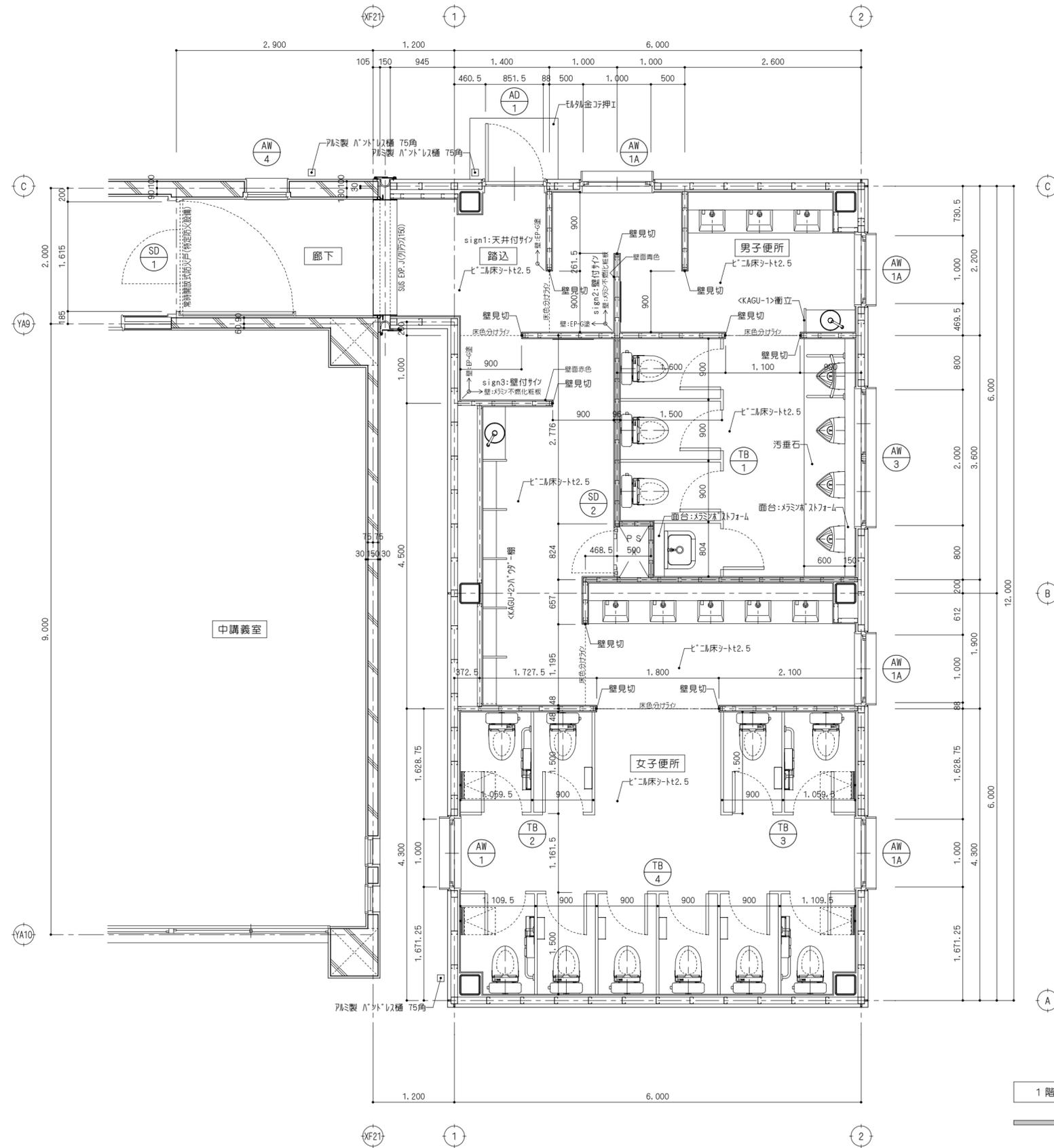
備	
書	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一般建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	配置図
設計担当者	
一般建築士 No.217089 倉田和彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2 : 1/800 A3 : 1/1120
	A-10





1階平面詳細図 S:1/50

グレー-kt50 24kg/m3充填

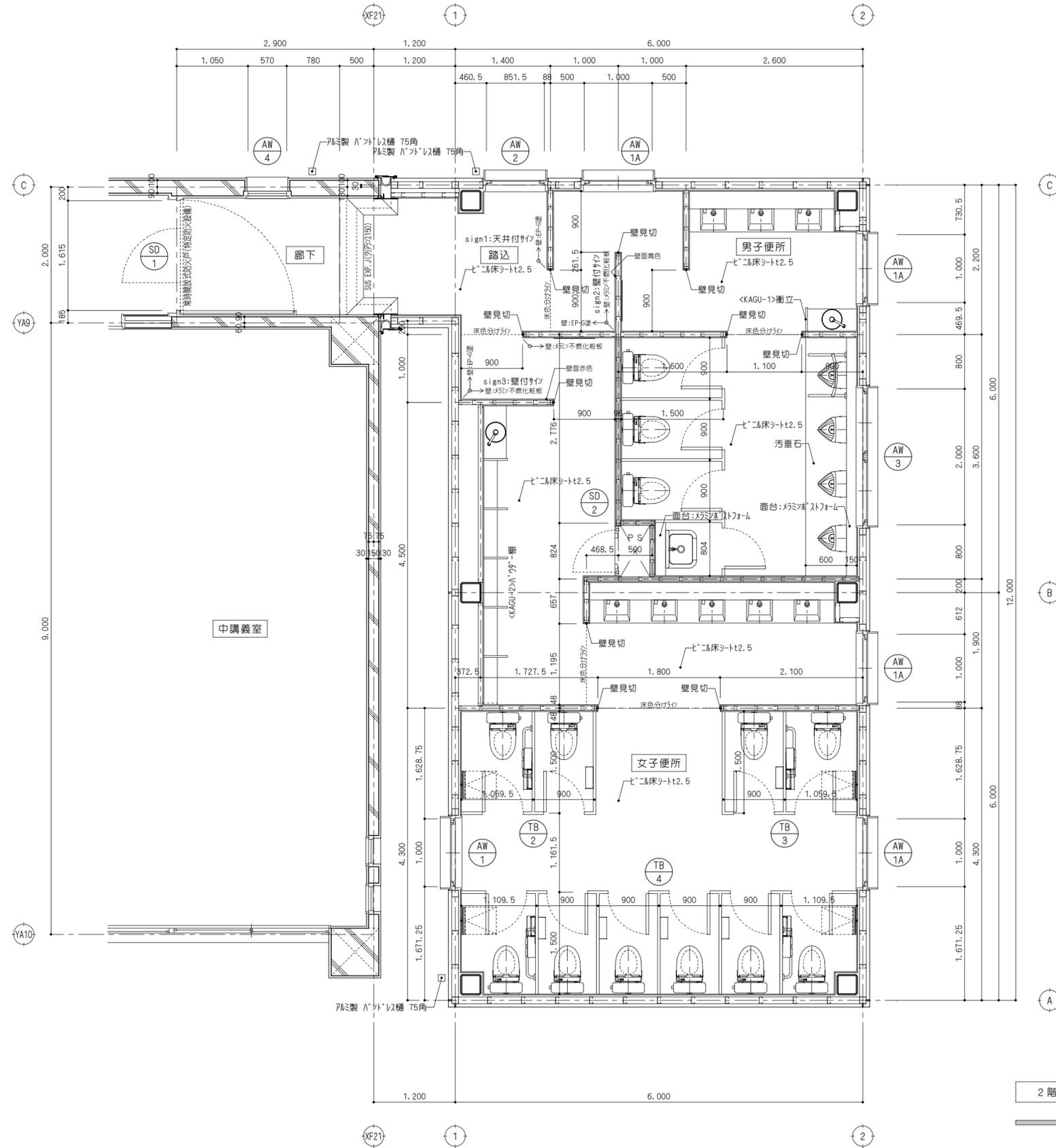


備	
庫	

**NISSHIN  
SEKKEI**  
**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分惠之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	1階平面詳細図	SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
Design	設計担当者		
Architect	一般建築士 No.27089 倉田和彦		



2階平面詳細図 S:1/50

グラウ-It50 24kg/m3充填

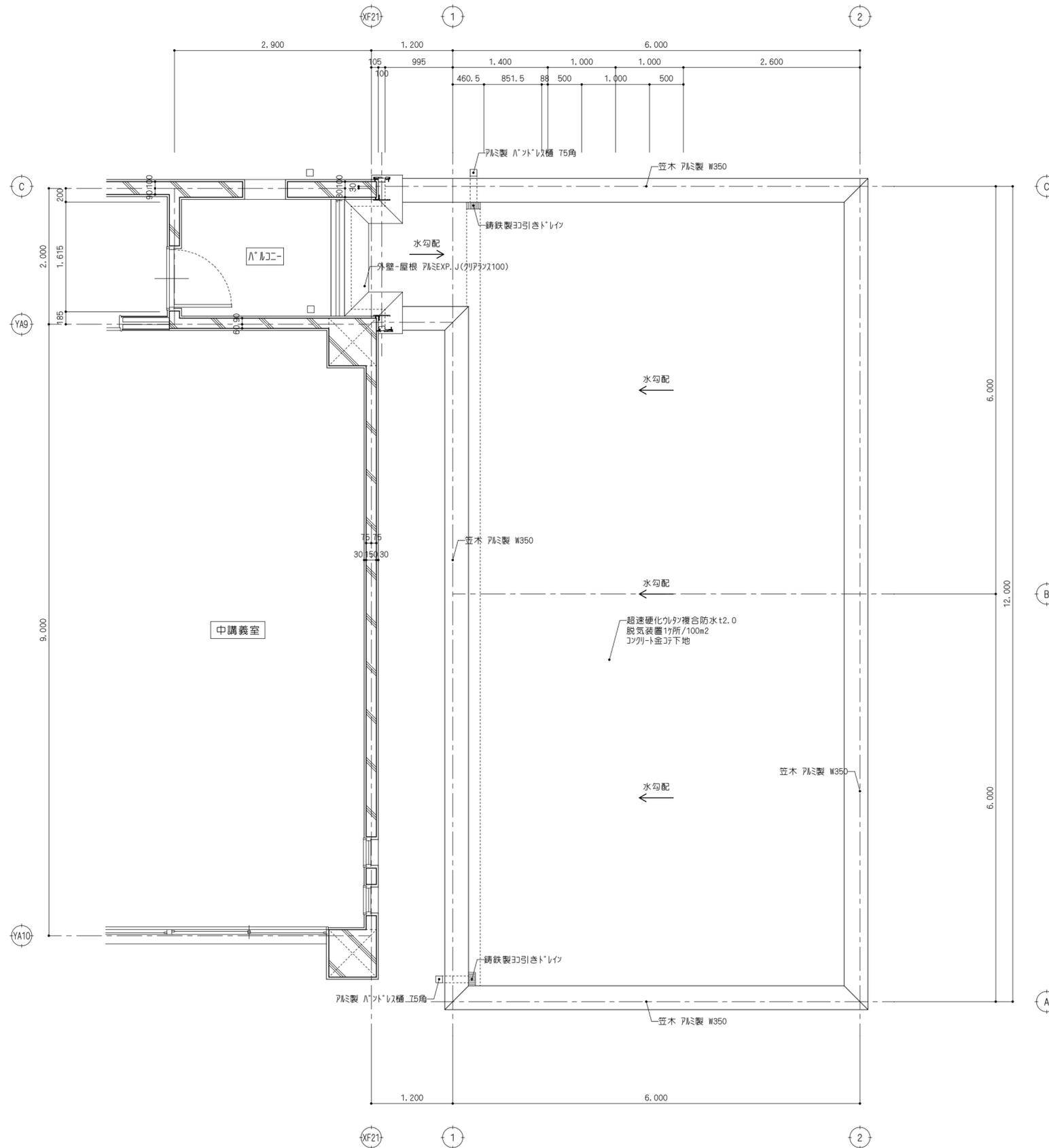


備	
庫	

**NISSHIN  
SEKKEI**  
**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分惠之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	2階平面詳細図	SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
設計担当者			
一般建築士 No. 327089 倉田和彦			



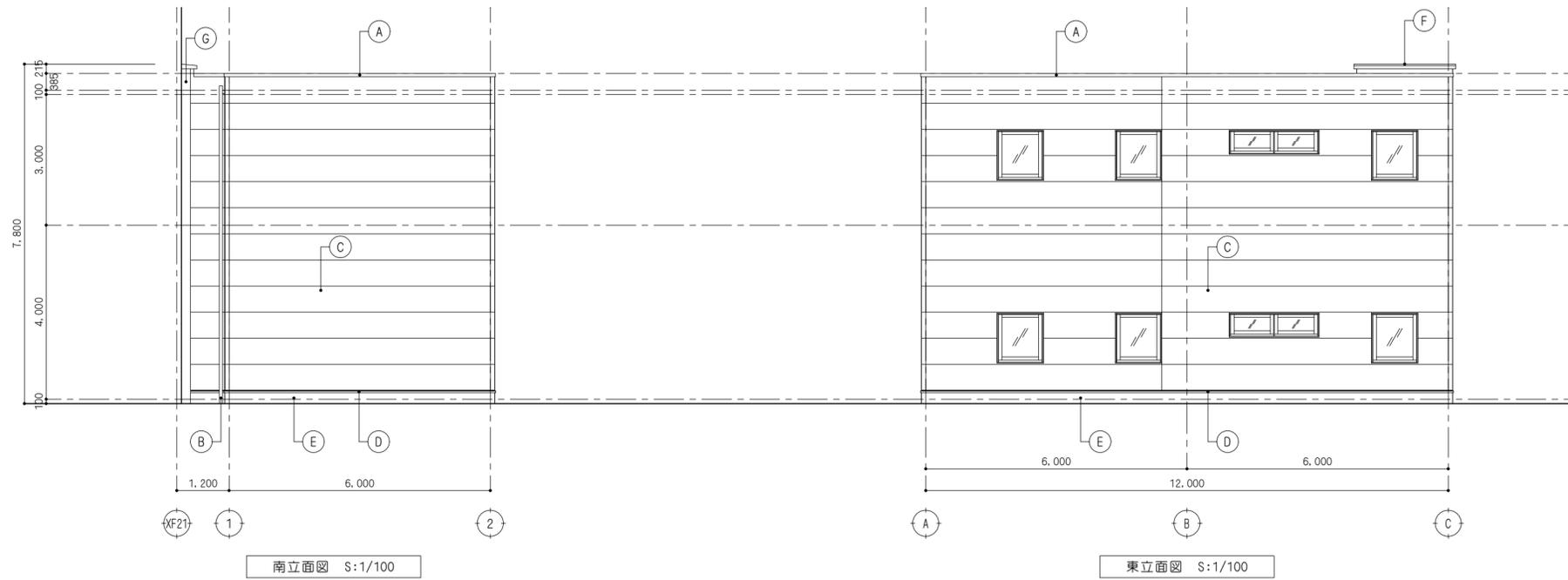
備	
用	

**NISSHIN  
SEKKEI**  
**日新設計株式会社**

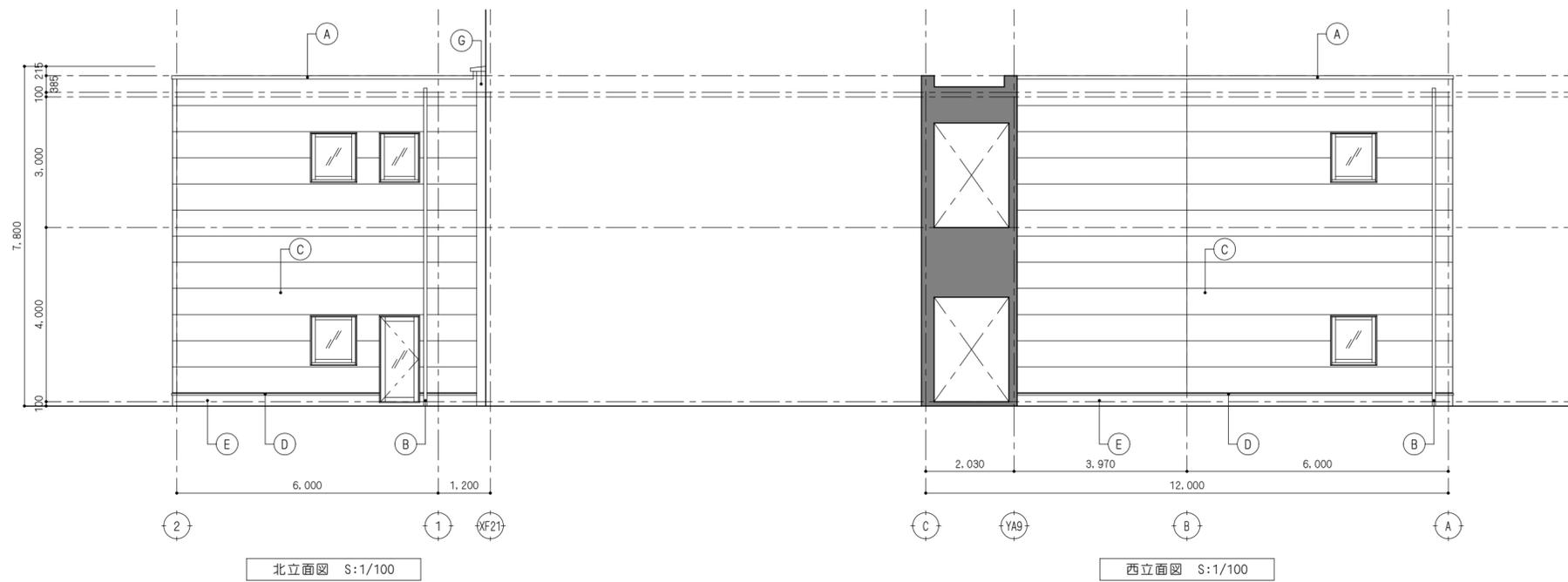
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	屋根伏図
設計担当者	
一般建築士 No.27089 倉田利彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
	A-15



外部仕上		
記号	部位	仕上
(A)	笠木	アルミ製 W350
(B)	縦樋	アルミ製 ハンク'リシ樋 75角
(C)	外壁	金属サット'イッチ'ルt50(ガル'リウム鋼板+ロ'ウ'ル)
(D)	土台水切	ガル'リウム鋼板t0.5 曲げ加工
(E)	巾木	珪'カー'ボ'ン'工
(F)	EXP. J (屋根-外壁)	SUS141'ル'シ'ヨ'ク'ク'ヨ'イト クリア'ル'ス100
(G)	EXP. J (外壁-外壁)	SUS141'ル'シ'ヨ'ク'ク'ヨ'イト クリア'ル'ス100

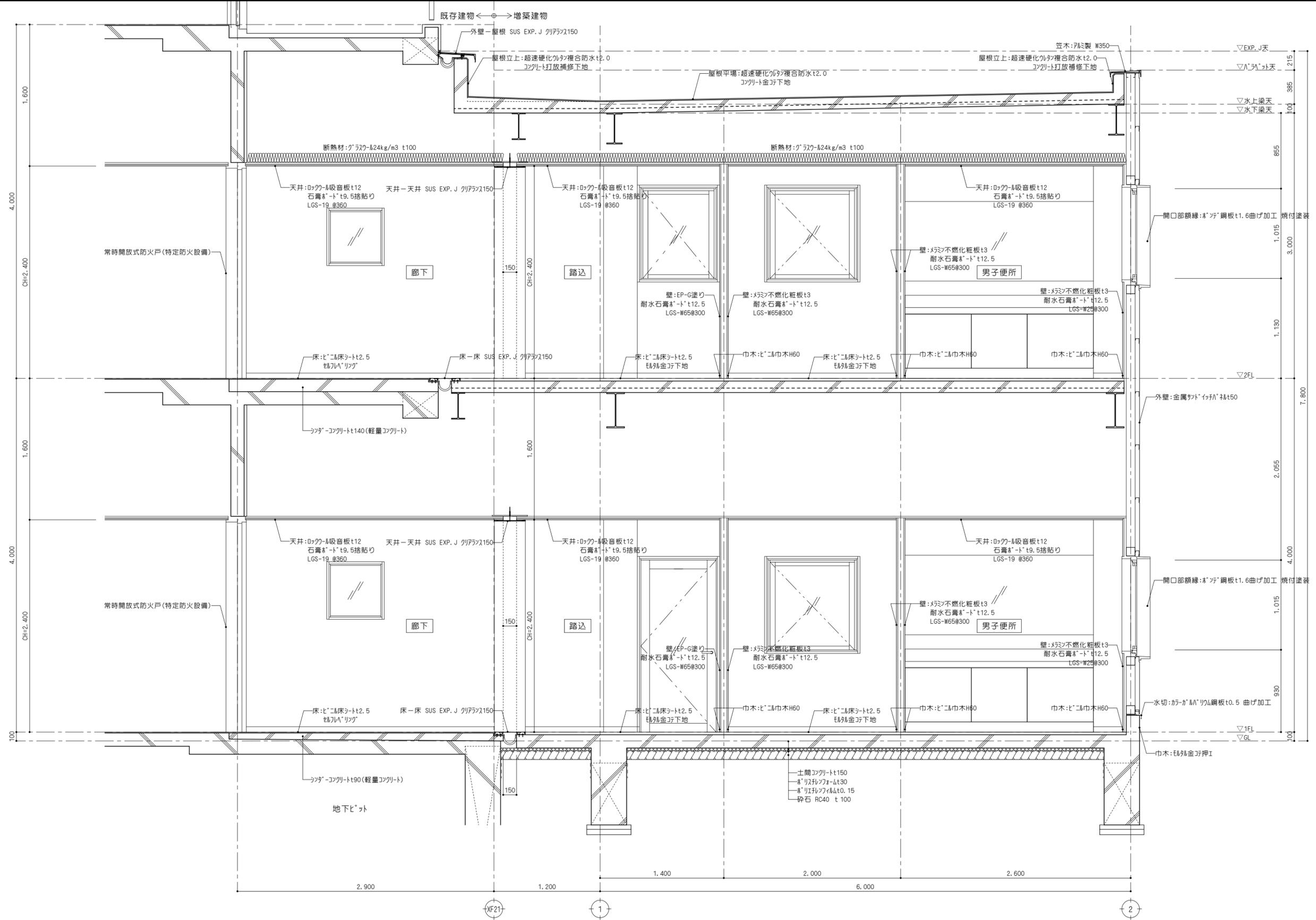


備 考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	立面図
設計担当者	
一般建築士 No.227089 倉田和彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2 : 1/100 A3 : 1/140
	A - 16

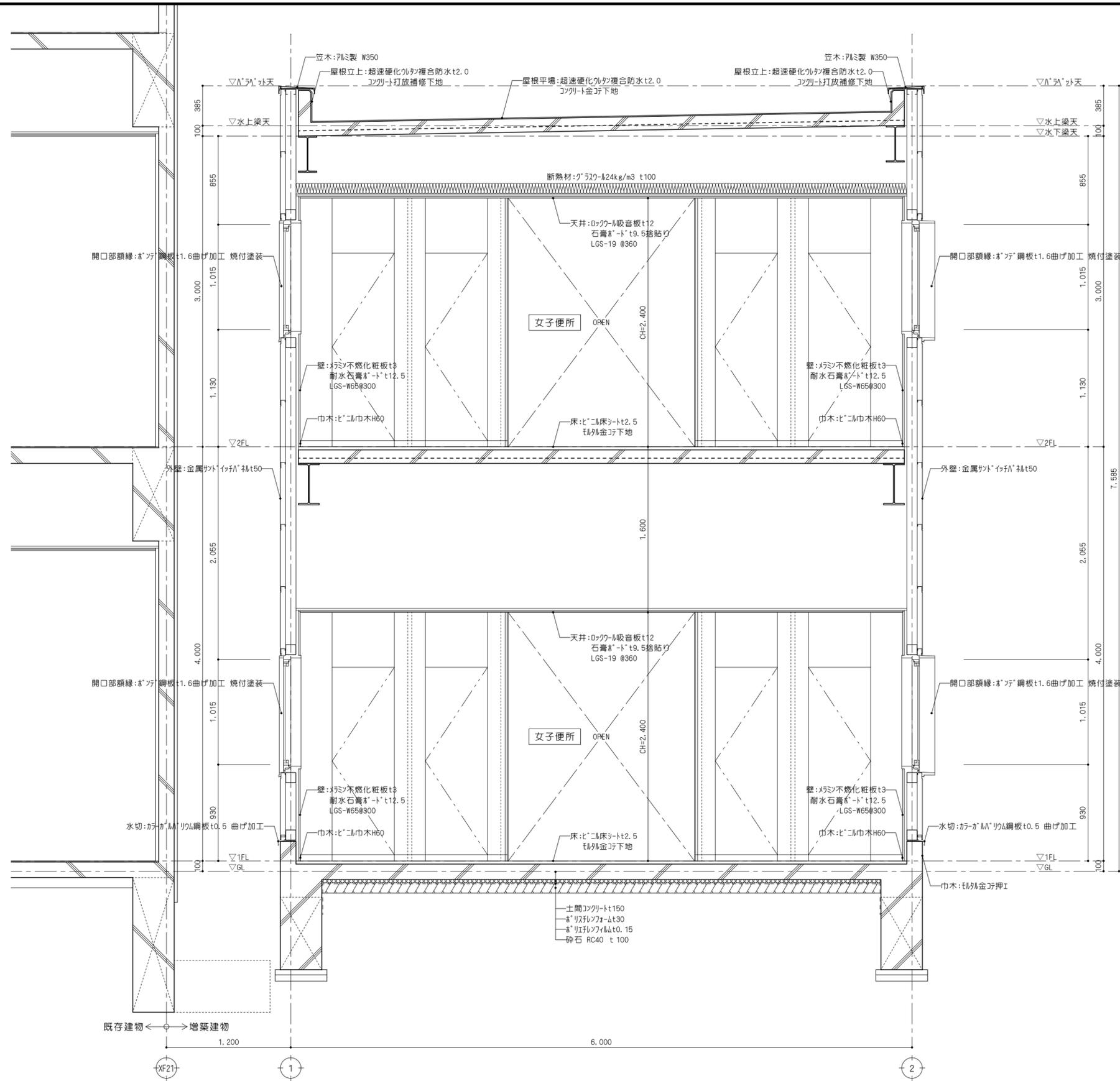


備	
庫	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	短計図 1
設計担当者	
一般建築士 No. 327089 倉田和彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/30 A3: 1/42
	A-17



備 考	

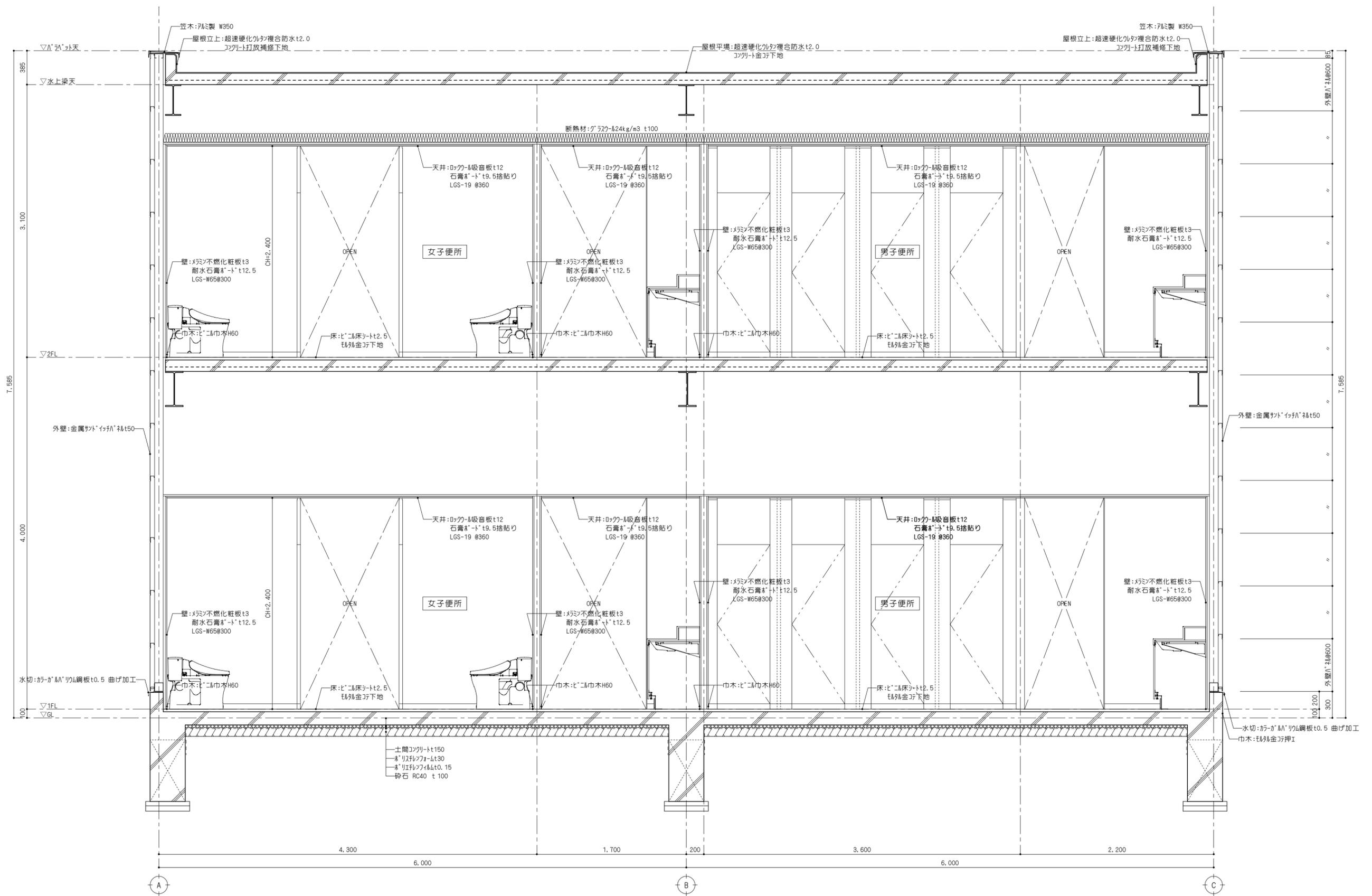
**NISSHIN  
SEKKEI**

**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一般建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	矩計図2
Design Engineer	
Architect	
Client	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/30 A3: 1/42
	A-18



備	
庫	

**NISSHIN  
SEKKEI**

**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	矩計図3
設計担当者	
一般建築士 No. 327089 倉田和彦	

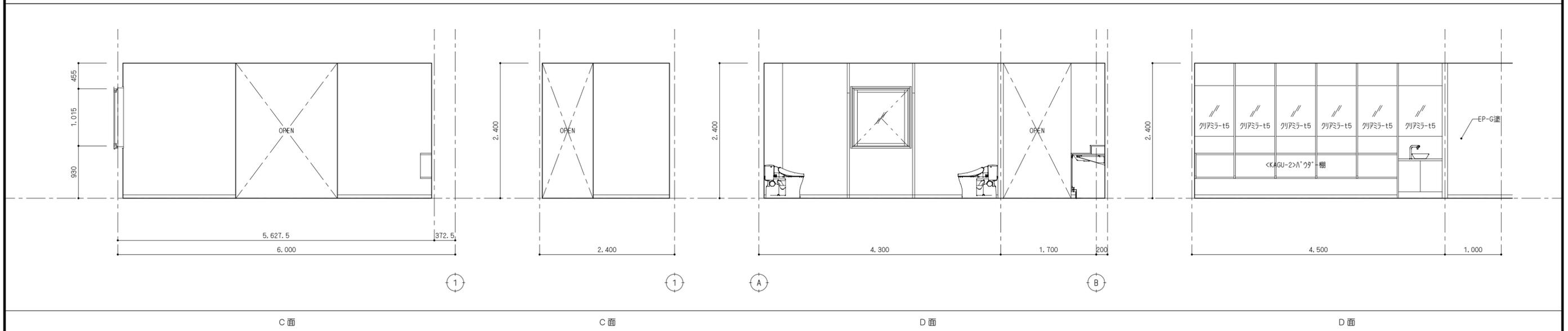
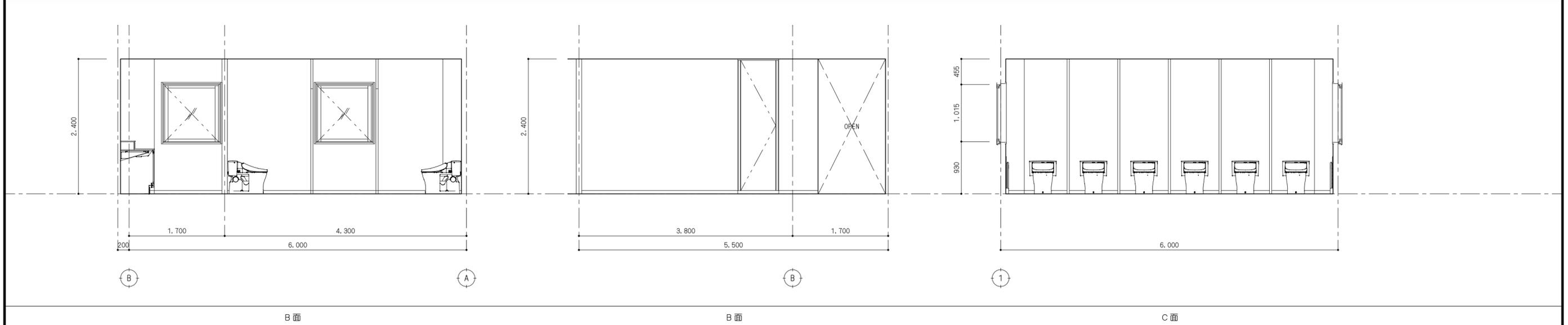
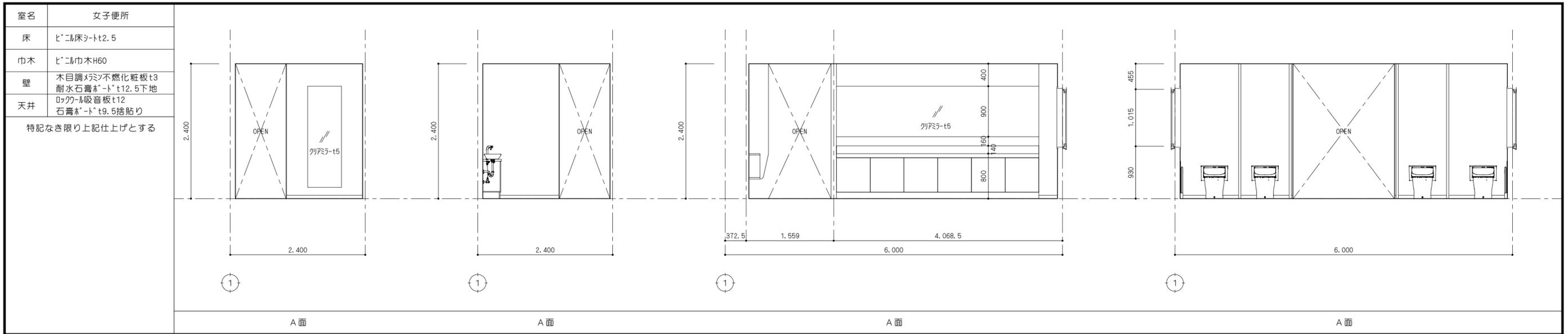
DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/30 A3: 1/42
	A-19

室名	男子便所	
床	ビニル床シートt2.5 汚垂石	
巾木	ビニル巾木H60	
壁	木目調メラミン不燃化粧板t3 耐水石膏ボードt12.5下地	
天井	吸音板t12 石膏ボードt9.5捨貼り	
特記なき限り上記仕上げとする		

B面	B面	C面	C面

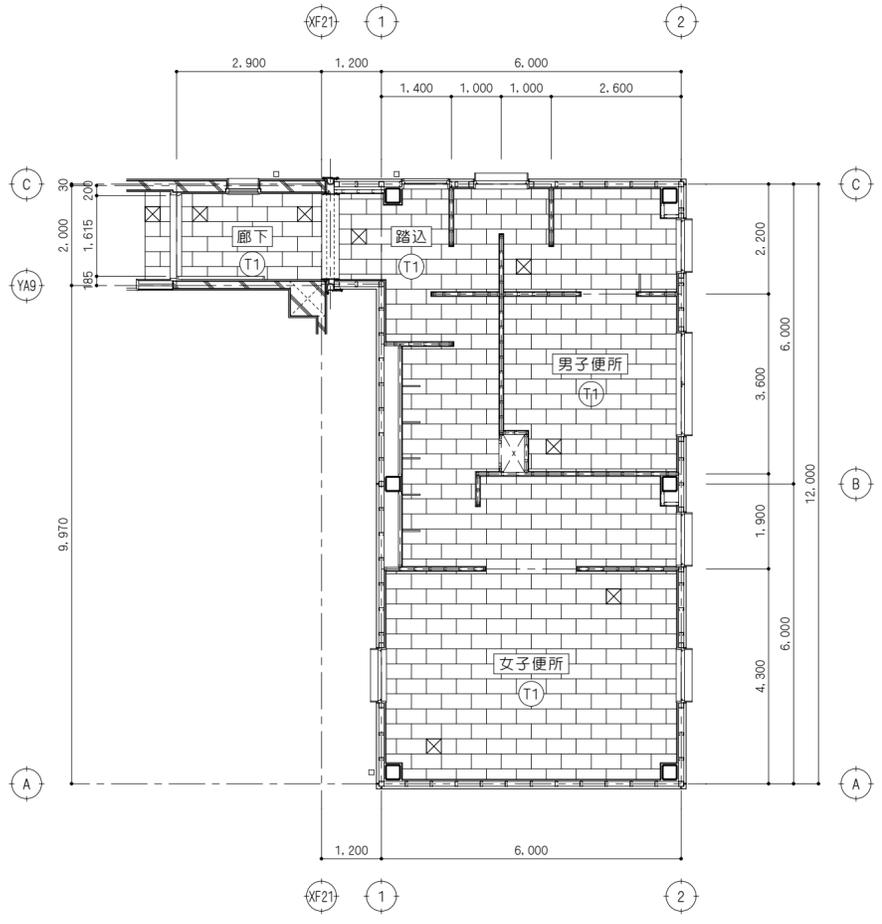
D面	D面	D面

備 考		<p style="text-align: center;"><b>NISSHIN SEKKEI</b></p> <p style="text-align: center;">日新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之</p>	Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事 Drawing Title 展開図1 設計担当者	DATE 2014 - Nov SCALE A2: 1/50 A3: 1/70
			一般建築士 No. 327089 倉田和彦	A-25

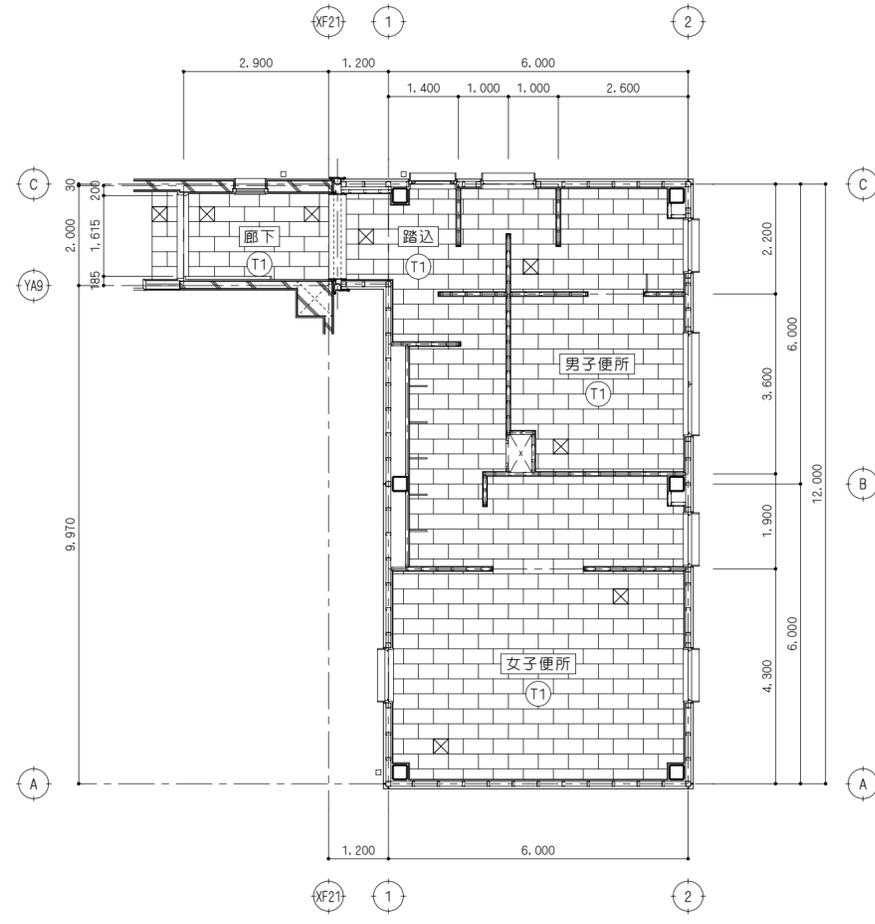


備 考		<b>NISSHIN SEKKEI</b> 日新設計株式会社 <small>三重県知事登録第1-518号    一般建築士 No. 215909    國分恵之</small>	<small>Job Title</small> 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事 <small>Drawing Title</small> 展開図2 <small>設計担当者</small>	<small>DATE</small> 2014 - Nov <small>SCALE</small> A2: 1/50 <small>A3: 1/70</small>
			<small>一般建築士</small>	A - 11
			<small>No.217089</small>	
			<small>倉田和彦</small>	

天井仕上	
記号	仕上
(T1)	0.9x0.9吸音板 t12、石膏板 t9.5捨貼り
☒	天井点検口



1階天井伏図 S:1/100



2階天井伏図 S:1/100

備	
用	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	天井伏図	SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
設計担当者			
一般建築士 No.227089 倉田和彦			

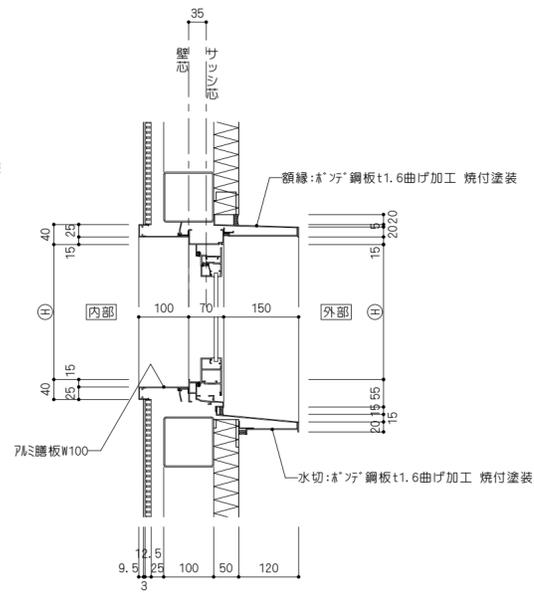
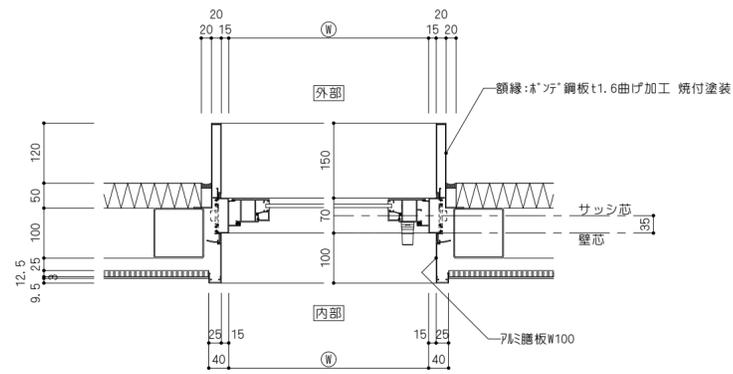
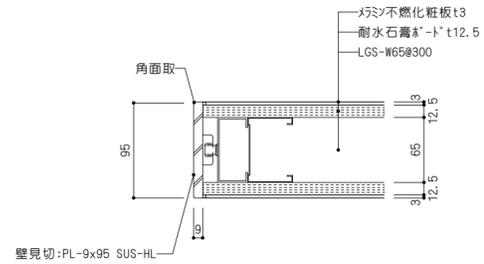
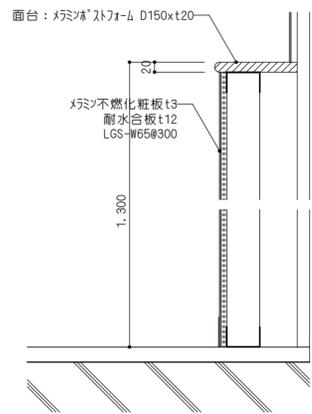
建具表		※姿図は内観図とする。 寸法は内法にて記載。																			
建具記号	室名・数量	AD 1	1 F 踏込	1	AW 1	女子便所	2	AW 1A	男子便所、女子便所	8	AW 2	2 F 踏込	1	AW 3	男子便所	2					
姿図																					
形式	内法	片開き框トP		851.5 x 1,945	たてすべり窓		1,000 x 1,015	たてすべり窓		1,000 x 1,015	たてすべり窓		851.5 x 1,015	すべり出し窓		2,000 x 415					
枠見込	建具見込	70			70			70			70			70							
建具材質	仕上	ALUMINUM		高耐候電着塗膜	ALUMINUM		高耐候電着塗膜	ALUMINUM		高耐候電着塗膜	ALUMINUM		高耐候電着塗膜	ALUMINUM		高耐候電着塗膜					
金物・他		ハンドル、非常錠、丁番、ドアフィック、内部ALUMINUM額縁W100、SUS巻指、外部ALUMINUM額縁W40、附属金物一式				ハンドル、トリガー付鍵ラッチ、フリクションステ、開き調整器、内部ALUMINUM額縁W100、SUS網戸、附属金物一式				ハンドル、トリガー付鍵ラッチ、フリクションステ、開き調整器、内部ALUMINUM額縁W100、SUS網戸、附属金物一式				カムラッチハンドル、フリクションステ、内部ALUMINUM額縁W100、SUS網戸、附属金物一式							
ガラス		強化ガラス F4				強化ガラス F4				網なし耐熱強化ガラス F5				強化ガラス F4				網なし耐熱強化ガラス F5			
備考																					
建具記号	室名・数量	AW 4	廊下	2							SD 1	廊下	2	SD 2	女子便所	2					
姿図																					
形式	内法	FIX窓		570 x 570					90° 開き戸袋付防火トP (くぐり戸付)				1,615 x 2,360	片開き点検扉(後付タイプ)		728 x 2,400					
枠見込	建具見込	70							100				40	55		40					
材質	仕上	ALUMINUM		高耐候電着塗膜					溶融亜鉛メッキ鋼板				焼付塗装(指定色)	溶融亜鉛メッキ鋼板		焼付塗装(指定色)					
金物・他		内部ALUMINUM額縁W40、外部水切W205								丸型ハンドル、ラッチ式マグネット					隠し丁番、スリット、付属金物一式						
ガラス		強化ガラス FL4																			
備考															小松ウォール：サーフェイス検扉 同等品						
建具記号	室名・数量	TB 1	男子便所	2	TB 2	女子便所	2	TB 3	女子便所	2	TB 4	女子便所				2					
姿図																					
形式	内法	トリアプル		W3,504 x H2,400 x D1,500	トリアプル		W1,979.5 x H2,400 x D1,500	トリアプル		W1,979.5 x H2,400 x D1,500	トリアプル			トリアプル		W1,979.5 x H2,400 x D1,500					
枠見込	建具見込	40		40	40		40	40		40	40			40		40					
建具材質	仕上	木目調メラミン化粧板(Λ°-Λ°-コア芯)				木目調メラミン化粧板(Λ°-Λ°-コア芯)				木目調メラミン化粧板(Λ°-Λ°-コア芯)				木目調メラミン化粧板(Λ°-Λ°-コア芯)							
金物・他		笠木、SUS幅木、壁面レール、表示付スライドハンドル、戸当帽子掛け中心吊ヒンジ				笠木、SUS幅木、壁面レール、表示付スライドハンドル、戸当帽子掛け中心吊ヒンジ				笠木、SUS幅木、壁面レール、表示付スライドハンドル、戸当帽子掛け中心吊ヒンジ				笠木、SUS幅木、壁面レール、表示付スライドハンドル、戸当帽子掛け中心吊ヒンジ							
ガラス																					
備考		小松ウォール：フラットフェイスアルミラック(中心吊) 同等品				小松ウォール：フラットフェイスアルミラック(中心吊) 同等品				小松ウォール：フラットフェイスアルミラック(中心吊) 同等品				小松ウォール：フラットフェイスアルミラック(中心吊) 同等品							

備 考	<b>NISSHIN SEKKEI</b> <b>日新設計株式会社</b> 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 園分恵之										Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事 Drawing Title 建具表 設計担当者 一般建築士 No.27089 倉田和彦		DATE 2014 - Nov SCALE A2: 1/100 A3: 1/140 A-32

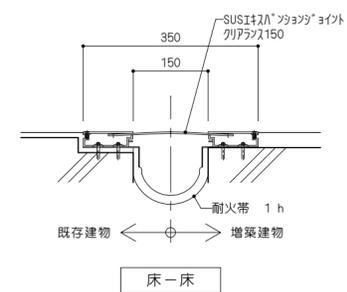
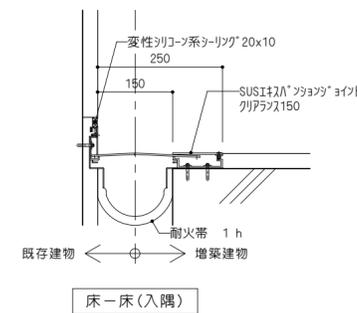
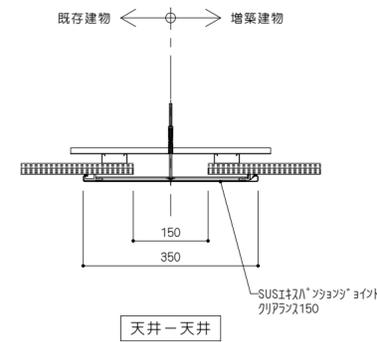
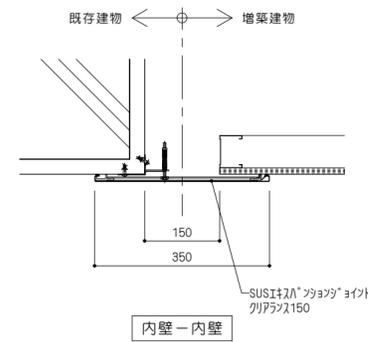
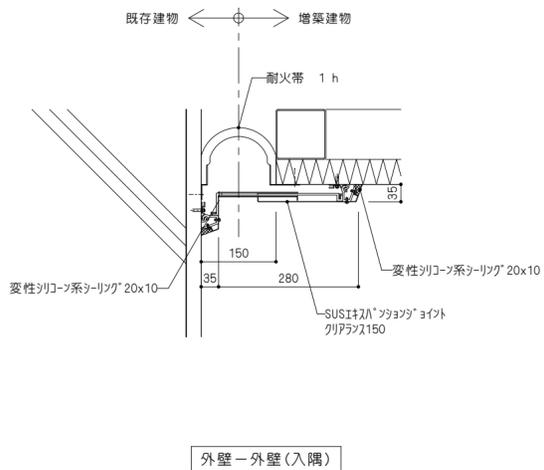
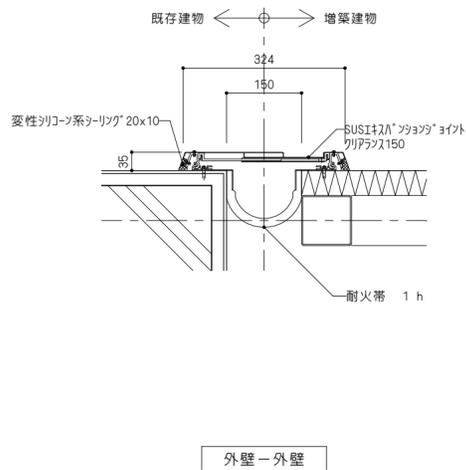
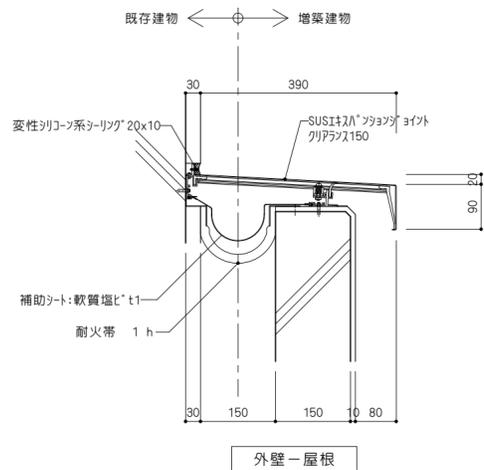
家具詳細図 S:1/20		男子便所		2ヶ所		女子便所		2ヶ所	
<KAGU-1>衝立 		<KAGU-2>ハコガキ-棚 		<KAGU-3>ハコガキ-棚 					
枠材	メラミン化粧板フラッシュ t25	枠材	メラミン化粧板フラッシュ t25	枠材	メラミン化粧板フラッシュ t25	枠材		枠材	
建具		建具		建具		建具		建具	
棚板		棚板	メラミン化粧板フラッシュ t25	棚板		棚板		棚板	
金物		金物		金物		金物		金物	

サイン詳細図 S:1/10		踏込		2ヶ所		男子便所		2ヶ所		女子便所		2ヶ所	
sign1: 天井付サイン 		sign2: 壁付けサイン 		sign3: 壁付けサイン 									

備 考							NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之		Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事 Drawing Title 家具詳細図、サイン詳細図 設計担当者		DATE 2014 - Nov SCALE A2: 1/10、20 A3: 1/14、28	
											A-24	



外部仕上	金属サッシ用 50 (ガルバリウム鋼板+ロックール)
内部仕上	ステンレス鋼板 t3 耐水石膏ボード t12.5 LGS-W25@300



備	
書	

**NISSHIN  
SEKKEI**  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	部分詳細図
設計担当者	
一般建築士 No.227089 倉田和彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
	A-25

平面詳細図

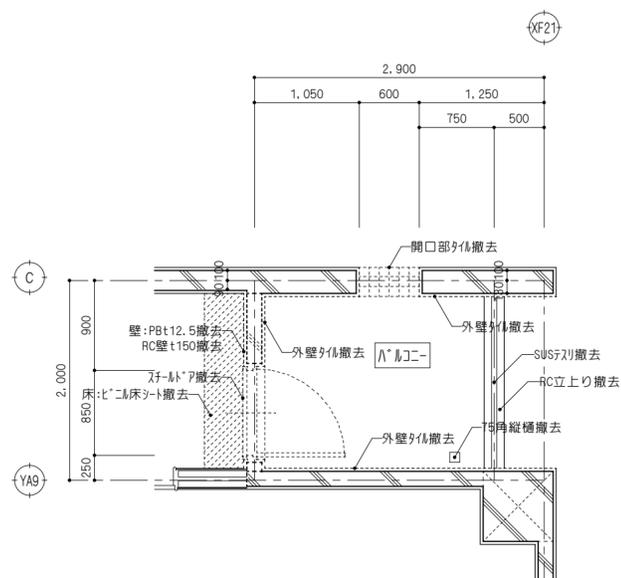
断面詳細図

改修前

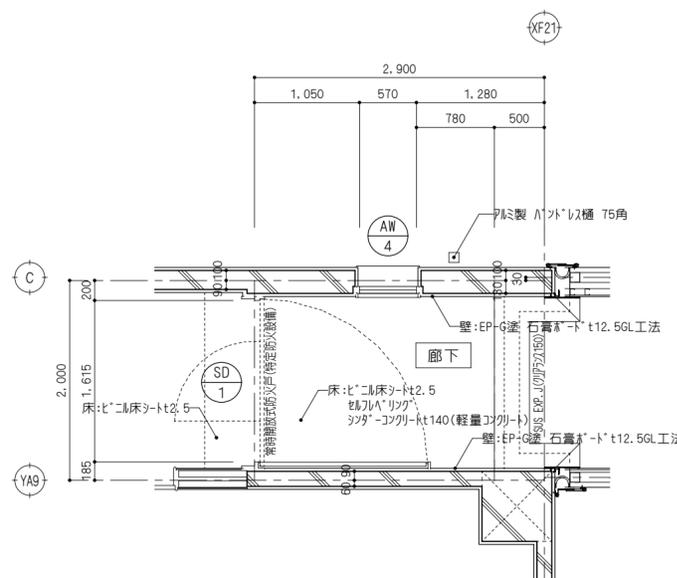
改修後

改修前

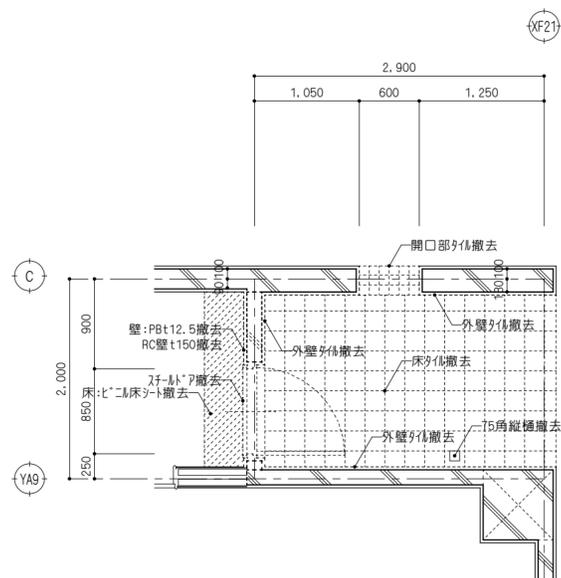
改修後



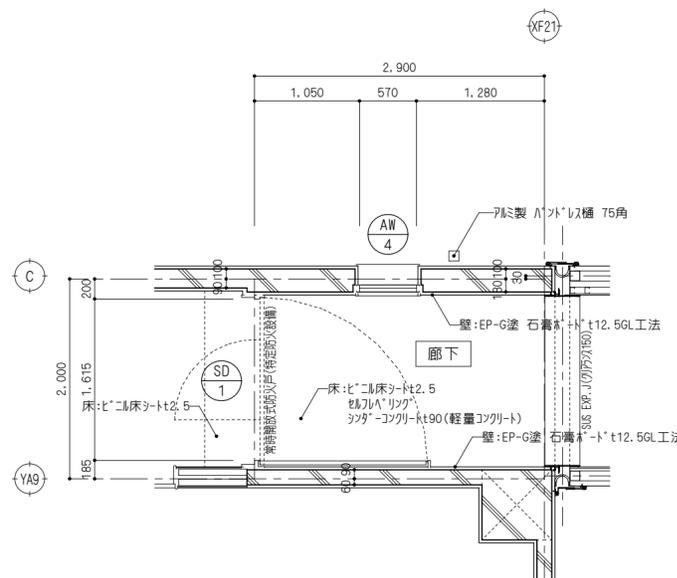
改修前 2階平面詳細図 S:1/50



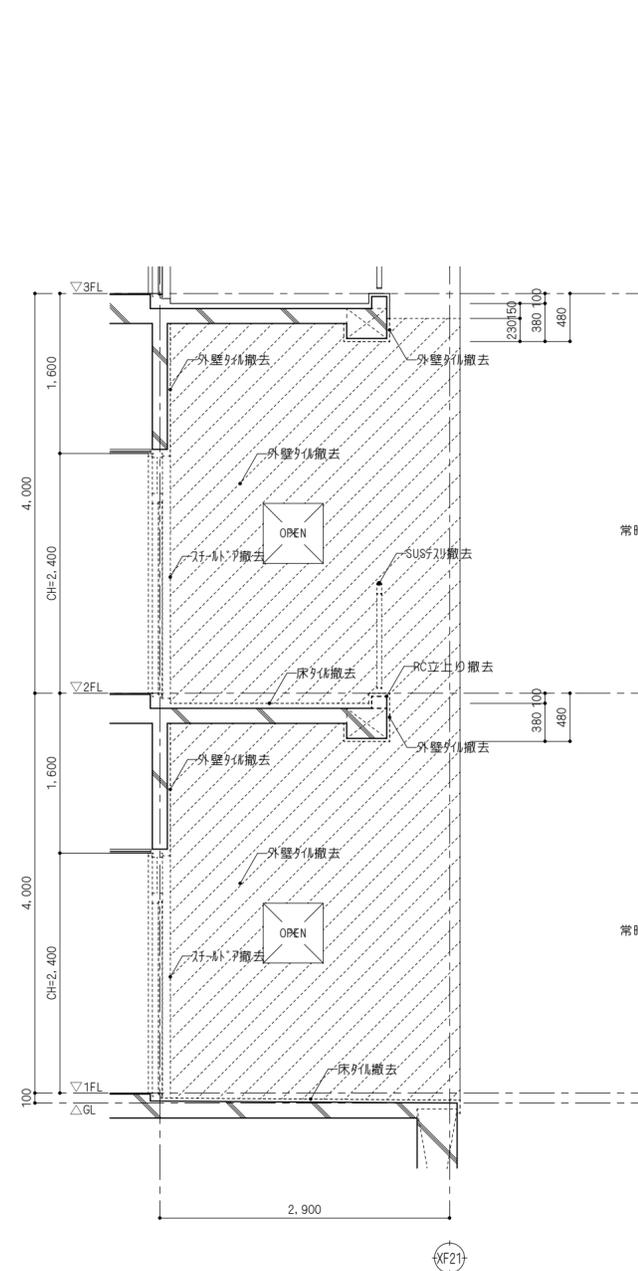
改修後 2階平面詳細図 S:1/50



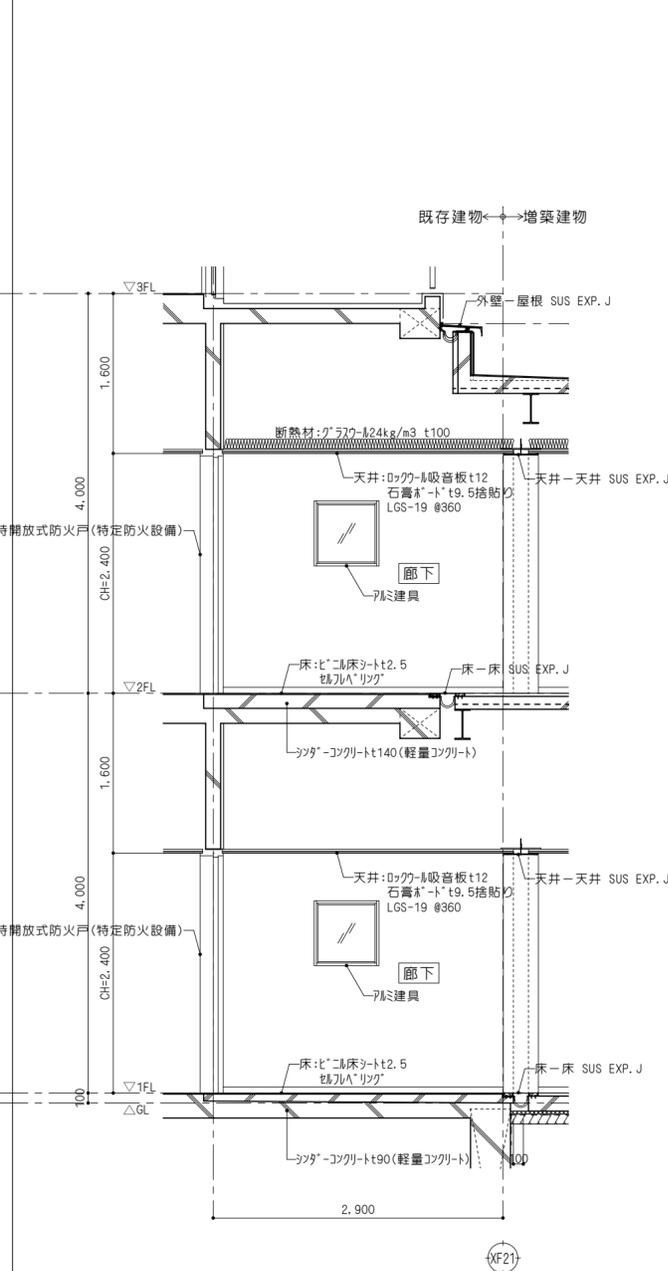
改修前 1階平面詳細図 S:1/50



改修後 1階平面詳細図 S:1/50



改修前 断面詳細図 S:1/50



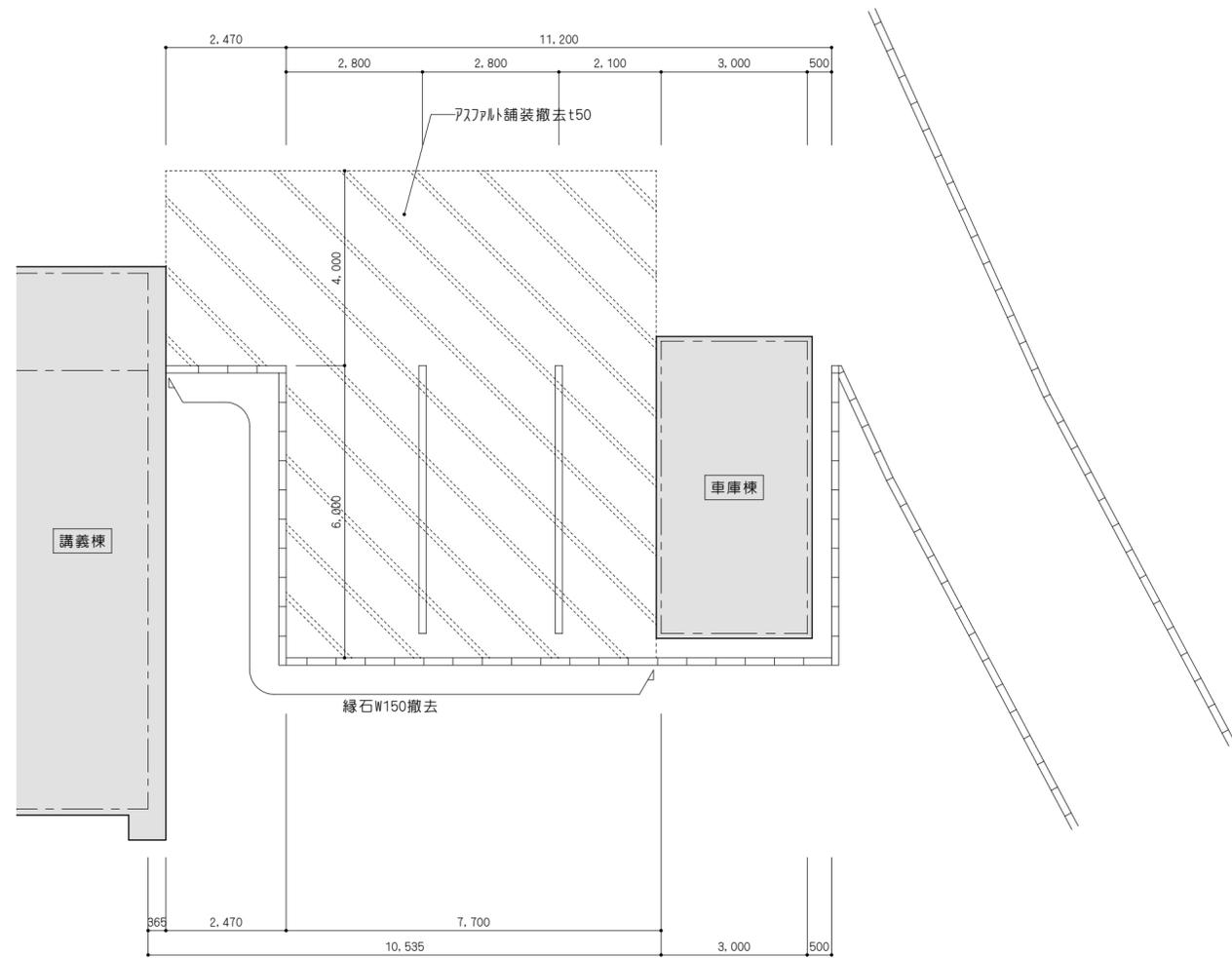
改修後 断面詳細図 S:1/50

備	
庫	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 園分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	改修前・後 既存部分詳細図	SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
Design	設計担当者		
General Contractor	一般建築士 No. 327089 倉田和彦		A-26

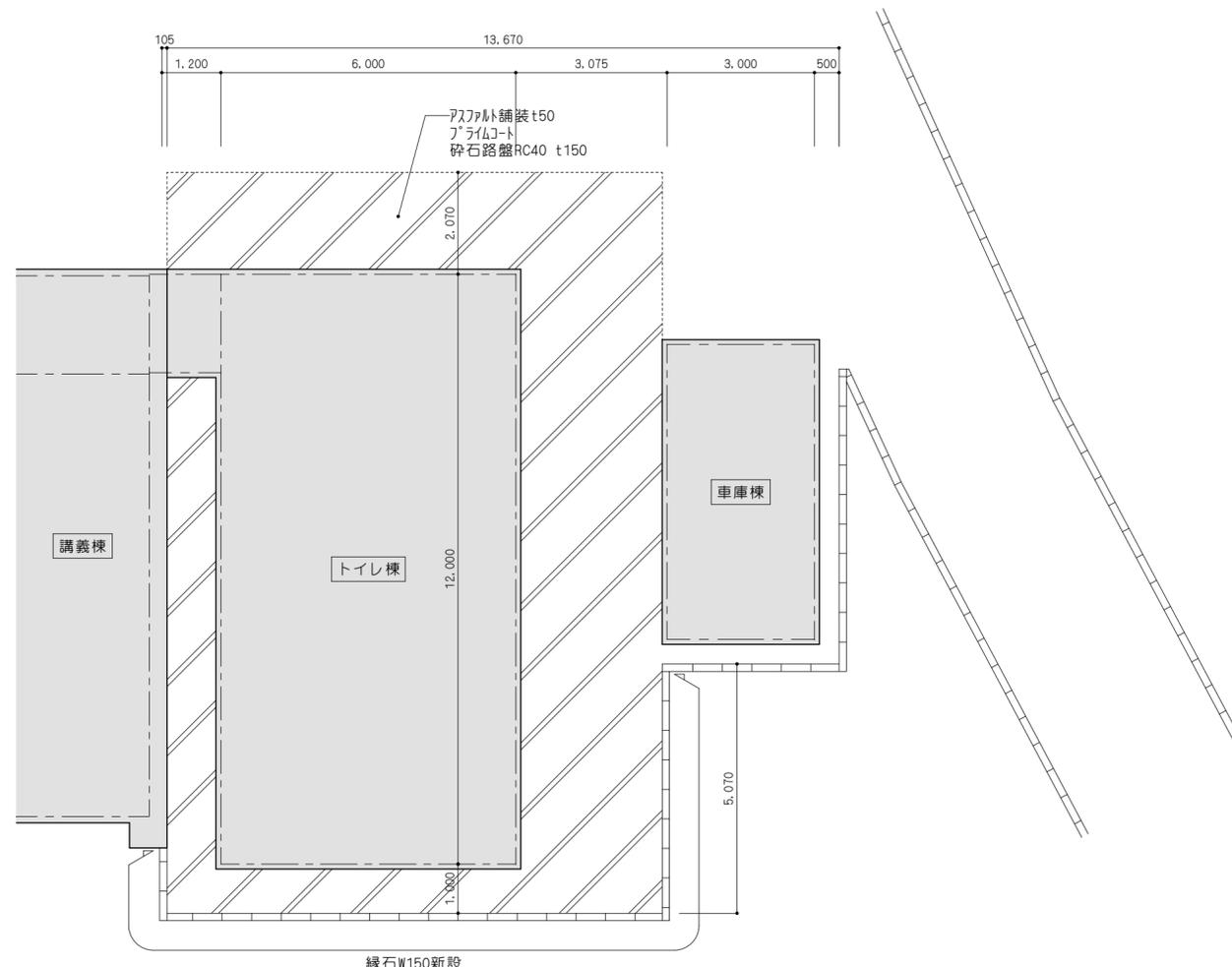
改修前



改修前 外構図 S:1/100



改修後



改修後 外構図 S:1/100



備	
庫	

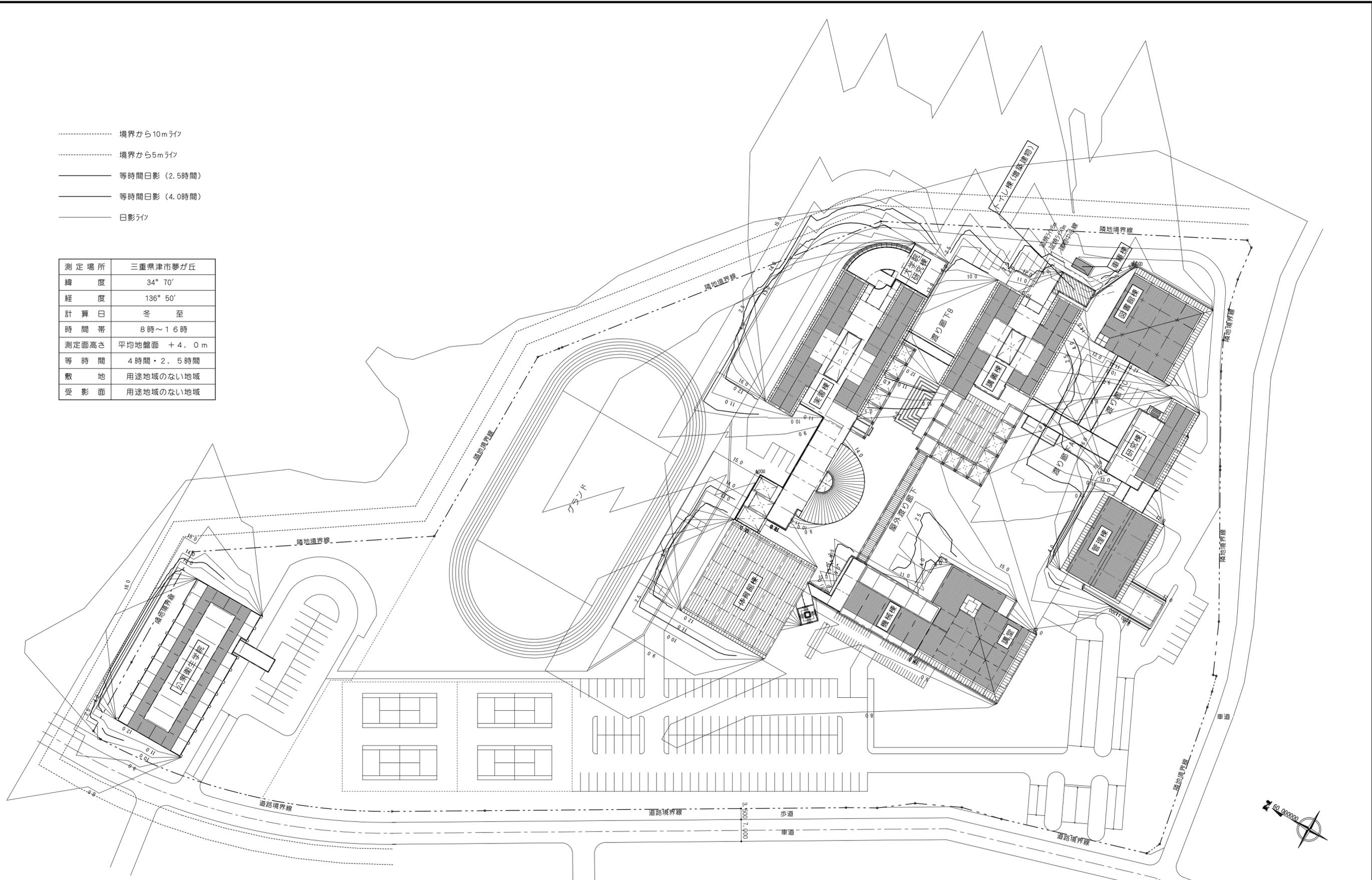
**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一般建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	外構図
設計担当者	
一般建築士 No.215909 倉田和彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/800 A3: 1/1,120
	A-27

- 境界から10mライン
- 境界から5mライン
- 等時間日影 (2.5時間)
- 等時間日影 (4.0時間)
- 日影ライン

測定場所	三重県津市夢が丘
緯度	34° 70'
経度	136° 50'
計算日	冬 至
時間帯	8時～16時
測定面高さ	平均地盤面 +4.0m
等時間	4時間・2.5時間
敷地	用途地域のない地域
受影面	用途地域のない地域



備	
書	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	日影図
設計担当者	
一般建築士 No.227089 倉田和彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/800 A3: 1/1120
	A-10



# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

## 1. 一般事項

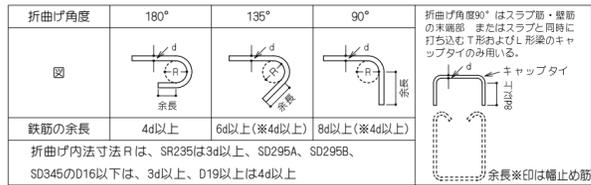
(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。  
 (2) 記号  
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径  
 @...間隔 r...半径 a...中心線 L<sub>o</sub>...部材間の内法距離 h<sub>o</sub>...部材間の内法高さ  
 S T...あばら筋 H O O P...帯筋 S, H O O P...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

鉄筋表示記号	○	×	◇	●	○	◎	⊗	⊙	
鉄筋径	異径鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
	丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ

上表の鉄筋表示記号は、この配筋標準図には適用しない。

## 2. 鉄筋加工、かぶり

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状



### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ、D16以下 19φ、D19以下	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	19φ~25φ、D19~D25 28φ~32φ、D29~D38	6d以上 8d以上

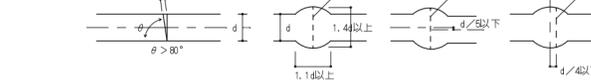
### (3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm <sup>2</sup> )	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L <sub>o</sub> )
		一般(L <sub>o</sub> )	下筋(L <sub>o</sub> )	スラブ	
SR235	21 22.5 24	35dフックつき	25dフックつき	15cmフックつき	35dフックつき
	16 18	45dフックつき	30dフックつき	15cm以上	45dフックつき
SD295A SD295B SD345	21 22.5 24	35dまたは25dフックつき	25dまたは15dフックつき	25dかつ15cm以上	40dまたは30dフックつき
	16 18	40dまたは30dフックつき	30dフックつき	15cm以上	45dまたは35dフックつき

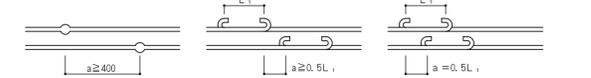
### 継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D19以上の異径鉄筋は、原則として重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない

### ガス圧接形状

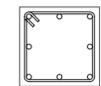


### 圧接継手



### (4) かぶり厚さ(単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



部	位	設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋 内 30 屋 外 40 <sup>(1)</sup>	30(20)
	柱 耐力壁	屋 内 40 屋 外 50 <sup>(1)</sup>	30 40 <sup>(1)(30)</sup>
土に接する部分	擁壁・耐圧スラブ	50 <sup>(1)</sup>	40
	柱・はり・床スラブ・耐力壁 基礎・擁壁・耐圧スラブ	50 70	40 <sup>(4)</sup> 60 <sup>(4)</sup>

- (注) (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる  
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる  
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる  
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする  
 (5) ( )内は仕上げがある場合

## (5) 鉄筋のあき

丸鋼では形、異形棒鋼では呼び名に用いた数値1.5d以上  
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

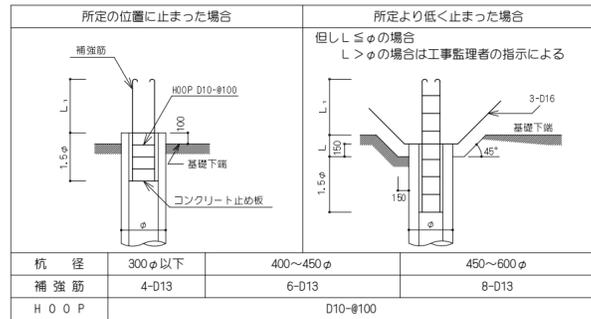


## (6) 鉄筋のフック

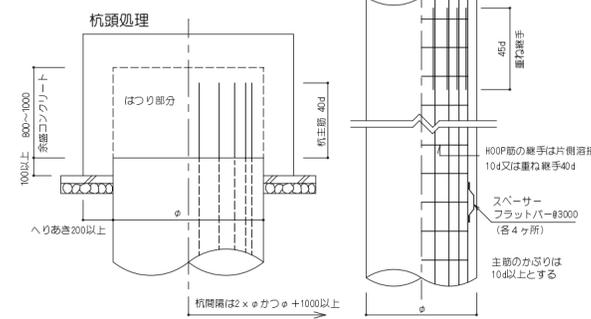
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋、幅止め筋 c. 煙突の鉄筋  
 d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)  
 e. 単純梁の下端筋  
 f. その他、本配筋標準に記載する箇所

## 3. 杭

### (1) P C杭、又はP H C杭の全てに補強を行なう

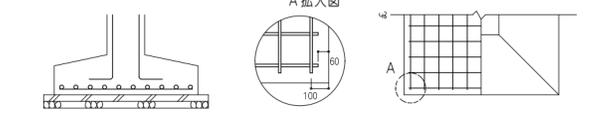


### (2) 場所打ちコンクリート杭

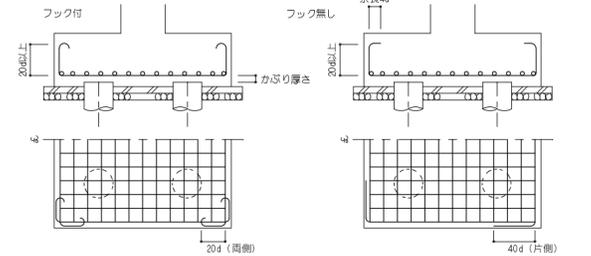


## 4. 基礎

### (1) 直接基礎



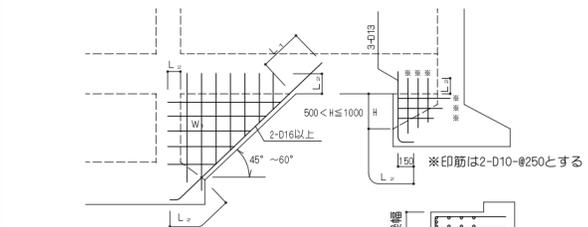
### (2) 杭基礎



## (3) ベタ基礎

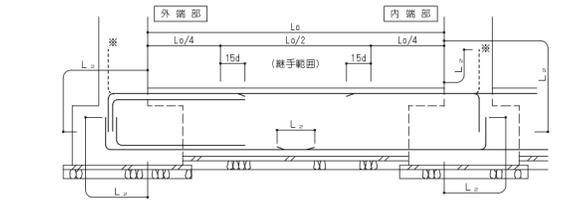


## (4) 基礎接合部の補強

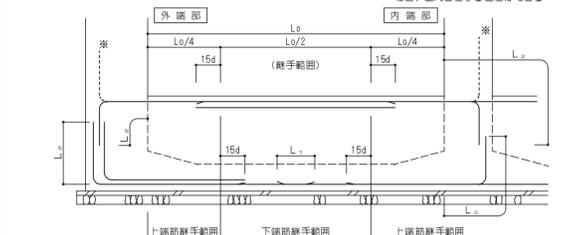


## 5. 地中梁

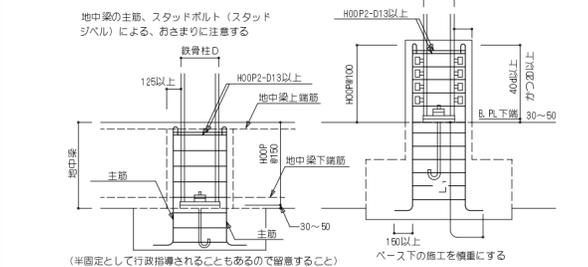
### (1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



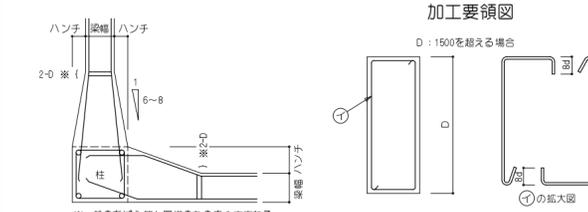
### (2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



### (3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



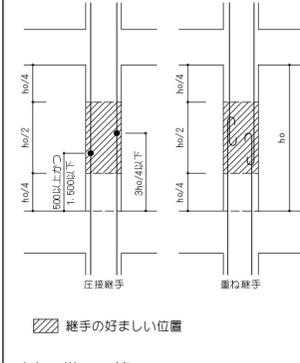
### (4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



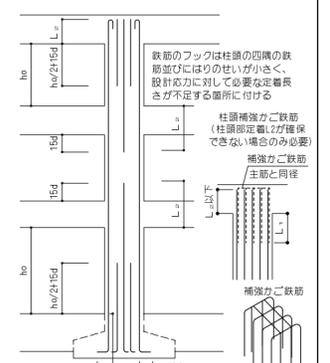
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう  
但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40とする

## 6. 柱

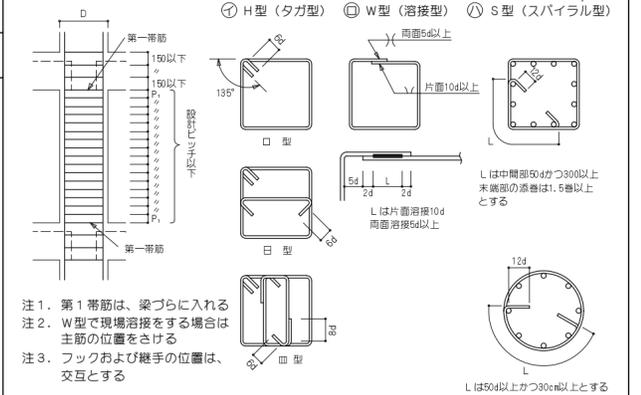
### (1) 柱主筋の継手



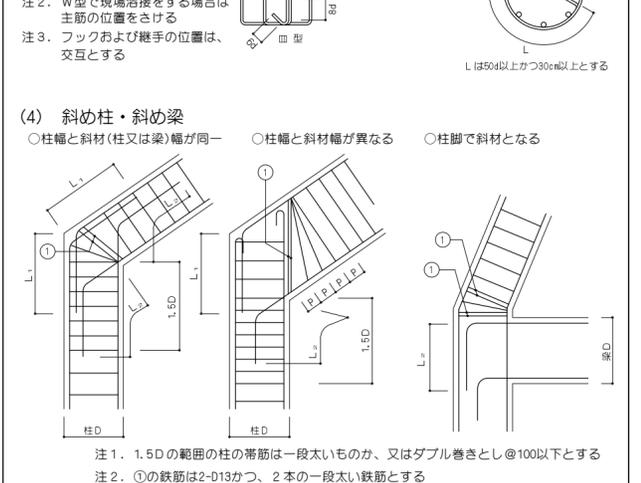
### (2) 柱主筋の定着



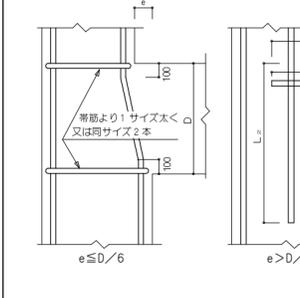
### (3) 帯筋



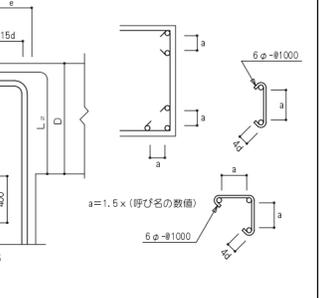
### (4) 斜め柱・斜め梁



### (5) 絞り



### (6) 二段筋の保持

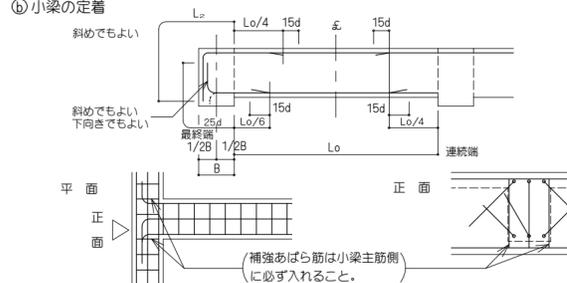
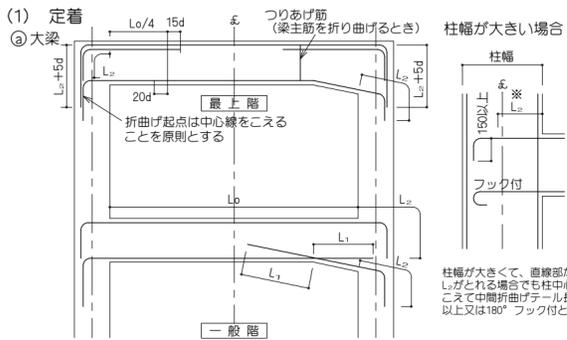


備	Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
	Drawing Title	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	SCALE	No Scale
庫	設計担当者		No. 27089	S-02
	一般建築士			
	倉田利裕			

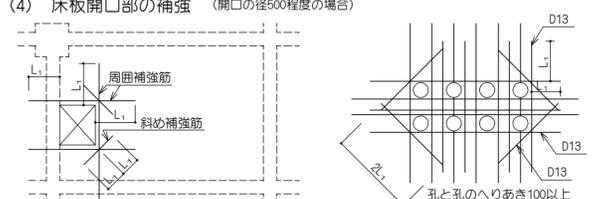
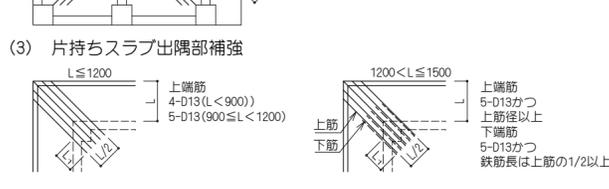
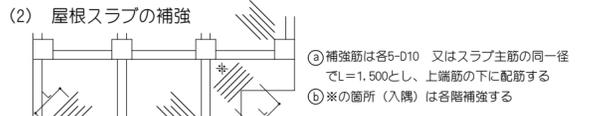
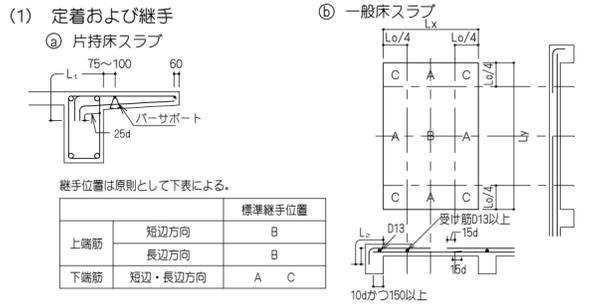
NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一般建築士 No. 215909 國分恵之

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

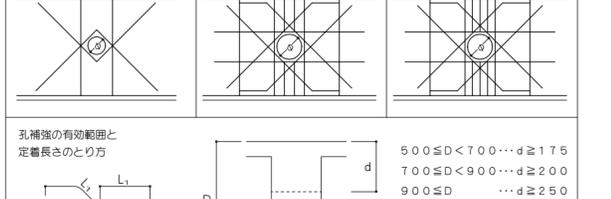
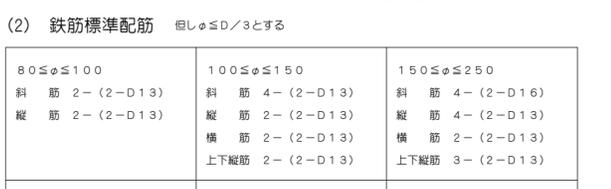
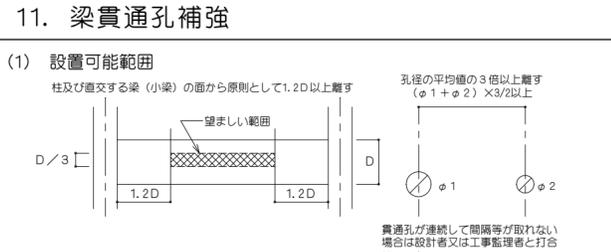
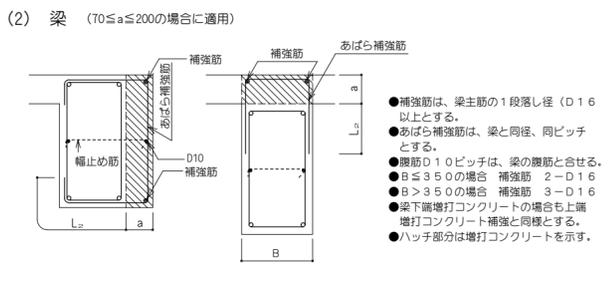
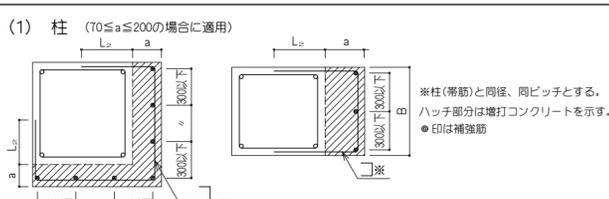
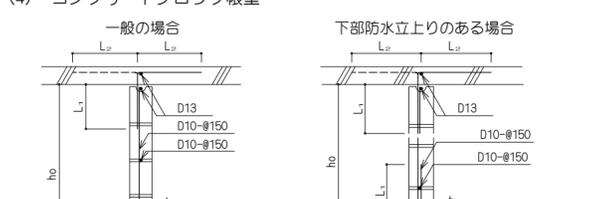
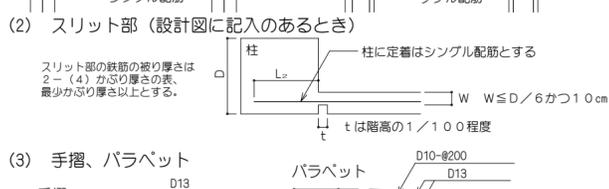
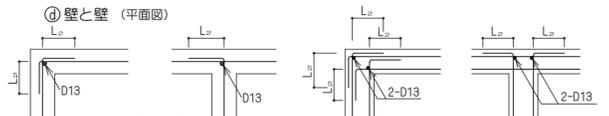
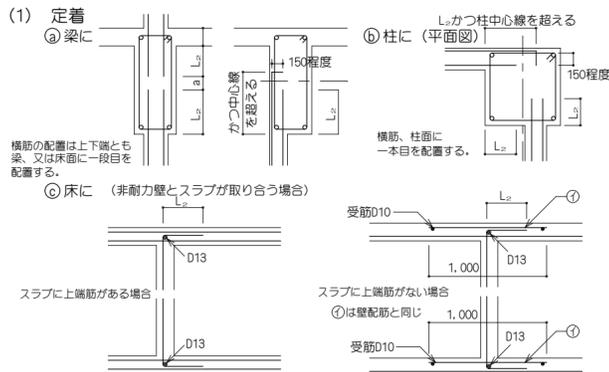
## 7. 大梁、小梁、片持梁



## 8. 床版



## 9. 壁



備	
庫	

**NISSHIN SEKKEI**  
**目新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 園分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	SCALE	No Scale
設計担当者			
一般建築士 No.27089 倉田利彦			S-03

# 鉄骨構造標準図 (1)

## 1. 一般事項

### (1) 材料及び検査

- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

### (2) 工作一般

- (a) 鉄骨制作及び施工に先立つて「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継ぎ手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

### (3) 高力ボルト接合

- (a) 本構めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

### (4) 溶接接合

#### (a) 溶接技能者

溶接技能者は施工する溶接に適合するJIS Z 3801 (手溶接) 又はJIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し、半年以上溶接に従事している者とする

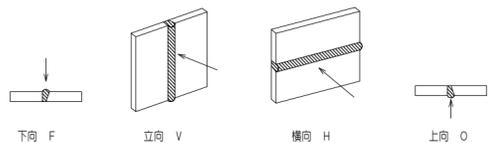
#### (b) 溶接機器

- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエア-ガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接機乾燥器

#### (c) 溶接方法

- アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
- セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエア-ガウジング (AAG)

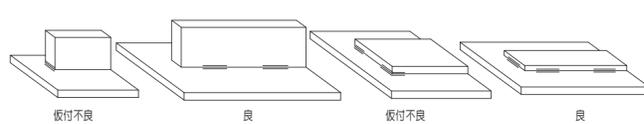
#### (d) 溶接姿勢



- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

#### (イ) 板付位置

組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となし易い箇所は避ける



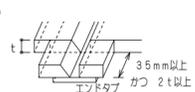
- (ロ) 完全溶込み溶接部の板付位置は必ず裏はつり側に施工する



#### (f) 溶接施工

##### (イ) エンドタブ

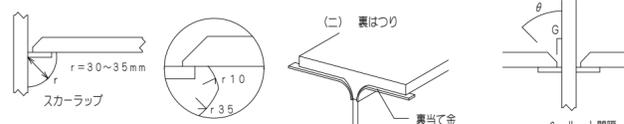
- I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同傾斜形状のエンドタブを取り付ける
- II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- III) エンドタブの長さは、MC: 35mm 以上  
NGC、GC: 40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm 程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る



##### (ロ) 裏あて金

材質母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm 以上とする

- (ハ) スカーリップ半径は30~35mmと、10mm のダブルールとする  
但し梁成0=150mm未満の場合のスカーリップはr=20mmとする



##### (ニ) 裏はつり

標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を 助行し、部材に確認マークをつける

- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を いためないように、養生を行なう

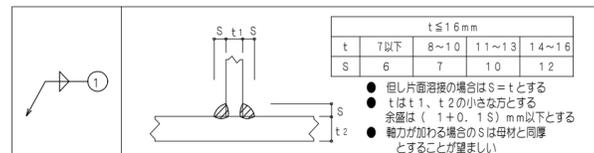
### (5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

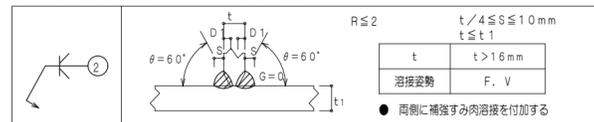
## 2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

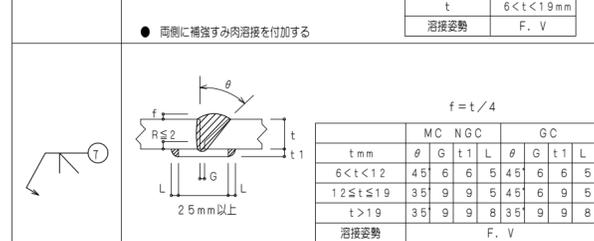
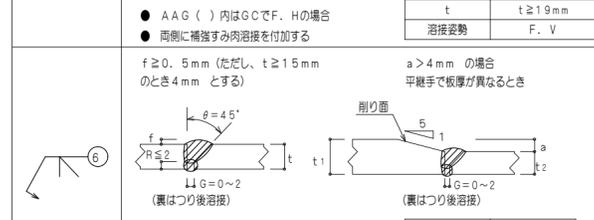
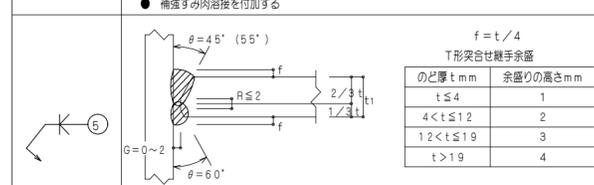
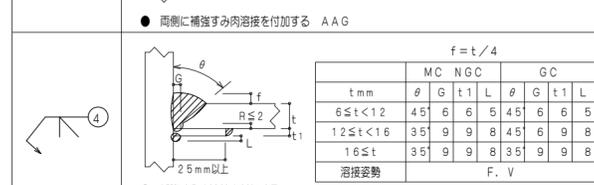
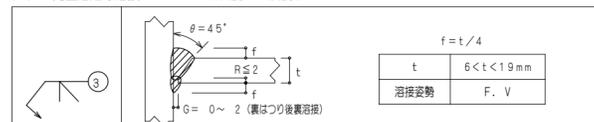
### (1) スミ肉溶接



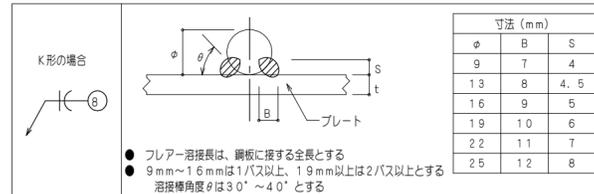
### (2) 部分溶込み溶接 (使用箇所注意)



### (3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

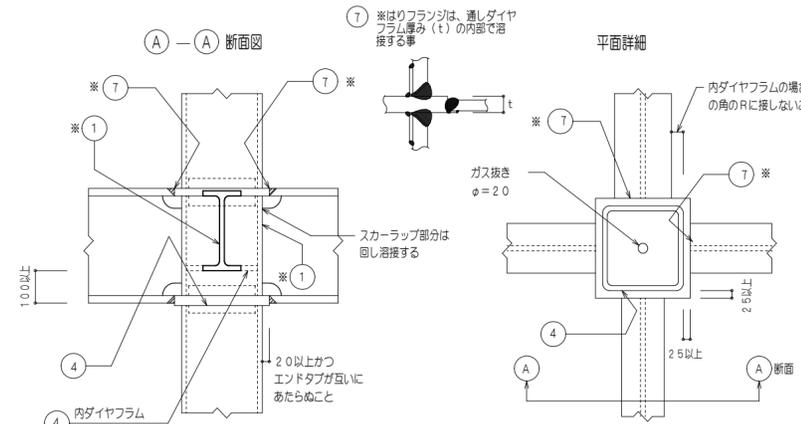
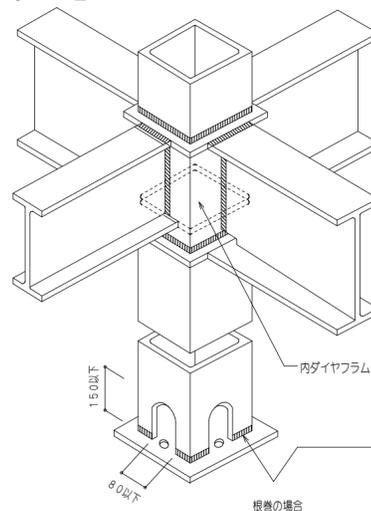


### (4) フレア溶接



○ 溶接記号番号を ○ 中に記入のこと

### ● B・O・X型 (通しダイヤフラムの場合)

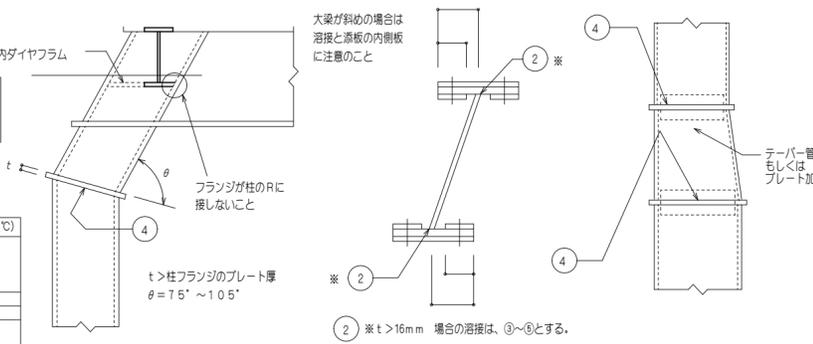


### ● 柱が途中で折れる場合及び梁成が異なる場合

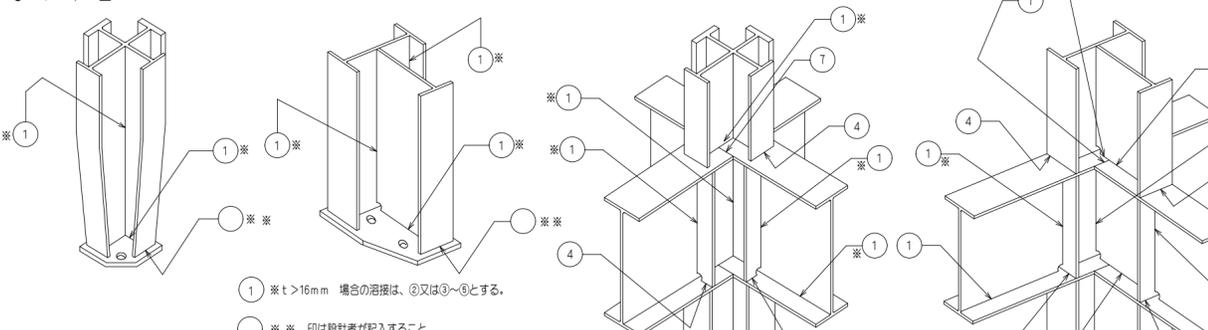
(柱材料: BCR295、BCP325を使用する場合)  
通しダイヤフラムは、SN490B・C、SM490同等以上の鋼材を使用する事。  
通しダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大径の2サイズアップとする事。

### ● 鋼材種別による溶接条件

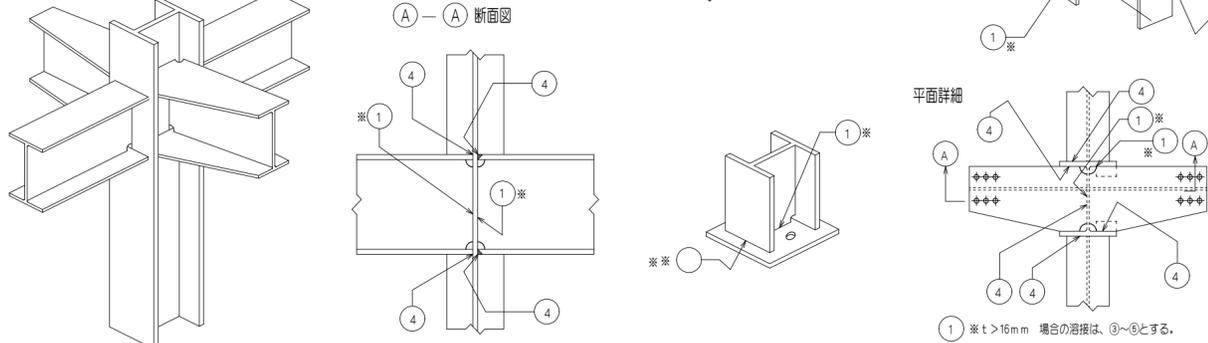
鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス温度差 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
490N級鋼	YGA-50W、50P	40以下	350以下
	JIS Z 3212、3214		
	YGW-11、15		



### ● 中、H、H型



### ● B、H方式



備		<p style="text-align: center;"><b>NISSHIN SEKKEI</b></p> <p style="text-align: center;">目新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分忠之</p>	<p>Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事</p> <p>Drawing Title 鉄骨構造標準図 (1)</p> <p style="text-align: right;">設計担当者</p>	DATE
				2014 - Nov
庫				SCALE
				No Scale
				S-04

# 鉄骨構造標準図 (2)

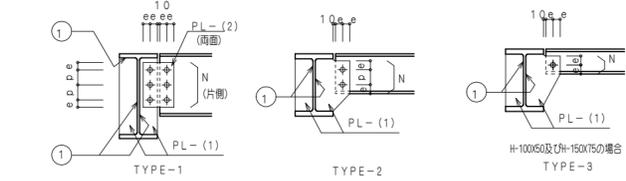
## 3. 継手標準図、その他

### (1) ボルトピッチ (P)、ボルト孔径・最小縁間距離 (mm)

呼び	ボルト孔径	最小縁間距離 (e)				ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70
M27	32		49	36			
M30	35		54	40			
M34以上	呼び+5		9d/5	4d/3			アンカーボルト径 (d)

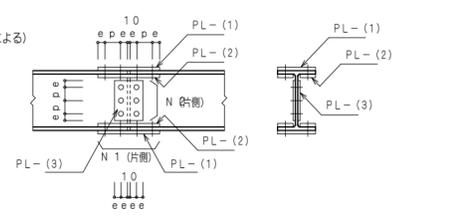
- 【注】 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁間距離  
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁間距離  
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁間距離

### (2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
		部材リスト参照			

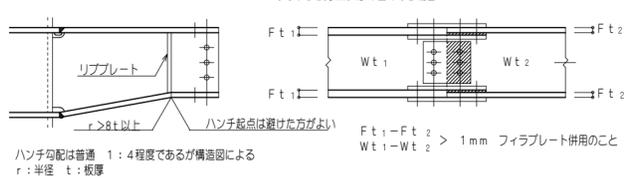
### (3) 梁鋼接合継手リスト (SCSS-H97による)



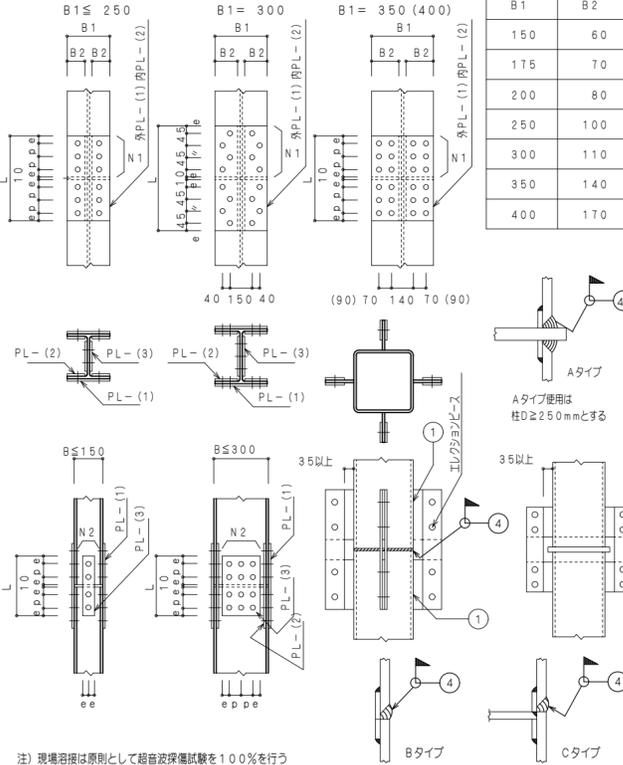
【注】 断面をBHとする場合の部材は設計図による

符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	部材リスト参照					

### (4) ハンチ部の継手



### (5) 柱継手リスト (SCSS-H97による)



【注】 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

符号	部材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	部材リスト参照					

### (6) 鉄骨ブレース (JIS規格品とする...JISA5540...1982/5541・5542...2003)

(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24			
								最大	最小	調整ねじの長さ S
ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24			
最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99			
最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77			
調整ねじの長さ S	100	115	125	140	150	165	175			
取付ボルト孔径 R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5			
許容差 ±0.5mm										
はしあき (最小) (2) e1	35	40	45	50	50	55	50			
へりあき (最小) (1) e2	22	28	28	34	34	38	38			
切板板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9			
平鋼板厚 t	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5			
へりあき (最小) (1) e2										
ボルト種から取付ボルト穴のあき (最小) e3	47	52	59	66	66	73	70			
溶接長さ (最小) Q	40	50	55	60	75	85	85			

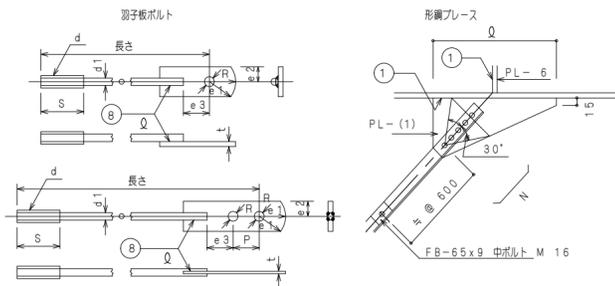
(2) 種類 JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中 8g 10.9

取付ボルト	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20

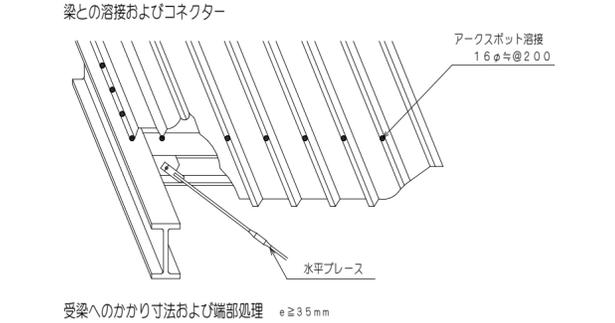
- 【注】 (1) e1, e2が確保されていない場合は形状は自由でよい  
 (2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする

### (b) 形鋼ブレース

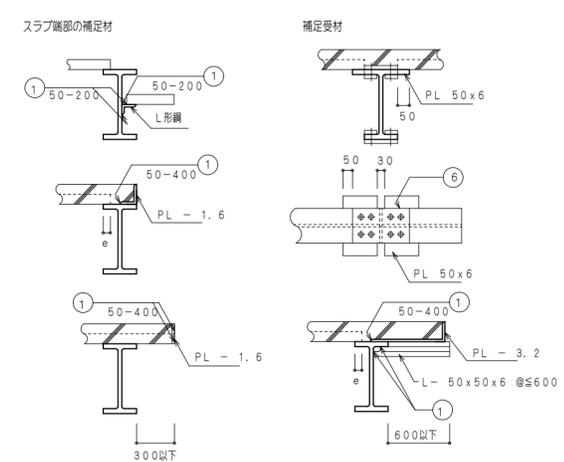
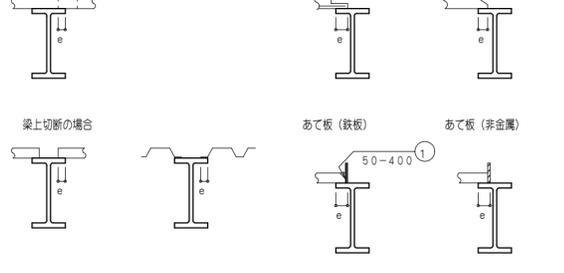
符号	部材	PL-(1)	N-径	Q
	部材リスト参照			



### (7) テッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



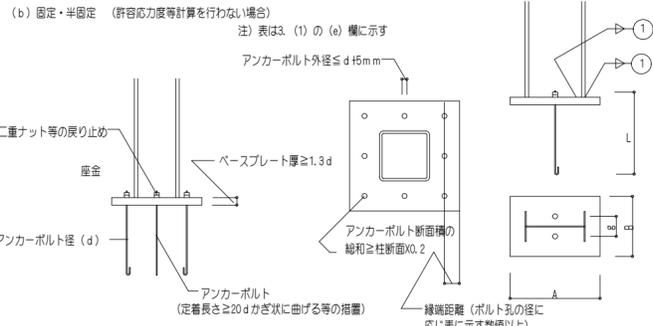
### 受梁へのかかり寸法および端部処理



### (8) 露出柱脚

(a) H形鋼 (ピン接合)

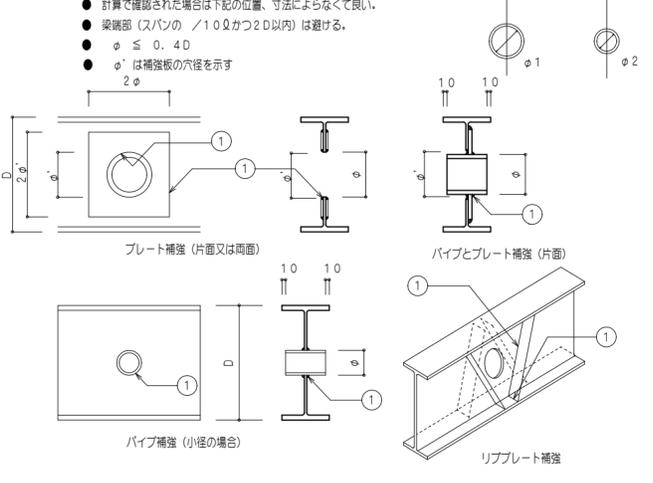
符号	部材	アンカーボルト			ベースプレート			備考	
		径	L	本数	厚	A	B		寸
	H-125・60・6・8	16	62.0	2	12	185	180	100	
	H-150・75・5・7	16	62.0	2	12	210	180	100	
	H-175・90・5・8	16	62.0	2	12	225	180	100	
	H-200・100・5.5・8	16	62.0	2	12	260	180	100	
	H-250・125・6・9	16	62.0	2	16	310	180	100	
	H-148・100・6・9	16	62.0	2	12	210	180	100	
	H-194・150・6・9	20	73.0	2	16	255	200	120	
	H-100・100・6・8	16	62.0	2	12	150	180	100	
	H-125・125・6.5・9	20	73.0	2	16	185	180	100	
	H-150・150・7・10	20	73.0	2	16	210	200	120	



### (9) 頭付きスタッド (JIS 1198) スタッド材の標準形状・寸法

形状 D	スタッド材			
	呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm
φ13mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130
	12.7	25.4	7.9	
φ16mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130
	15.8	31.7	7.9	
φ19mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
	19.0	31.7	9.5	
φ22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
	22.2	34.9	9.5	

### (10) 梁貫通補強



プレート補強の板厚

スリブ径	補強板
φ ≤ 0.15D	補強板不要
φ ≤ D/4	Web板厚以上 (片面)
φ ≤ D/3	Web板厚×1.2倍以上 (片面)
φ ≤ 0.4D	Web板厚以上 (両面)

# QLデッキ合成スラブ設計・施工標準

JFE 建材  
株式会社

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工標準-2004」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

## 設計

材料/デッキプレート		[ISO 9001認証取得]	
デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理	
QLデッキ	●端部加工 □加工有り	●Z12 □Z21	●亜鉛メッキ(G)
●QL99-50	●1.2	□Z12 □Z21	●ZAM(高耐食溶融めっき鋼板) [□K27 □K35]
□QL99-75	□1.6		●無し
QLセルラー	□GKX-50	亜鉛メッキ Z27限定	
	□GKX-75		
材 質	JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G		

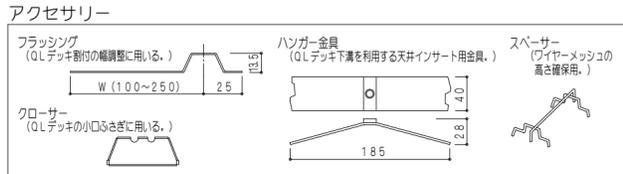
材料/コンクリート	
種 類	●普通コンクリート □軽量コンクリート(□1種 □2種)
設計基準強度	●18 □21 □( ) N/mm <sup>2</sup>
厚さ(デッキ山)	□60 □70 ●80 □85 □90 □95 □100 □( ) mm

材料/溶接金網・異形鉄筋	
溶接金網	JIS G 3551 ●φ6-150X150 □φ6-100X100
異形鉄筋	JIS G 3112, 3117 □D10-φ200 □( )

接 合	
●焼抜き栓溶接 下記焼抜き栓溶接の項による	
□打込み鉄	別途打込み鉄の仕様による
□頭付きスタッド	JIS B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22
□その他	

耐 火	
1 時間	
連続支持	□FP060FL-9095 □FP120FL-9107
単純支持	●FP060FL-9101 □FP120FL-9113
その他	□( ) □( ) □( )
指定なし	□( ) □( ) □( )

特 記	
支保工有無	□無 □有



## 耐火仕様

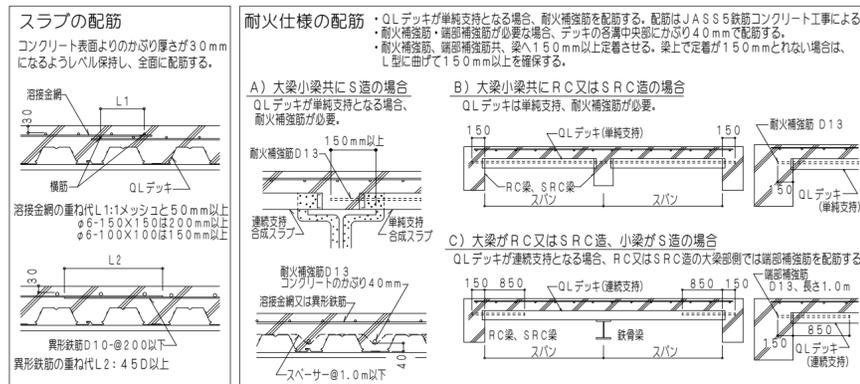
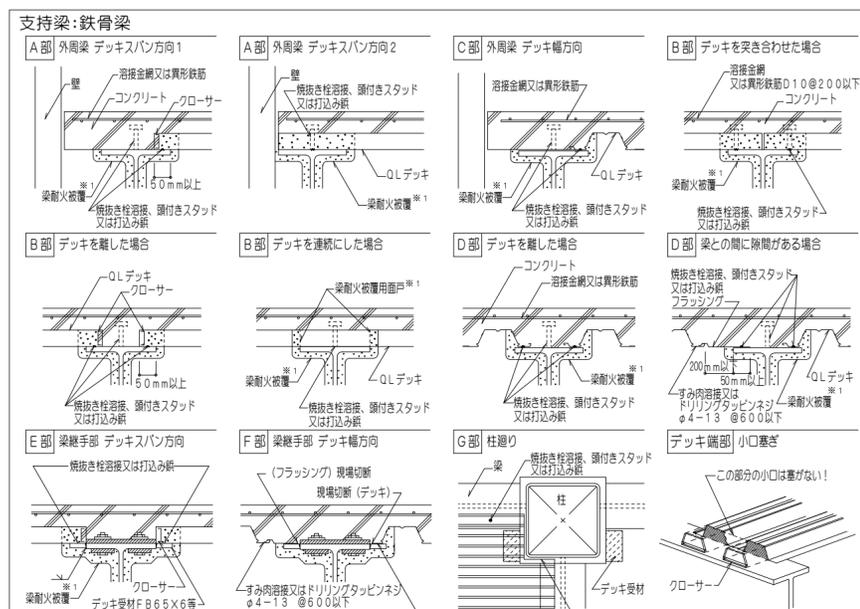
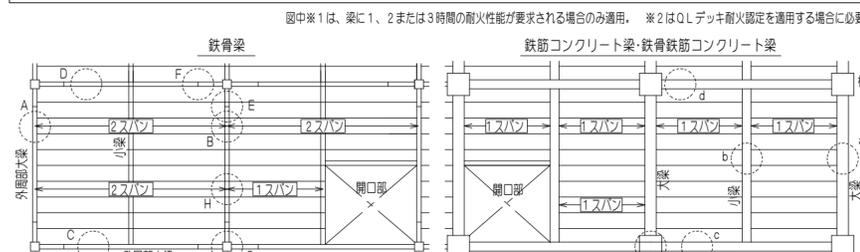
【連続支持合成スラブ】						
耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-φ200)	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m以下	80mm以上	φ6-150x150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.6m以下	90mm以上	φ6-100x100	算出式注5)B参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	φ6-100x100	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	95mm以上	D10-φ200	算出式注5)B参照

【単純支持合成スラブ】						
耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-φ200)	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150x150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100x100	算出式注5)B参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	φ6-100x100	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	95mm以上	φ6-100x100	算出式注5)B参照

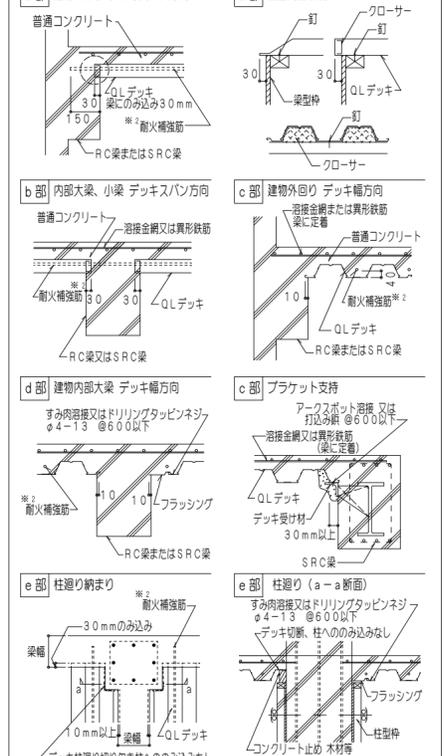


付帯条件	
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上わたって連続的に小はり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。	

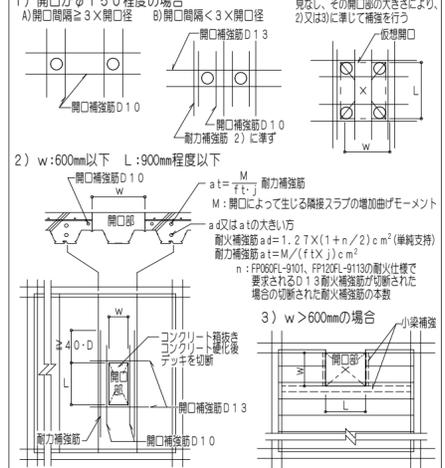
## 標準納まり



## 支持梁:鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート梁



## 開口部補強案



施工順序	敷 込 み	
	1) 墨出し 敷込み止め溶接	2) デッキプレートの溝部が各大梁上に乗るように敷込む。(50mm以上)
デッキと梁との接合 1) 頭付きスタッド 2) 打込み鉄 3) 焼抜き栓溶接	2) 溶接機 交流アーク溶接機 AW250A以上 エンジン溶接機 230A以上	3) 標準溶接条件 溶接機 230A以上
溶接金網敷込み	溶接機 230A以上	溶接機 230A以上
コンクリート打設	溶接機 230A以上	溶接機 230A以上
検 査	溶接機 230A以上	溶接機 230A以上

デッキと梁との接合				
1) 頭付きスタッド	2) 打込み鉄			
仕様及び打設位置は別途設計図による。デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。	別途打込み鉄の施工要領による。			
焼抜き栓溶接 [S.P.W.] — アークスポット溶接 —				
自動焼抜き栓溶接 [A.P.W.] — CO <sub>2</sub> アークスポット溶接 —				
1) 一次電源の必要容量: 仮設電力の場合 18kVA以上 3相 200V 自発電機の場合 35kVA以上 3相 200V	2) ワイヤの種類と径: YGW 11、12 φ1.2mm			
標準溶接条件: 下表				
デッキ板厚 (mm)	溶接機 (mm)	電流 (A)	電圧 (V)	アークタイム (秒)
1.2	6~9未満	3.00~3.20	3.3~3.5	3.0~4.0X1度打ち
	9以上	3.00~3.20	3.3~3.5	3.0~4.0X2度打ち
1.6	6~9未満	3.00~3.20	3.4~3.6	3.5~4.5X1度打ち
	9以上	3.00~3.20	3.4~3.6	4.0~4.5X2度打ち

検 査	
【焼抜き栓溶接 (S.P.W.) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W.)】	
事前検査 S.P.W.: 適正な溶接を行うため下記の方法で電流値をチェックする。 1) 検流計での計測 2) 溶接棒の消費長さによる確認 — 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、1.0m程度の円を描いて1.0秒間溶接した際の溶接棒の消費長さが4.5~5.9mmであることを確認する。 A.P.W.: 目視検査を行って溶接状態を確認する。	
溶接後の外観検査 1) 溶接部の確認 2) 焼き切れ、余盛りの有無 3) 標準溶接条件: S.P.W.: 18mm以上 A.P.W.: 25mm±3	
不良部の補修 S.P.W.の場合: スラッグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。不具合箇所に着金線を溶かし溶接を再行する。 A.P.W.の場合: 重ね溶接して補修する。	
【その他】 (1) デッキ相互の嵌合状況 (2) 溶接金網の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況	

(参考)ひび割れ拡大防止のための留意事項	
[1]設計上の留意点 1) 小梁の剛性を大きくする。 2) ひび割れ防止のための補強筋を設ける。(右図補強例参照) 3) スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。(コンクリート厚さをデッキ山以上から80~90mmと厚くする。) 4) デッキプレートは各溝で梁に接合すること。頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。	大梁上の補強例 補強筋(D13) 400mm以上 400mm以上 補強筋D10x200
[2]施工上の留意点 1) 水セメント比を小さくする。 単位水量 175リットル/m <sup>3</sup> 以下 ペースコンクリートスラブ 10cm 高性能Aを推奨 2) 溶接金網の位置一かぶり厚さ30mmを確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する) 3) コンクリート打込み後1週間経過後作業を行わない。歩行程度は可。 4) 打込み後初期には水や養生シート等で濡らす養生を行う。 5) 照射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。 6) 打込み後4~7日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。	柱廻りの補強例 補強筋(D13) ひび割れ



### 角形鋼管

F値295N/mm<sup>2</sup>以下  
□-150×150 ~ □-300×300 用

(財)日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-12」(平成25年5月17日付)

# ベースバック柱脚工法設計標準図

●ベースバック柱脚工法の設計は「ベースバック柱脚工法設計ハンドブック」による。

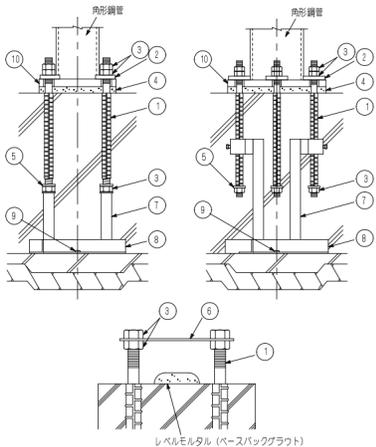
岡部株式会社  
TEL03 (3624) 5336

旭化成建材株式会社  
TEL03 (3296) 3515

2013年7月作成

## 1. 工法概要

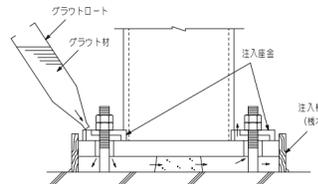
### 1.1 構成部材



- ① アンカーボルト
- ② 注入座金
- ③ Mナット
- ④ ベースバックグラウト(グラウト材)
- ⑤ 定着座金
- ⑥ テンプレート
- ⑦ フレームポスト
- ⑧ フレームベース
- ⑨ ステコンアンカー (コンクリートアンカー)
- ⑩ ベースプレート

(注)上記①～⑩の構成部材はベースバック構成部品として供給される。  
(注)上記①～⑥は現場状況により仕様が変わる場合がある。

### 1.2 柱脚の定着方法概要



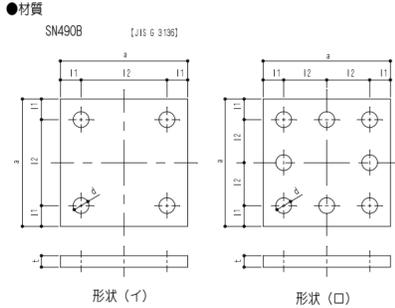
## 2. 柱

F値(N/mm <sup>2</sup> )	鋼種	採用
235	BCP235	◎
	STK400	
295	BCR295	◎

採用	ベースバック記号	柱		材質	形状	ベースプレート				アンカーボルト		コンクリート柱型						フレームベース		フレームポスト間		最低h寸法		J寸法	
		外径(mm)	板厚(mm)			寸法(mm)				本数-呼び	材質	寸法D(mm)		寸法W(mm)		寸法x(mm)		寸法		寸法					
						a	t	l1	l2			d	標準フレーム	特A	標準フレーム	特A	標準フレーム	特A	標準フレーム	特A	標準フレーム	特A			
	15-12R	□-150×150	t≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	φ45	4-M27	SD490	A	460	-	8-D13	D100#100	21以上	250	-	150	-	550	-	135
	17-12R	□-175×175	t≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	φ45	4-M30	SD490	A	500	-	8-D16	D100#100	21以上	280	-	180	-	600	-	135
	20-09R	□-200×200	t≦9	SN490B	(イ)	360	32	45	270	φ45	4-M30	SD490	A	550	-	8-D13	D100#100	21以上	320	-	220	-	600	-	135
	20-12R	□-200×200	t≦12	SN490B	(イ)	360	36	45	270	φ50	4-M33	SD490	A	550	-	8-D16	D100#100	21以上	320	-	220	-	600	-	135
	25-09R	□-250×250	t≦9	SN490B	(ロ)	460	32	55	175	φ45	8-M27	SD490	B	620	650	8-D16	D130#150	21以上	223	400	123	300	600	600	135
	25-12R	□-250×250	t≦12	SN490B	(ロ)	460	36	55	175	φ45	8-M30	SD490	B	620	650	8-D16	D130#150	21以上	220	400	120	300	600	600	135
	25-16R	□-250×250	t≦16	SN490B	(ロ)	460	40	55	175	φ50	8-M33	SD490	B	630	650	8-D19	D130#150	21以上	216	400	116	300	600	600	135
	30-09R	□-300×300	t≦9	SN490B	(ロ)	520	40	50	210	φ50	8-M30	SD490	B	700	720	8-D16	D130#150	21以上	290	470	190	370	600	600	135
◎	30-12R	□-300×300	t≦12	SN490B	(ロ)	520	40	50	210	φ50	8-M33	SD490	B	700	720	8-D19	D130#150	21以上	286	470	186	370	600	600	135
	30-16R	□-300×300	t≦16	SN490B	(ロ)	520	45	50	210	φ55	8-M36	SD490	B	730	730	8-D22	D130#150	21以上	283	470	183	370	600	700	150
	30-19R	□-300×300	t≦19	SN490B	(ロ)	560	50	60	220	φ55	8-M36	SD490	B	730	740	12-D22	D130#150	21以上	303	490	203	390	600	700	150

## 3. 構成部材・寸法

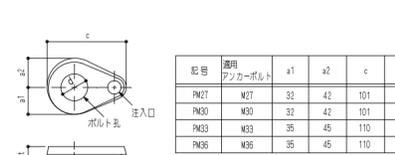
### 3.1 ベースプレート



### 3.3 Mナット

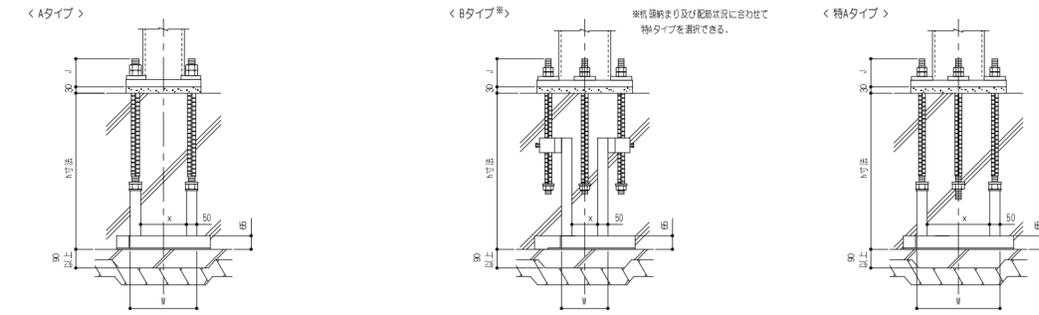
呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64

### 3.5 注入座金

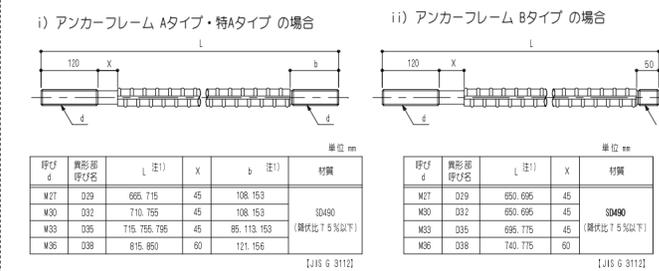


### 3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースバックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。



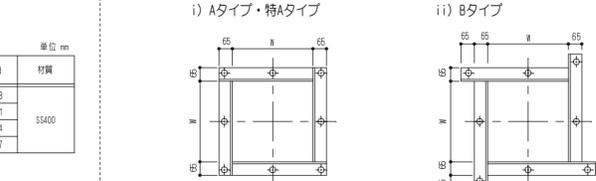
### 3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)



### 3.4 定着座金

呼び	A	B	C	D	材質
M27	55	9	28	-	SS400
M30	55	9	31	-	SS400
M33	60	9	34	-	SS400
M36	65	12	37	-	SS400

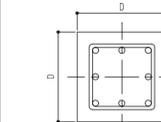
### 3.6 フレームベース



## 4. コンクリート柱型

### 4.1 形状・材質

●形状  
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースバック柱脚工法における柱型寸法の最小・最大値一覧」による。



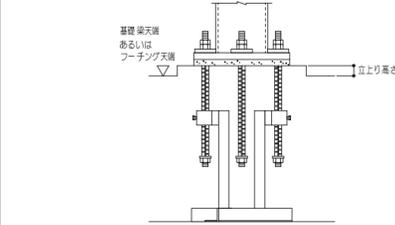
●コンクリート  
普通コンクリートとし、設計  
基準強度は21N/mm<sup>2</sup>以上とする。

### ●鉄筋

SD295 (D10, D13, D16)  
SD345 (D19, D22)

### 4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。  
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合は、Lシリウスを使用することができ。



## 5. 工場製作 (溶接)

### ■組立

●ベースプレートの中心線(ガキ線)に柱材軸心を合わせる。

### ■溶接方法 (完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

溶接方法	溶接厚 T (mm)	ルート開先 (mm)		開先角度 α (°)		溶接姿勢	
		標準値	許容差	標準値	許容差		
縦接	6~	T	-2 (+0)	2	-2 (-1)	α: 1:45	下向き
		9	-2 (+0)	2	-2 (-1)	α: 1:35	
横接	6~	T	-2 (+0)	2	-2 (-1)	α: 1:45	下向き
		9	-2 (+0)	2	-2 (-1)	α: 1:35	

許容差: ●記号は有効値を示す。  
●破線は「鉄骨構造検査標準」に規定する許容差(上段:管理許容差、下段:検査内:測定許容差)を示す。

### ■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5℃以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm)		
		t<32	32≦t<40	40≦t≦50
低水素炭素電アーク溶接	SN490B	予熱なし	50℃	50℃
	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし

●検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

●施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

## 6. 工事場施工

### 6.1 基礎工事

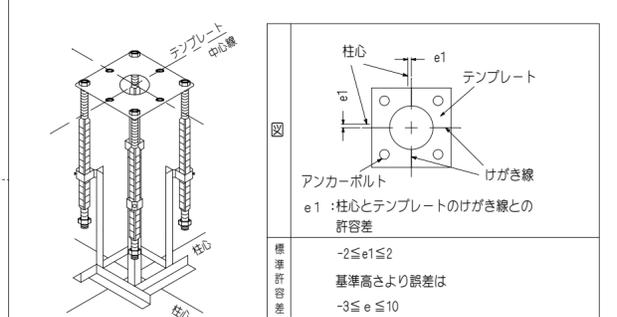
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

### 6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



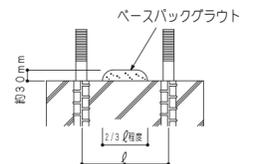
### 6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

### 6.4 建方

●レベルモルタルはベースバックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。



### 6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

### 6.6 ベースバックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトローを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

## 7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6.2アンカーボルト据付け及び6.6ベースバックグラウトの注入は、ベースバック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースバック施工管理技術者・施工技術者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

# 地盤改良特記仕様書（ウルトラコラム工法）

## §1 工法概要

本地業は、ウルトラコラム工法による、地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、ウルトラコラム専用共回り防止翼（十字型）を装置した攪拌装置を用いて、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の科学反応により所要の強度を有する改良体を築造する工法である。

## §2 特記事項

本工法は、攪拌能力・攪拌径・品質（変動係数）に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。また、事前にその証明書を管理者に提出し認証を得ることとする。

## §3 一般事項

・本地業は、本特記仕様書によるほか  
「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（平成14年11月30日 財団法人 日本建築センター、以下指針という）による

### <1> 施工業者

本工事の施工業者は、地盤改良工法の施工技術及び計測装置の取り扱いに精通したもので、ウルトラコラム工法協会に所属する指定施工会社とする。

コラム径、掘削深度（改良長+空掘長）、本数配置等は、設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上変更することができる。

## §4 コラム仕様

### <1> 設計基準強度

コラムの設計基準強度は  $F_c = 900 \text{ kN/m}^2$  とする。

### <2> 固化材

固化材の配合は、原則として改良部分の検査対象土を採取し、3種類以上の添加量にて室内配合試験を行い試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。

※使用する固化材は、六価クロム等の土壤環境基準に適合することを確認する。

### <3> 配合強度

配合強度  $X_f$  は、設計基準強度  $F_c$  と変動係数・採取ヶ所数により割増係数  $\alpha_t$  を用いて、次式による。  $X_f = \alpha_t \times F_c$

割増係数  $\alpha_t$  は、合格率 80% とした下表による。

採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~	
変動係数 $V_c$	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	30%	2.597	2.240	2.095	1.961	1.869	1.594
	35%	3.160	2.649	2.448	2.265	2.265	1.594

### <4> 室内配合強度

設計基準強度  $\times$  割増係数 / (室内28日/室内7日強度比) = 推定室内7日強度

### <5> 固化材液の配合

固化材添加量	300	$\text{kg/m}^3$
水/固化材比	70	%

## §5 施工監理

※施工手順に従って次の使用で行う。

- ① 固化材スラリーの吐出量
- ② ロッドの鉛直性
- ③ オーガー回転数
- ④ 掘削深度・速度及び引上げ深度・速度
- ⑤ トルク値またはオーガー電流値

## §6 品質管理

<1> 調査ヶ所（検査対象に対して）

① 検査対象層群は概ねコラム300本を1単位とし、層厚50cm以上の土層毎に検査対象層を決める。

② 検査対象層は（シルト）であり設計対象層を（細砂）とする。

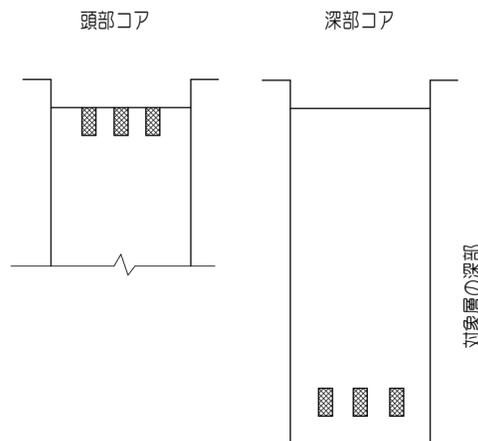
③ 検査手法は強度のパラツキを想定する場合は検査手法Aによる。

④ 調査ヶ所数（検査対象群に対して）

検査手法A	頭部モールドコア試験	2箇所
	深部モールドコア試験	2箇所

※頭部コアは、1箇所当たり3個のコア採取を標準とする。

### <2> 採取位置



### <3> 合否の判定

- ① 設計対象層について採取ヶ所をNとする。1箇所あたり3個の供試体を採取し、強度をその箇所の強度とする。
- ② 一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。

③ 検査手法Aによる品質検査  
合否の判定は設計対象層におけるNヶ所（採取ヶ所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$X_N \geq X_L = F_c + K_a \cdot \sigma_d = F_c + K_a \{F_c \cdot V_d / (1 - 1.3V_d)\}$$

$X_N$ : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値

$X_L$ : 合格判定値

$F_c$ : 設計基準強度

$K_a$ : 合格判定係数

$\sigma_d$ : 標準偏差

$V_d$ : 変動係数、品質確認書より想定する。

(合格判定係数)

採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 $K_a$	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

### <4> 未固化改良体の比抵抗測定

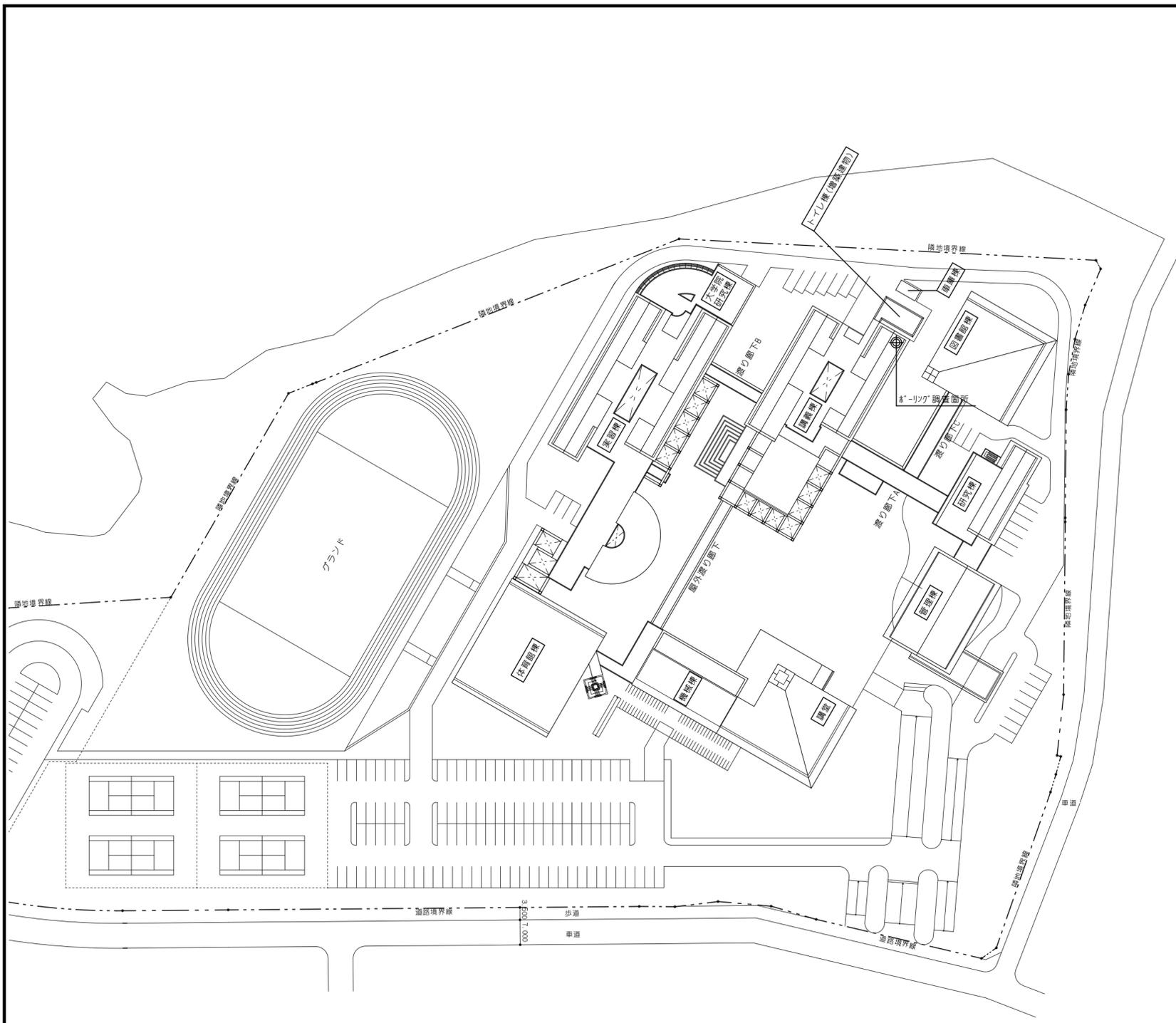
施工直後の改良体の攪拌混合状況を把握するために、比抵抗の深度方向の分布を測定する。

検査数量は、1検査対象群毎に1箇所以上かつ、50コラム毎に1箇所以上とする。

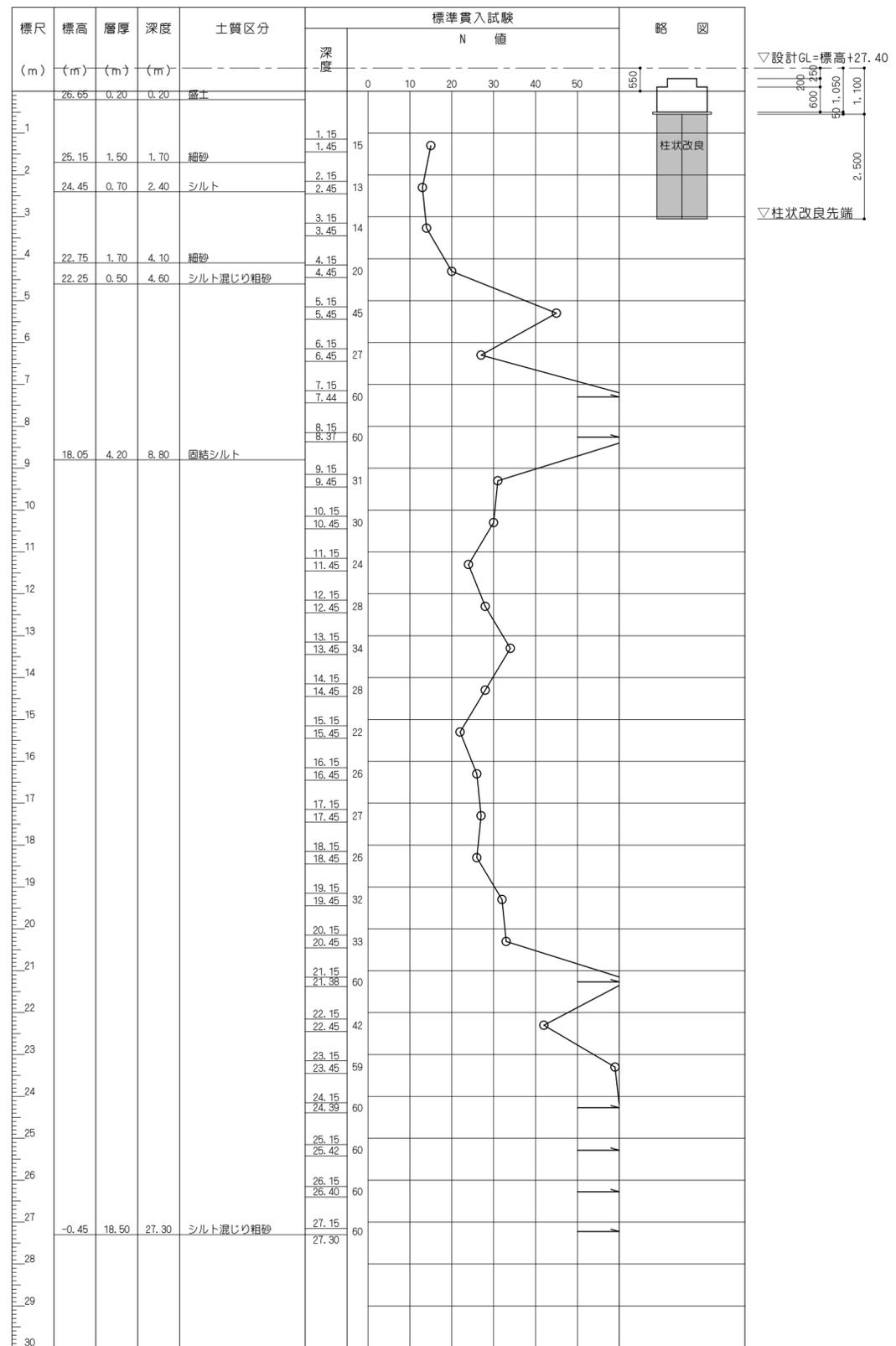
GBRC 性能証明 第08—06号036

備 考		<p style="text-align: center;"><b>NISSHIN</b> <b>SEKKEI</b> 日新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之</p>	<p>Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事</p> <p>Drawing Title 地盤改良特記仕様書</p> <p style="text-align: right;">設計担当者</p>	<p>DATE 2014 - Nov</p> <p>SCALE No Scale</p>
			<p>一般建築士 No. 327089 倉田和彦</p>	<p>S - 0 8</p>

ボアリング柱状図 S:1/100 (孔口標高+26.85m)



ボアリング調査位置図 S:1/1,000

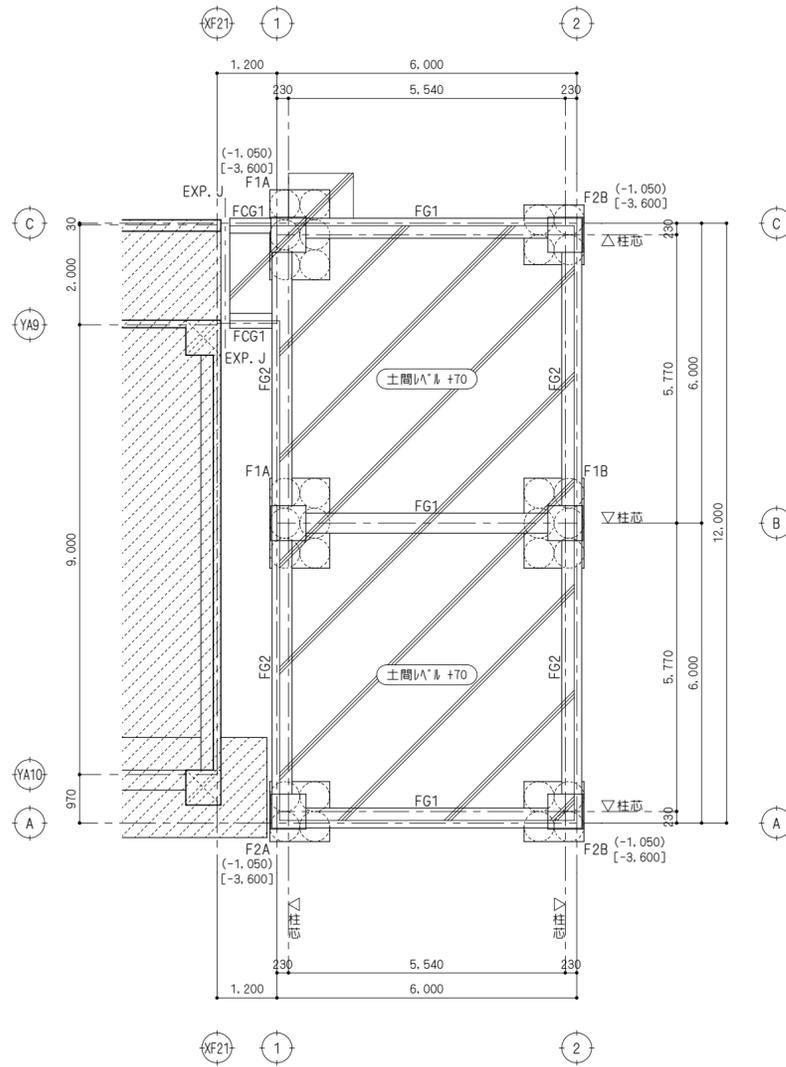


備	
用	

**NISSHIN  
SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

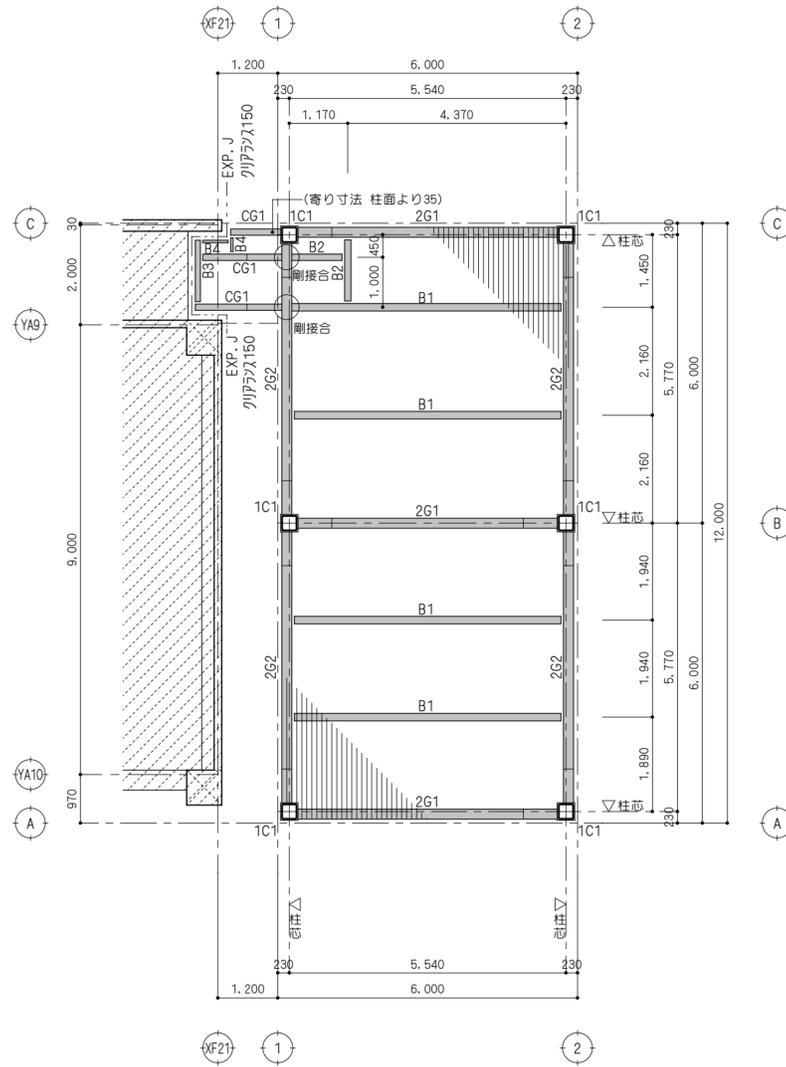
Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	ボアリング調査位置図、柱状図
設計担当者	
一般建築士 No.27089 倉田利彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/1000、100 A3: 1/1400、140
	S-09



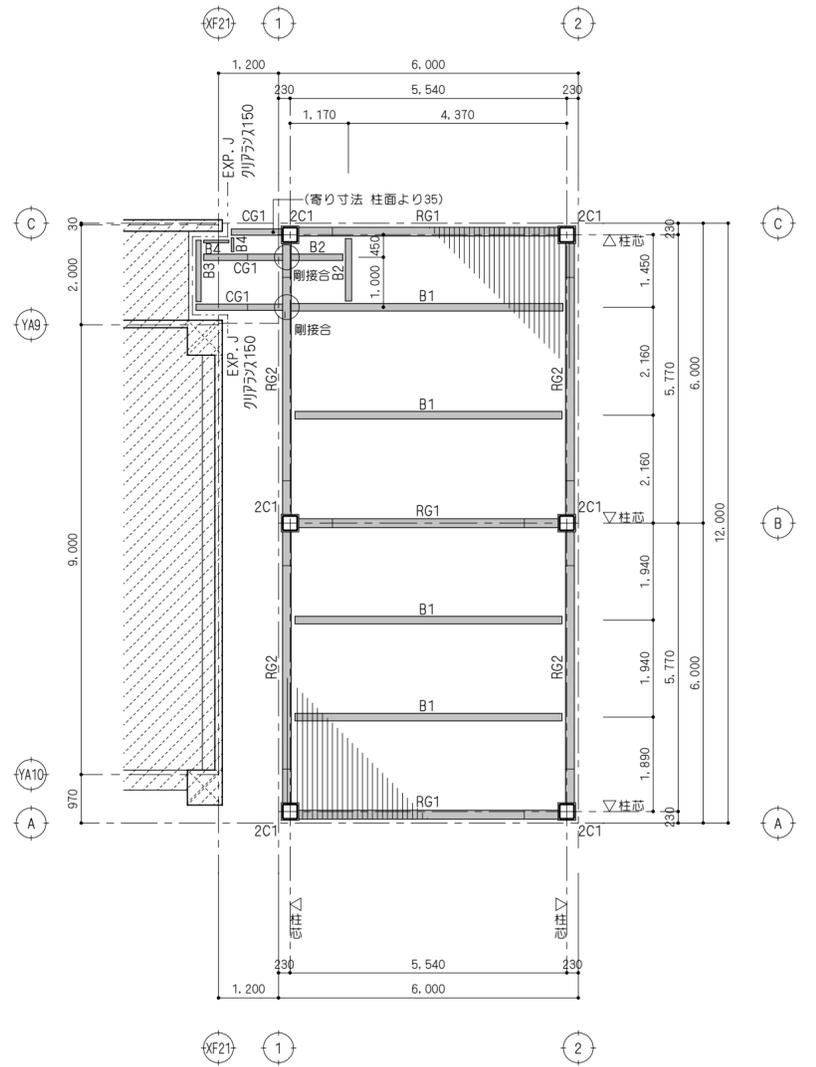
基礎伏図 S:1/100

土間コンクリート t150  
D10-@200 方向コンクリート  
※ リンゴフォーム t30  
※ リンゴフィルム t0.15



2階梁伏図 S:1/100

合成スラブ  
t=130 (50+80)

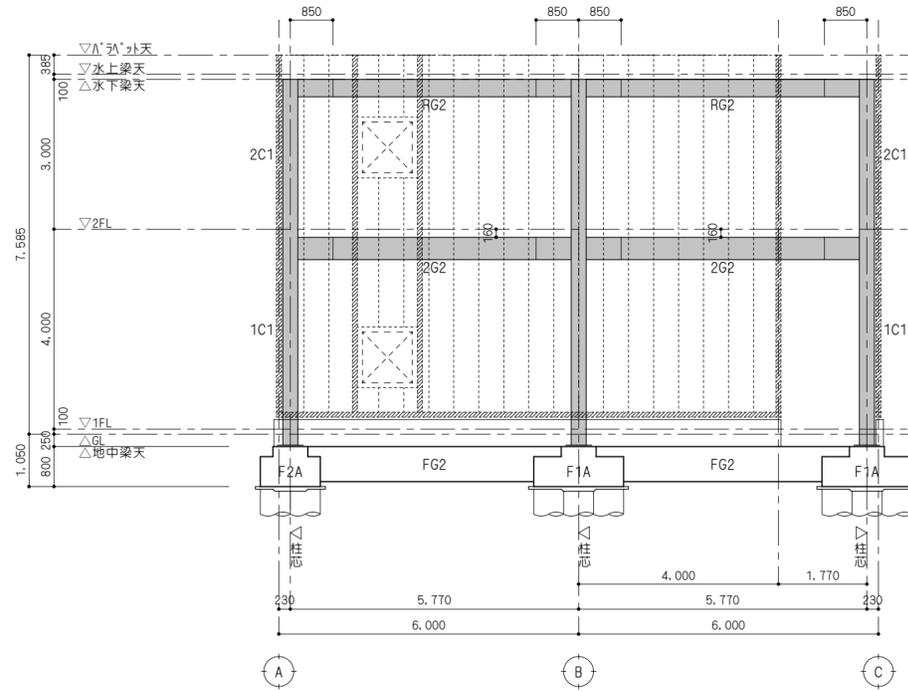


R階梁伏図 S:1/100

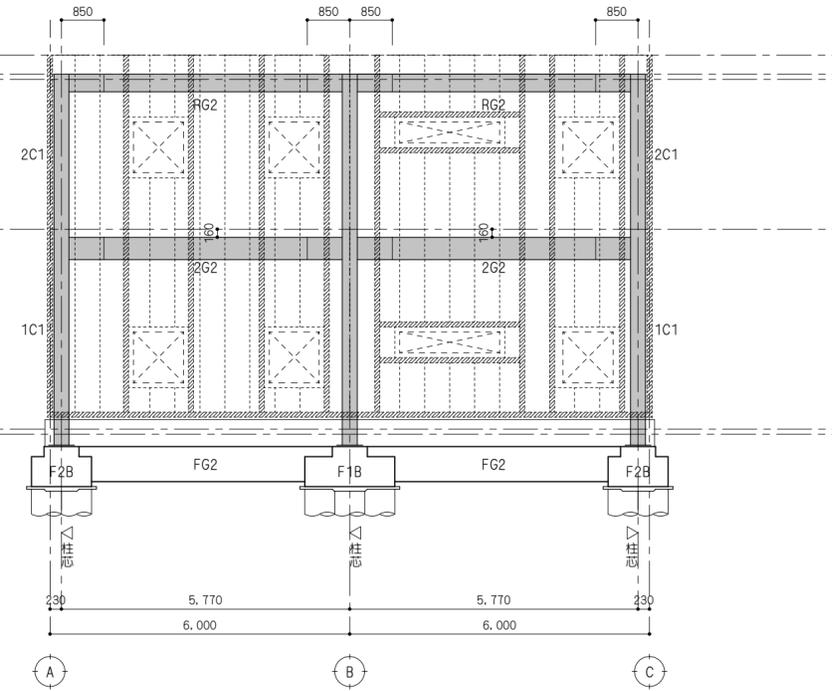
合成スラブ  
t=130 (50+80)

凡 例	
符号凡例	
符号	F1A . . . 基礎符号を示す。
	(-1.050) . . . 設計GLからの基礎底の深さを示す。
	[-3.600] . . . 設計GLからの改良コラム底の深さを示す。
改良コラム凡例	
○ . . . 改良コラム φ600	コラム設計基準強度 $F_c=900\text{kN/m}^2$ 水/固化材比 70% 固化材添加量 $300\text{kg/m}^3$ ※ 但し、施工前に室内配合試験を実施し決定する事
設計支持力	長期 $q_{aL}=200\text{kN/m}^2$
支持層	. . . 粗砂
※ 改良体施工前に試験掘を実施し、地層の状況を確認すること。 設計改良底に到達する以浅に固結シルト層等、掘削が困難な地層があった場合、監理者に確認の上、設計GL-2.10m (改良長1m以上) より浅くならない範囲で改良底を浅くしてよいものとする。	

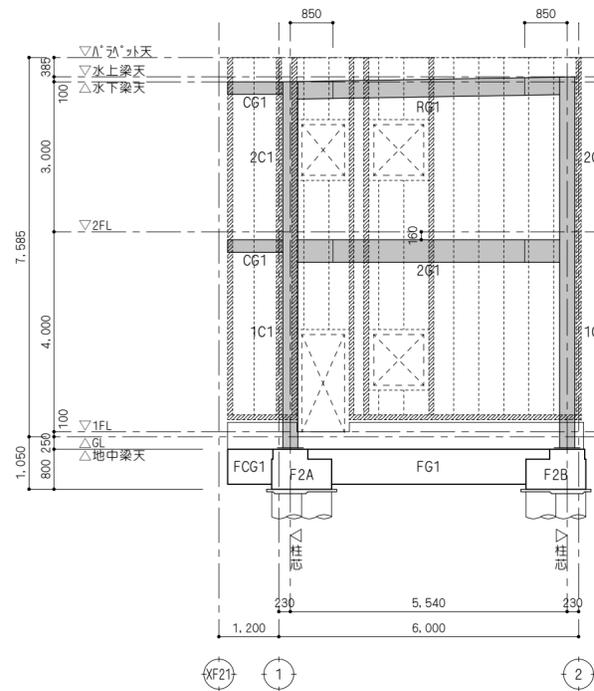
備		<p style="text-align: center;"><b>NISSHIN SEKKEI</b></p> <p style="text-align: center;">日新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之</p>	<p>Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事</p> <p>Drawing Title 基礎伏図、梁伏図</p> <p style="text-align: right;">設計担当者</p>	DATE
	用			2014 - Nov
				SCALE
				A2: 1/100
				A3: 1/140
				S-10



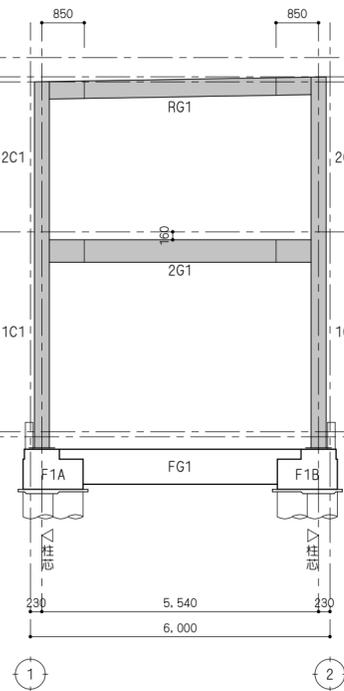
1 通り軸組図 S:1/100



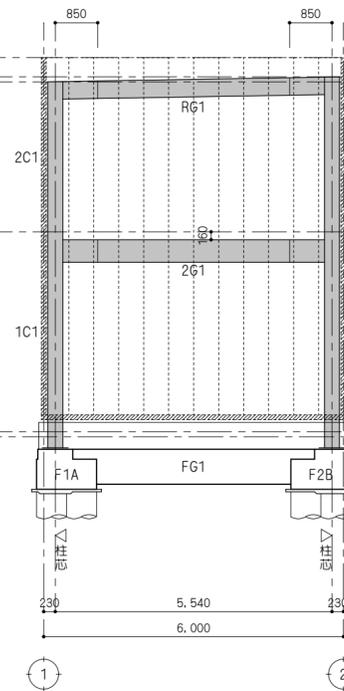
2 通り軸組図 S:1/100



C 通り軸組図 S:1/100



B 通り軸組図 S:1/100



A 通り軸組図 S:1/100

凡 例	
.....	鋼縁 : C-100x50x20x2.3@500
	鋼縁 : □-100x100x2.3

備 考	

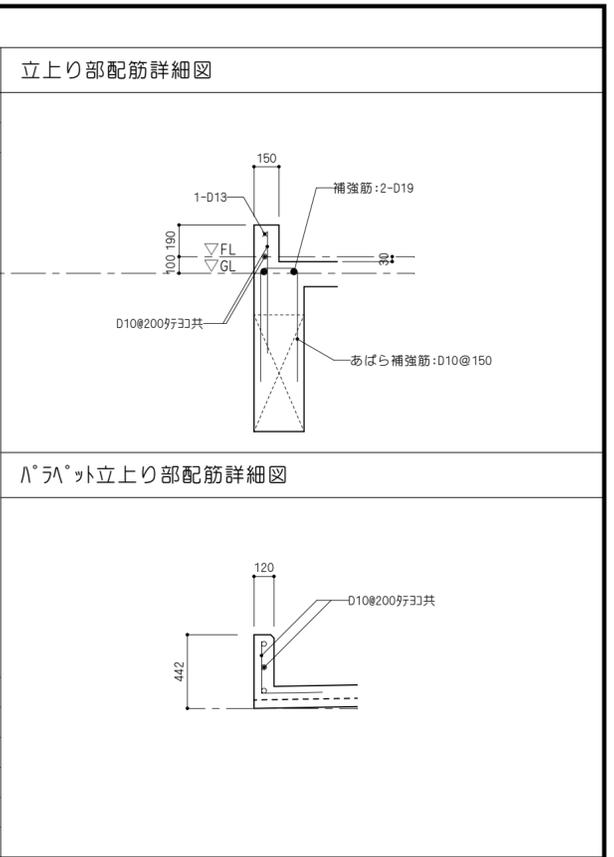
**NISSHIN  
SEKKEI**  
日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

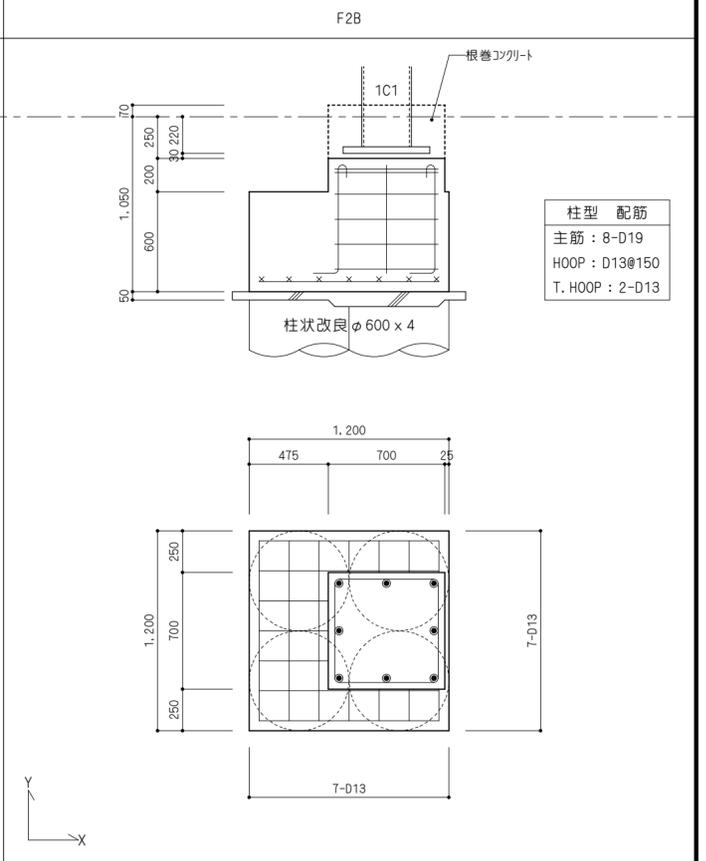
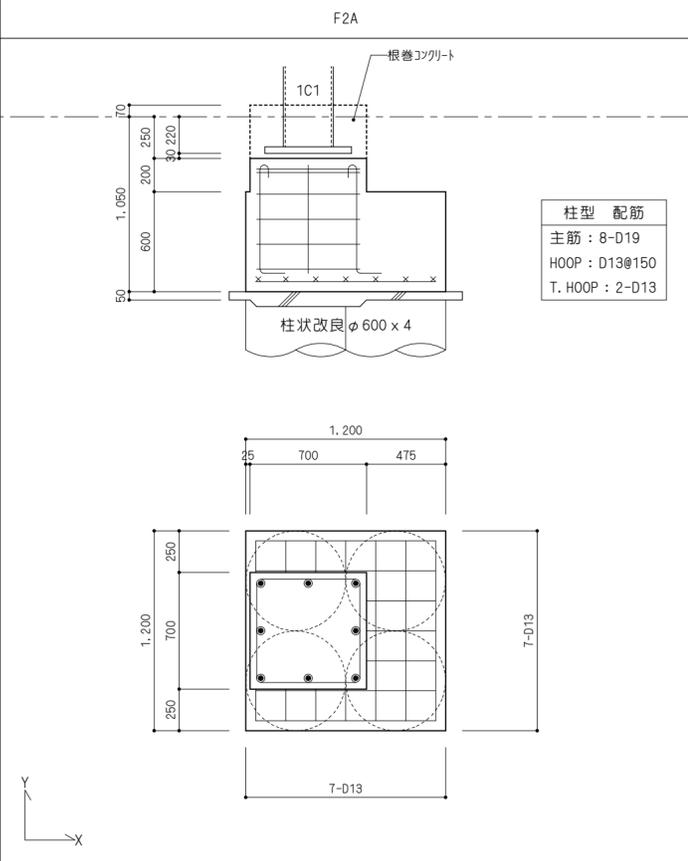
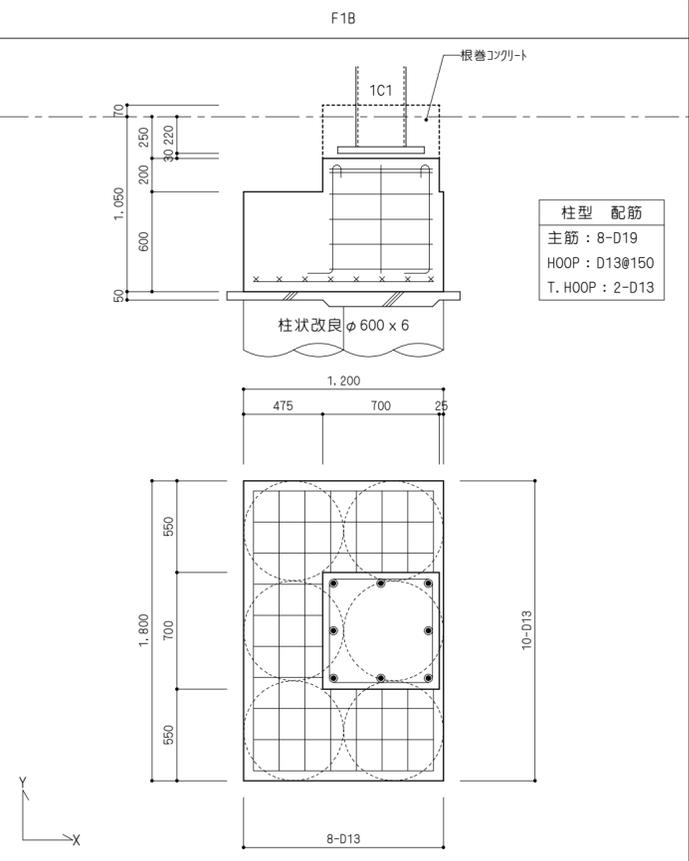
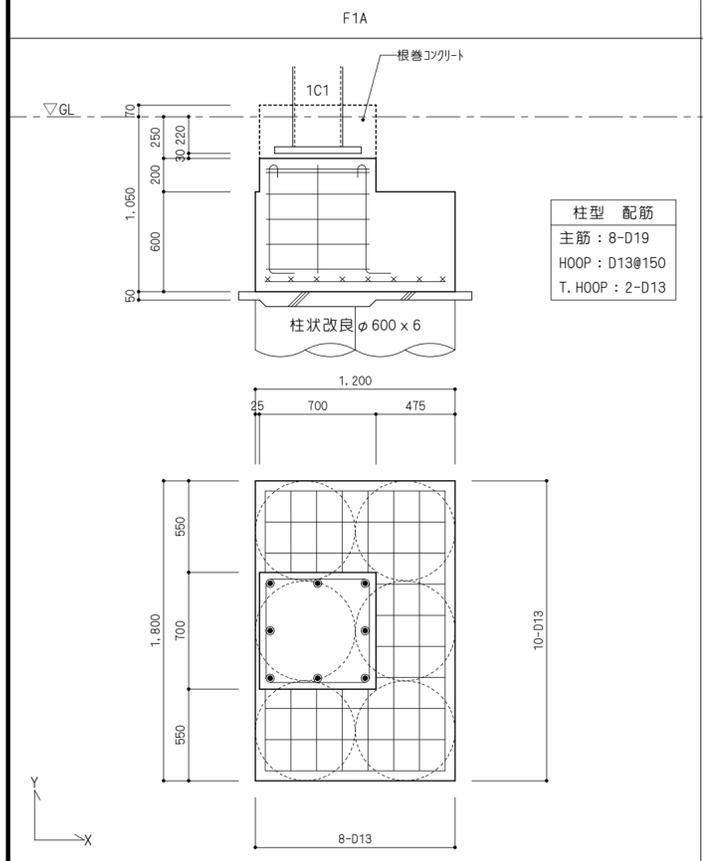
Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	軸組図	SCALE	A2 : 1/100 A3 : 1/140
Design	設計担当		
Check			

鉄骨部材リスト			
符号	部材断面	継手	鋼材種別
2C1	□-300x300x12	□	D. PL-16
1C1	□-300x300x12	□	露出型柱脚 (ハット型) 30-12R B. PL-40x520x520 A. BOLT 8-M33 D. PL-19
RG1	H-350x175x7x11	I	フランチ : 2PL-9x175x290 4PL-9x70x290 16-M20HTB ウェブ : 2PL-6x260x170 6-M20HTB(φ90)
RG2	H-350x175x7x11	I	フランチ : 2PL-9x175x290 4PL-9x70x290 16-M20HTB ウェブ : 2PL-6x260x170 6-M20HTB(φ90)
2G1	H-450x200x9x14	I	フランチ : 2PL-12x200x410 4PL-12x80x410 24-M20HTB ウェブ : 2PL-9x320x170 10-M20HTB
2G2	H-450x200x9x14	I	フランチ : 2PL-12x200x410 4PL-12x80x410 24-M20HTB ウェブ : 2PL-9x320x170 10-M20HTB
CG1	H-250x125x6x9	I	フランチ : 2PL-12x125x410 24-M16HTB ウェブ : 2PL-6x290x170 8-M16HTB
B1	H-300x150x6.5x9	I	G. PL-9 3-M20HTB(φ60)
B2	H-250x125x6x9	I	G. PL-6 3-M16HTB(φ60)
B3	H-200x100x5.5x8	I	G. PL-6 2-M16HTB(φ60)
B4	[-100x50x5x7.5	c	G. PL-6 2-M16HTB(φ60)
			SS400
胴縁	C-100x50x20x2.3 φ500	c	G. PL-4.5 2-M12中ホルト
胴縁 (出隅、外壁ジョイント部)	□-100x100x2.3	□	G. PL-4.5 2-M12中ホルト
			SSC400
			STKR400

基礎梁リスト						
階	梁記号	位置	端部	中央	全断面	全断面
F		端部	端部	中央	全断面	全断面
		位置	端部	中央	全断面	全断面
	B x D		400 x 700		400 x 700	300 x 700
	上主筋		5-D22	3-D22	3-D22	2-D22
	下主筋		3-D22	3-D22	3-D22	2-D22
	S T P		2-D10@150	3-D22	2-D10@150	2-D10@200
	腹筋		2-D10		2-D10	2-D10
	幅止め筋		D10@900		D10@900	D10@1,000



基礎リスト



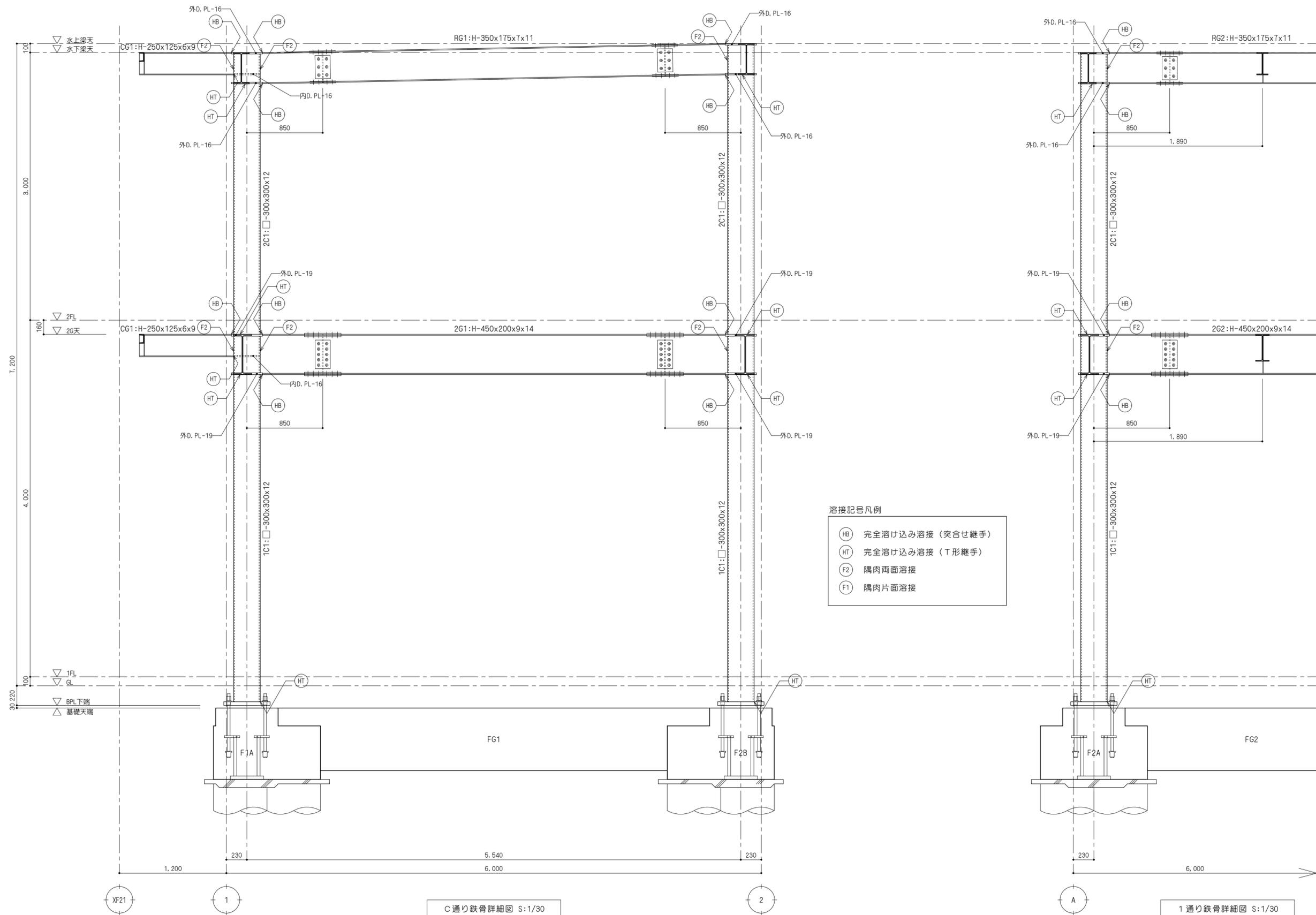
備	
庫	

**NISSHIN  
SEKKEI**

**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	部材リスト	SCALE	A2: 1/100, 30 A3: 1/140, 42
設計担当者			S-12
一般建築士 No. 327089 倉田利彦			



備	
庫	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
 日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一般建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	鉄骨詳細図	SCALE	A2: 1/30 A3: 1/42
設計担当者			
一般建築士 No.217089 倉田利彦			



4. 電気設備工事指定資材材適用規格及びメーカーリスト

分類	資材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類 (エコ電線・ケーブルを優先使用)	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	・ J I S 規格適合品 ・ J C S (日本電線工業会規格) 規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	・ J I S 規格適合品
耐火、耐熱電線		耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	・ 登録認定機関 ( (社) 電線総合技術センター) または指定認定機関 ( (社) 日本電線工業会 (耐火・耐熱電線認定業務委員会) ) により認定または評定されたもの ・ (社) 日本電線工業会により自主認定 (評定) されたもの
		一般配線工事に使用するもの	・ J I S 規格適合品
電線保護物類	金属管、V E、P F、H I V E、F E P、C D、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	・ J I S 規格適合品 ・ J I S 規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
		コンセント、スイッチ	・ J I S 規格適合品 ・ J I S 規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具 (省エネ型を優先使用)	非常用照明器具	・ J I S 規格適合品 ・ (社) 日本照明器具工業会標準 ( J I L 規格) 適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		誘導灯	・ 指定認定機関による型式適合認定または型式部材等製造者認証を受けたもの ・ (社) 日本照明器具工業会の自主評定を受け、 J I L 5 0 1 の適合マークが貼付されたもの
照明器具	その他の照明器具	安定器	・ 登録認定機関 ( (社) 日本電気協会 ( J E A 誘導灯認定委員会) ) の認定を受け、認定証が貼付されたもの
		アンテナ、ブースター、混合器、分波器、分岐器、分配機、テレビ端子、他	・ J I S 規格適合品 ・ (社) 日本電機工業規格 ( J E L ) 適合品
照明制御装置	センサ、照明制御部等	インバータ装置	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		換気扇	・ J I S 規格適合品
雷保護装置	避雷針設備 ( 突針、支持管、引下げ導線、試験用接続端子箱、他 )	サージ保護デバイス	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		避雷針設備 ( 突針、支持管、引下げ導線、試験用接続端子箱、他 )	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
録音機	分電盤、実験盤	録音機	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		制御盤	・ (社) 日本配電制御技術工業規格 ( J S I A ) 適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
消防防災用制御盤	消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備に使用するもの、火災通報装置、総合操作盤等の消防用設備等の認定対象品目	キュービクル式配電盤	・ (財) 日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証が貼付されたもの
		高圧スイッチギヤ	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
高圧機器	高圧電流ヒューズ、高圧負荷開閉器、高圧遮断器	遮断器	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		遮断器	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
変圧器	高圧変圧器	特定機器	・ (社) 日本電機工業規格 ( J E M ) 適合品のトップランナー変圧器 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		特定機器以外の変圧器	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
コンデンサ	高圧直相コンデンサ	計器用変圧器、計器用変流器	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		計器用変圧器、計器用変流器	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
計器	電圧計、電流計、周波数計、力率計、電力計、電力計 (無検定、検定付)、他	保護継電器	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		絶縁監視装置	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による

分類	資材名	適用範囲	規格・メーカー等
直流電源装置	蓄電池	消防用設備以外に使用するもの	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		防災電源用以外に使用するもの	・ J I S 規格適合品
交流無停電電源装置 ( U P S )	防災電源用	消防用非常電源、非常灯専用非常電源	・ 登録認定機関 ( (社) 日本電気協会 ( J E A 蓄電池設備認定委員会) ) の認定を受け、認定証が貼付されたもの
		消防用非常電源、非常灯専用非常電源	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
発電設備	ディーゼル発電装置	防災電源用以外に使用するもの	・ 発電機及び原動機 (ディーゼル機関) は J I S 規格又は (社) 日本電機工業規格 ( J E M ) の適合品
		防災電源用以外に使用するもの	・ 発電機及び原動機 (ガス機関) は J I S 規格又は (社) 日本電機工業規格 ( J E M ) の適合品
太陽光発電装置	パワーコンディショナ	出力 1 0 k W 未満のもの (系統連係保護機能等を有するものを含む)	・ J I S 規格適合品
		出力 1 0 k W 以上のもの (系統連係保護機能等を有するものを含む)	・ J I S 規格適合品 メーカーは「設備機材等評価名簿」による
構内交換装置	交換機、局線中継台、電源装置、電話機	太陽電池アレイ (太陽電池モジュール及びアレイ接続箱)	・ J I S 規格適合品で高効率型のもの
		架台	・ 太陽電池アレイの製造者が推奨するもの ・ N H K 共同受信施設使用機材仕様規格適合品等の認定を受けたもので、同等であると認められるもの
監視カメラ装置	カメラ、モニター、録音装置、他	構内交換装置	・ 登録認定機関 ( (財) 電気通信端末機器審査協会 ( J A T E ) 等) の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの
		監視カメラ装置	・ 登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証が貼付されたもの
自動火災報知装置	感知器、発信機、中継器、受信機、漏電火災警報器	テレビ共同受信装置	・ 優良住宅部品 ( B L 部品) の認定を受けたもので、 B L マーク証紙が貼付されたもの又は当該部品であると証明できるもの ・ N H K 共同受信施設使用機材仕様規格適合品等の認定を受けたもので、証明するマークが貼付されたもの又は当該部品であると証明できるもの ・ J E I T A デジタルハイビジョン受信機登録品の認定を受けたもので、 D H マークが貼付されたもの又は当該部品であると証明できるもの ・ 上記と同等であると認められるもの
		中央監視制御設備	・ 登録認定機関 (日本消防検定協会) の検定を受け、検定合格証書が貼付されたもの
マンホール	蓋	中央監視制御設備	メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		マンホール	・ 登録認定機関 (日本消防検定協会) の検定を受け、検定合格証書が貼付されたもの
電柱	コンクリート柱	マンホール	・ 登録認定機関 (日本消防検定協会) の検定を受け、検定合格証書が貼付されたもの
		電柱	・ J I S 規格適合品

注 ・ 「 J I S 規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示 (製品・包装の外、容器の外、結束札のごとの納品書に) J I S マーク表示、または J I S 規格証明書等の添付) のあるものをいう。  
 ・ 「設備機材等評価名簿」とは、「建築材料、設備機材等品質評価事業 設備機材等評価名簿 (電気設備機材・機械設備機材)」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。  
 ・ 「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資材を使用する場合は、評価者と同一条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。  
 ・ 特殊仕様の資材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

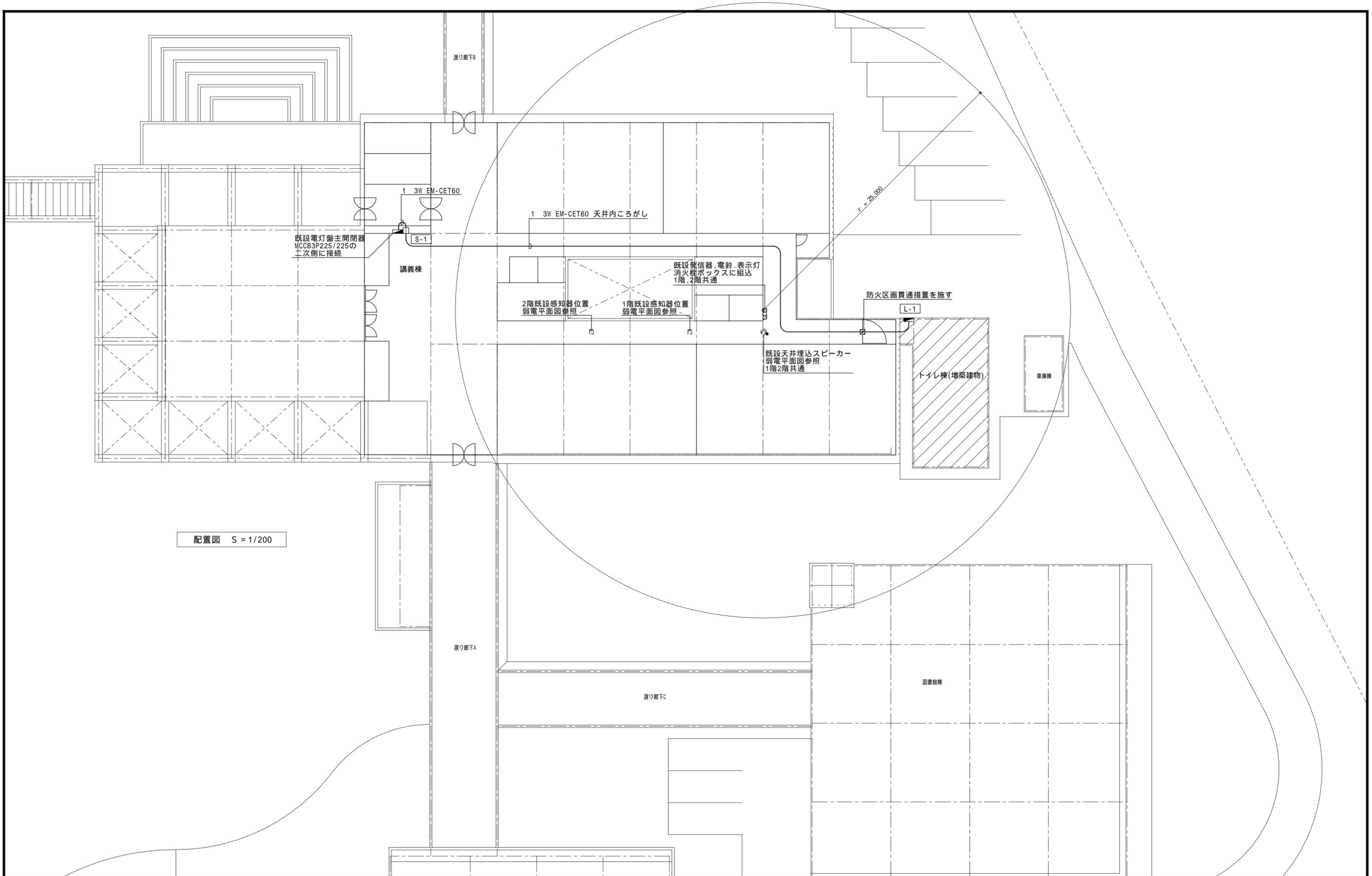
完成書類	名称	完成書類	部数
完成図 (原図サイズ)	名 称	竣工図 (製本)	1部
		竣工図 (製本)	1部
		竣工図 (製本)	2部
		竣工図 (製本)	2部
完成図 (A3 版縮小二つ折り)	名 称	竣工図 (製本)	2部
		竣工図 (製本)	2部
機器完成図	名 称	竣工図 (製本)	1部
		竣工図 (製本)	1部
安全に関する資料	名 称	竣工図 (製本)	1部
		竣工図 (製本)	1部
工事目的物引渡書	名 称	竣工図 (製本)	1部
		竣工図 (製本)	1部
電子納品	名 称	竣工図 (製本)	2部
		竣工図 (製本)	2部
完成検査写真	名 称	竣工図 (製本)	1部
		竣工図 (製本)	1部
工事目的物引渡書	名 称	竣工図 (製本)	3部
		竣工図 (製本)	3部

注 ・ 安全に関する資料は、国土交通省「施設安全マニュアル作成要領」を参照する。  
 ・ 改修工事等は既存の完成図を修正すること。  
 ・ 白抜き (青抜き不可) で文字書きのみにし、表紙 (可能な範囲で青表紙にも) に「年度、工事名、工期、竣工図 (又は施工図)、受注者名」を印字 (シール不可) すること。  
 ・ 作成しがたい場合は、監督員との協議による。  
 ・ 上記表は標準の部数であり、詳細については監督員の指示による。  
 ・ その他監督員の指示する書類を作成して提出すること。  
 ・ ファイルはチューブファイル以上とする。  
 ・ 完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

機材標準取付高さ	名称	取付高さ (mm)	備考
電力	接地端子盤	床下 - 下端	
	取引用計器	地上 - 窓中心	1,800 - 2,000
	引込開閉器	床上 - 中心	1,800 - 2,000
	分電盤	床上 - 中心	1,500 上端 1,900mm
電灯	スイッチ	床上 - 中心	1,300 1,000mm
	コンセント (一般)	床上 - 中心	300 400mm
	コンセント (和室)	床上 - 中心	200
	コンセント (台上)	床上 - 中心	150
	コンセント (WP)	床上 - 中心	1,000
	コンセント (地下)	床上 - 中心	1,000
	コンセント (土間)	床上 - 中心	500
	ブラケット (一般)	床上 - 中心	2,100 - 2,300
	ブラケット (積上)	積上端 - 中心	150
	ブラケット (処理場)	床上 - 中心	2,500
動力	壁掛型制御盤	床上 - 中心	1,500 上端 1,900mm
	手元開閉器	床上 - 中心	1,500
電話	操作スイッチ	床上 - 中心	1,300
	端子盤	床上 - 下端	300
	保安装置	床上 - 中心	2,000
	壁位置ボックス	床上 - 中心	300
時計・拡声	壁位置ボックス (和室)	床上 - 中心	200
	壁掛型観時計	床上 - 中心	1,500 上端 1,900mm
表示	子時計	床上 - 中心	2,300
	壁掛型スピーカー	床上 - 中心	2,300 2,500mm
	アッチネータ	床上 - 中心	1,300
	表示器	床上 - 中心	2,300
インターホン	壁付発信器	床上 - 中心	1,300
	壁位置ボックス	床上 - 中心	300
	壁位置ボックス (和室)	床上 - 中心	200
	子機 (身障者用)	床上 - 中心	1,100
テレビ	呼出しボタン (身障者用)	床上 - 中心	800 - 950 便座先端から後方へ100 - 200mm 2 個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)
	表示灯 (身障者用)	床上 - 中心	1,800
	機器収納箱	床上 - 中心	2,000
	直列ユニット	床上 - 中心	300
火災報知	直列ユニット (和室)	床上 - 中心	200
	受信機・耐受信機	床上 - 中心	1,500
	発信器	床上 - 中心	1,300
	表示灯	床上 - 中心	1,800
ベル	ベル	床上 - 中心	2,300
	ベル	床上 - 中心	2,300

参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成 21 年国土省告示第 906 号) ユニバーサルデザインのまちづくり施設 整備マニュアル (平成 20 年 4 月 三巻集)

備 考	NISSHIN SEKKEI 目新設計株式会社		Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事		DATE 2014 - Nov
	目新設計株式会社		Drawing Title メーカーリスト		SCALE A2:N・S A3:N・S
	目新設計株式会社		設計担当者		E - 02
	目新設計株式会社		目新設計株式会社		
		一級建築士 327089 倉田和彦			
		三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.215909 國分恵之			



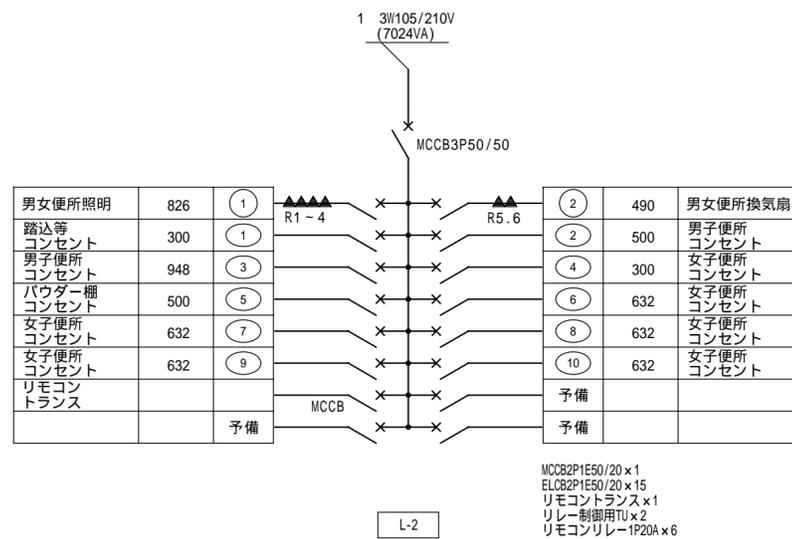
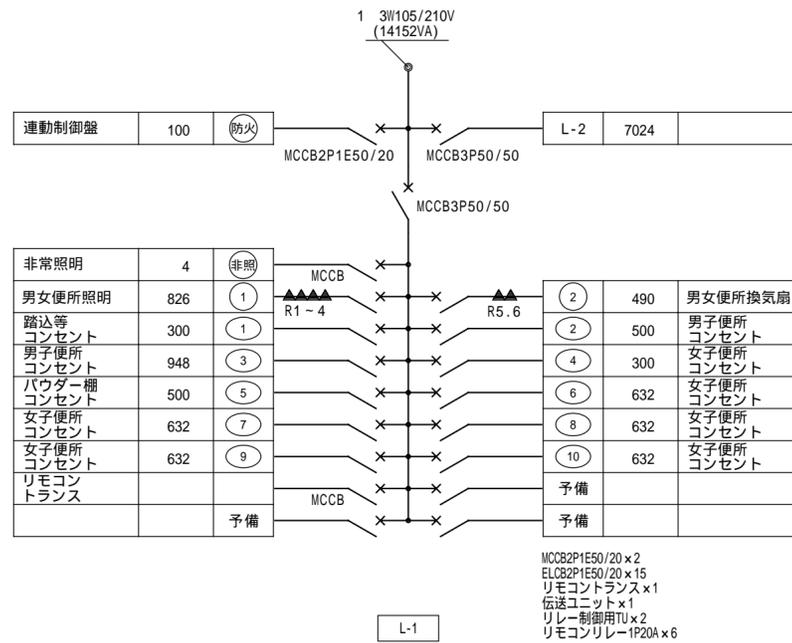
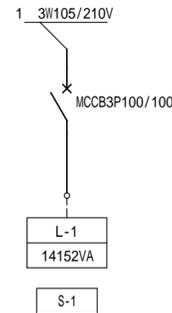
配置図 S = 1/200

備考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	配置図
Designator	設計担当者
Architect	一級建築士 327089 倉田和彦

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2:1/200 A3:1/280
	E - 03



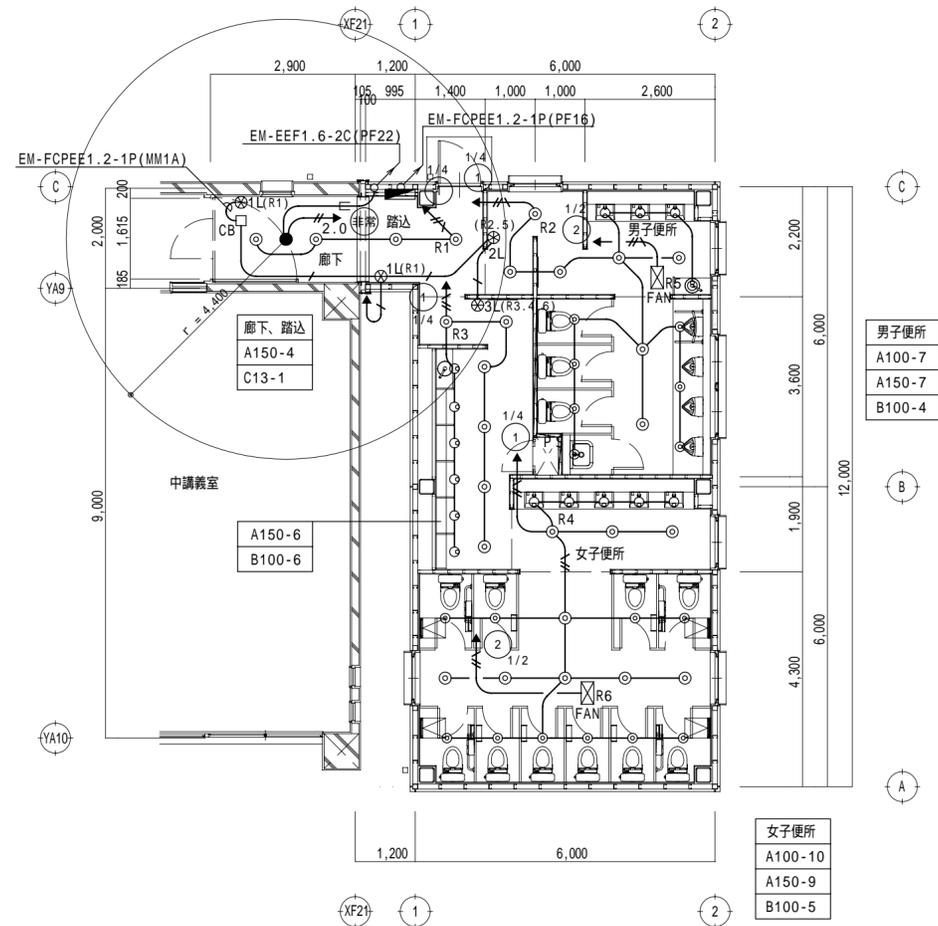
A100		LED100形	LRS1-950LM-LN	B100		LED100形	NNN62632W LE1																																
A150		LED150形	LRS1-1400LM-LN																																				
<p>JE3.6V13W 非常灯認定番号：LALH-02</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.3m</th> <th>2.4m</th> <th>2.5m</th> <th>2.6m</th> <th>2.7m</th> <th>2.8m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>4.0m</td> <td>4.2</td> <td>4.4</td> <td>4.5</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>8.6m</td> <td>9.2</td> <td>9.5</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>6.9m</td> <td>7.4</td> <td>7.6</td> <td>7.8</td> <td>8.0</td> <td>8.3</td> </tr> </tbody> </table>								器具取付高さ	2.1m	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m	単体配置	A1	4.0m	4.2	4.4	4.5	4.6	4.7	直線配置	A2	8.6m	9.2	9.5	9.9	10.1	10.5	四角配置	A4	6.9m	7.4	7.6	7.8	8.0	8.3
器具取付高さ	2.1m	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m																																
単体配置	A1	4.0m	4.2	4.4	4.5	4.6	4.7																																
直線配置	A2	8.6m	9.2	9.5	9.9	10.1	10.5																																
四角配置	A4	6.9m	7.4	7.6	7.8	8.0	8.3																																
C13		JE3.6V13W	K1-IRS4-JE13	電池内蔵型																																			

型番は参考とする

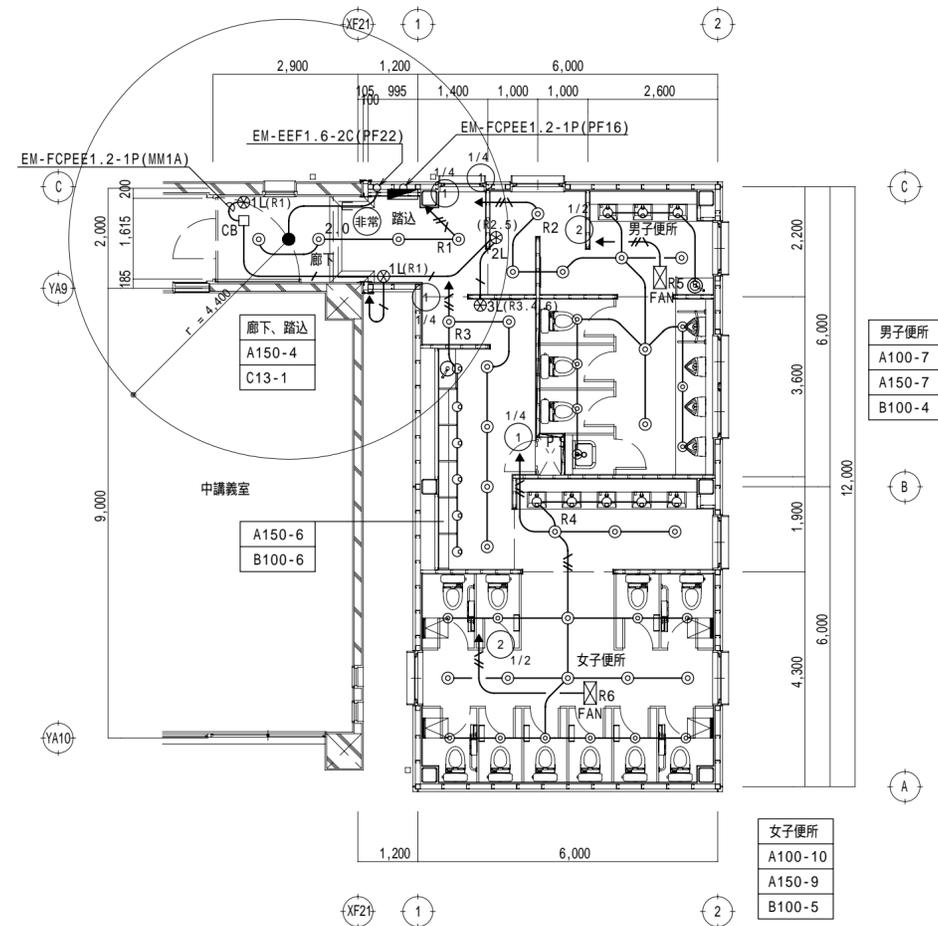
記号	名称
	電灯分電盤
	LED灯 ダウンライト
	LED灯 ダウンライト(ユニバーサル)
	換気扇 機械設備工事
	リモコンスイッチ フル2線式 表示、ネーム付
	埋込コンセント 2P15A 1ヶ口 接地端子付
	天井埋込スピーカー SC6Hi-1V3-M
	ジャンクションボックス
	1種金属線び コーナーボックス
	プルボックス
	接地極

備考	

<p style="text-align: center;"><b>NISSHIN</b> <b>SEKKEI</b> <b>目新設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.215909 國分恵之</p>		Job Title 三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE 2014 - Nov
		Drawing Title 分電盤結線図・照明器具姿図・凡例	SCALE A2:1/100 A3:1/140
設計担当者 一級建築士 327089 倉田和彦		E - 04	



1階平面図 S=1/100



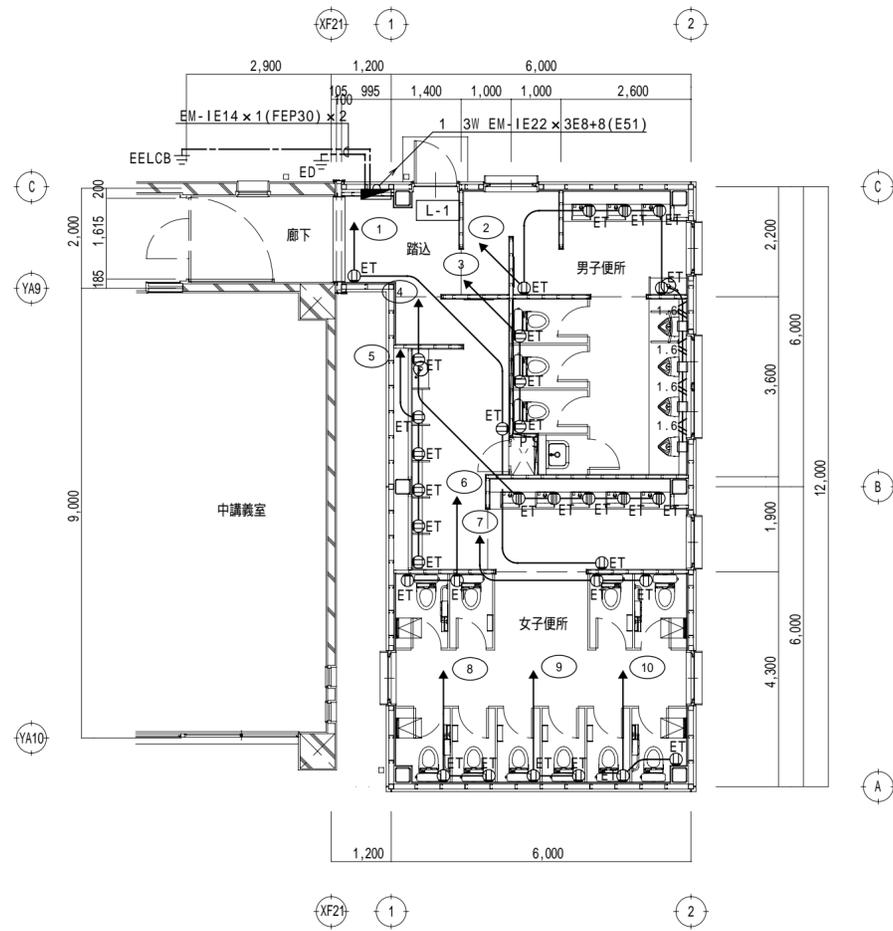
2階平面図 S=1/100

図中記入なき配線は下記とする	
—	EM-EEF1.6-3C 内1Cは接地線
—	EM-EEF2.0-2C
—	EM-EEF2.0-3C
—	EM-FCPEE1.2-1P
斜線の傾きの異なるものは接地線を示す	
ケーブル工事においてコンクリート部分及び壁内部は(PF22)にて保護とする	

備	
考	

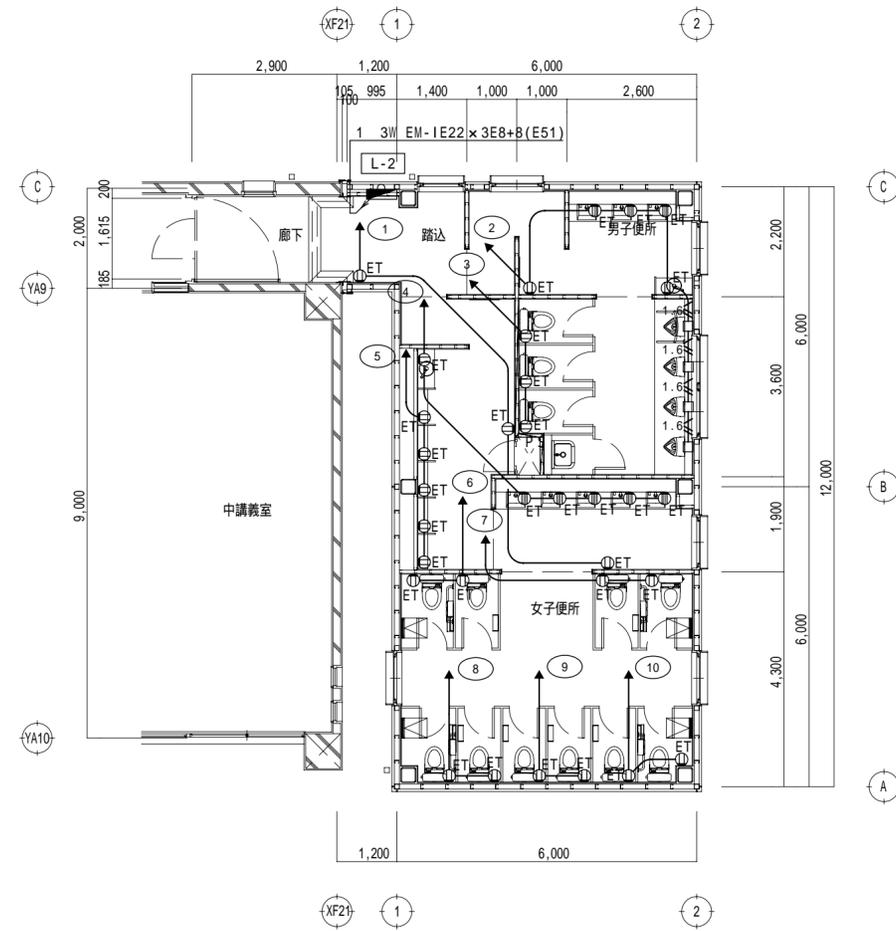
**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**目新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	電灯設備 1階・2階平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/140
Designator	設計担当者		
Designer	一級建築士 327089 倉田和彦		E - 05



1階平面図 S=1/100

図中記入なき配線は下記とする	
	EM-EEF2.0-3C 内1Cは接地線
	EM-EEF1.6-3C(PF22)
斜線の傾きの異なるものは接地線を示す	
ケーブル工事においてコンクリート部分及び壁内部は(PF22)にて保護とする	



2階平面図 S=1/100

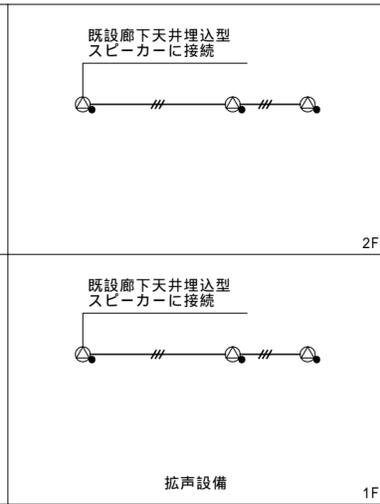
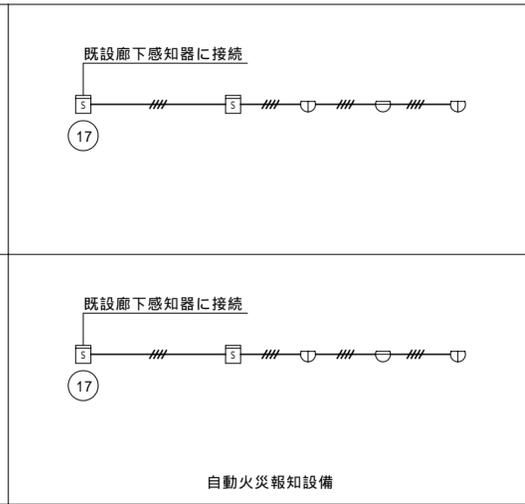
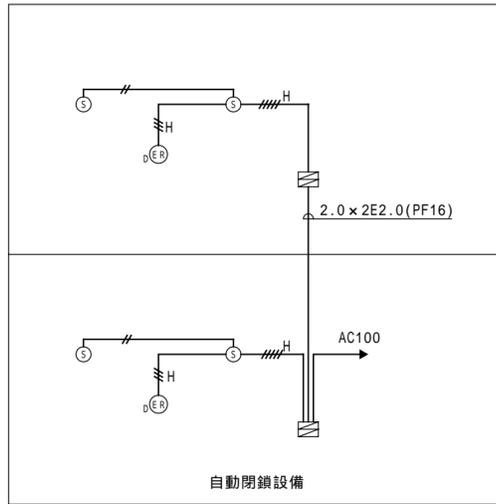
備	
考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.215909 國分恵之

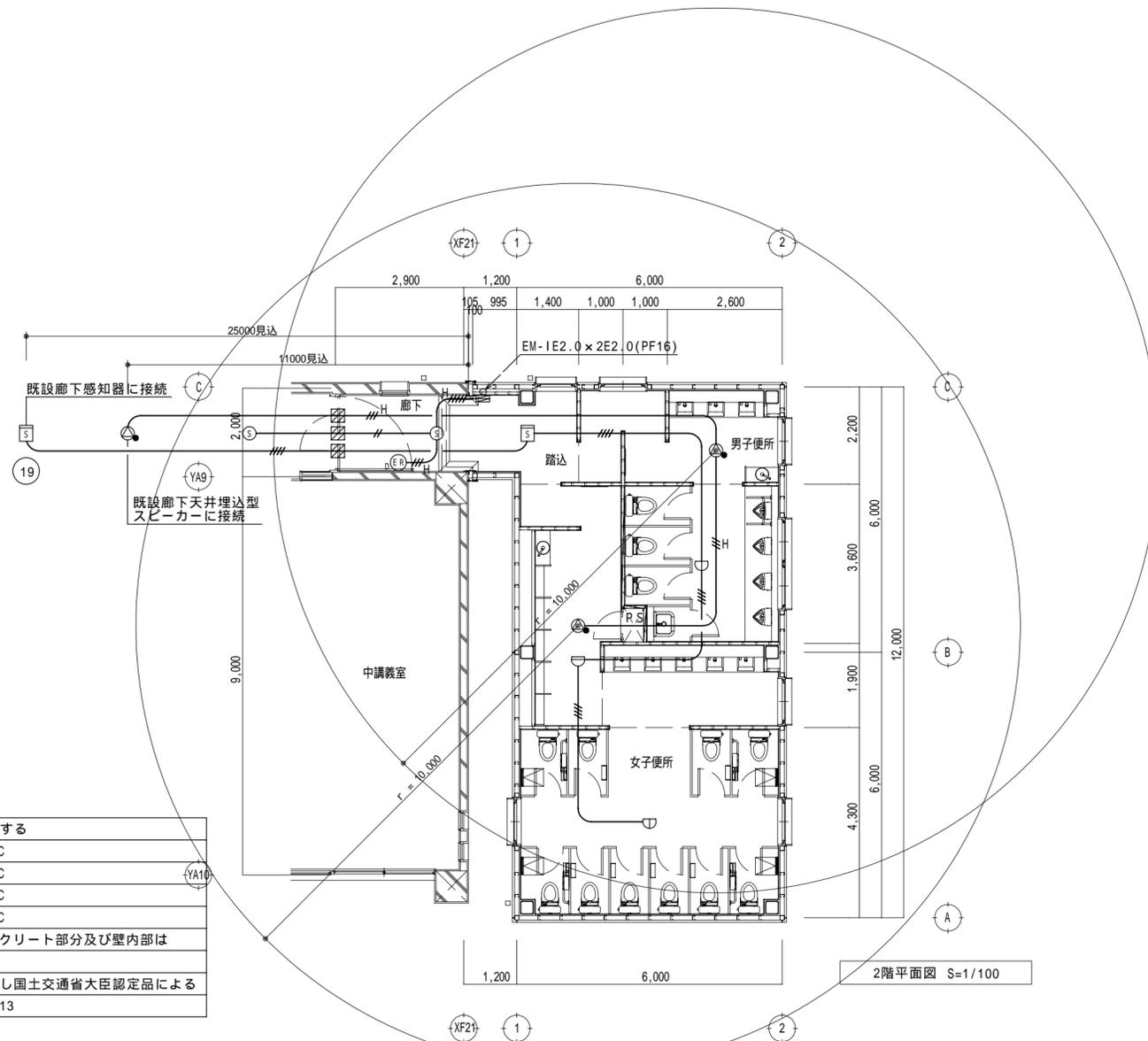
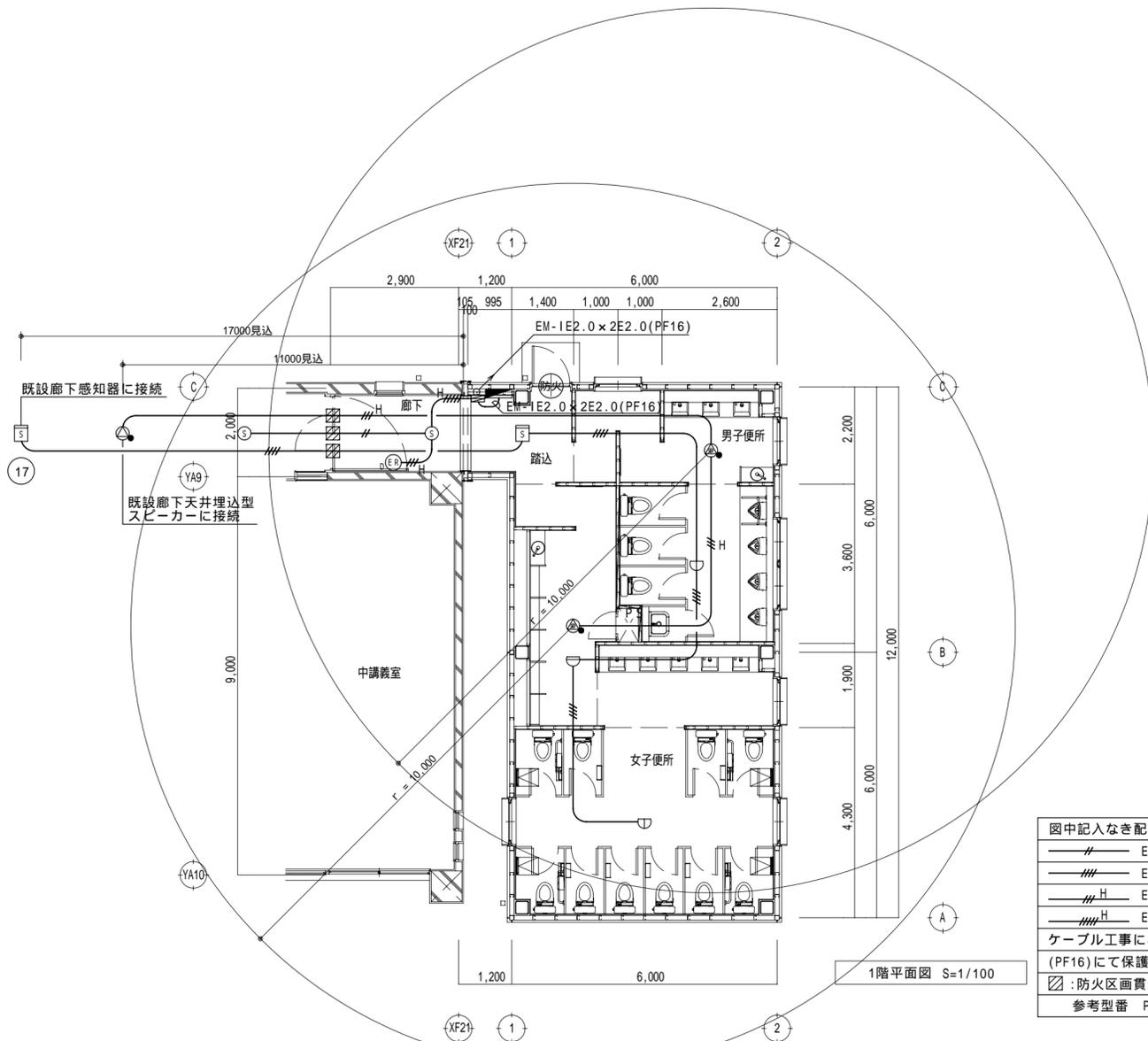
Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	コンセント設備 1階・2階平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/140
Designator	設計担当者		
Level	一級建築士 327089 倉田和彦		

E - 06

凡例	
記号	名称
☐	感知器 差動式スポット型 2種
☐	感知器 定温式スポット型 1種 防水型
☐	感知器 煙 2種
☐	運動制御盤 1回線 露出型
☐	感知器 煙 3種
☐	ドアエジェクター ラッチ式



拡声設備	
スピーカー定格入力	
管理棟	28W
研究棟	84W
図書館棟	24W
講義棟	63W
実習棟	102W
厨房・食堂	14W
体育館棟	87W
既設棟合計	402W
増築棟	4W
合計	406W
非常業務兼用ラック型アンプ定格出力 720W	
アンプ定格出力：720W > スピーカー定格入力：406W	
依って既設非常業務兼用ラック型アンプを再使用とする	



図中記入なき配線は下記とする

- EM-AE1.2-2C
- EM-AE1.2-4C
- EM-HP1.2-3C
- EM-HP1.2-5C

ケーブル工事においてコンクリート部分及び壁内部は (PF16)にて保護とする

☐:防火区画貫通措置を示し国土交通省大臣認定品による  
参考型番 PS060WL-0213

備	
考	

**NISSHIN  
SEKKEI**

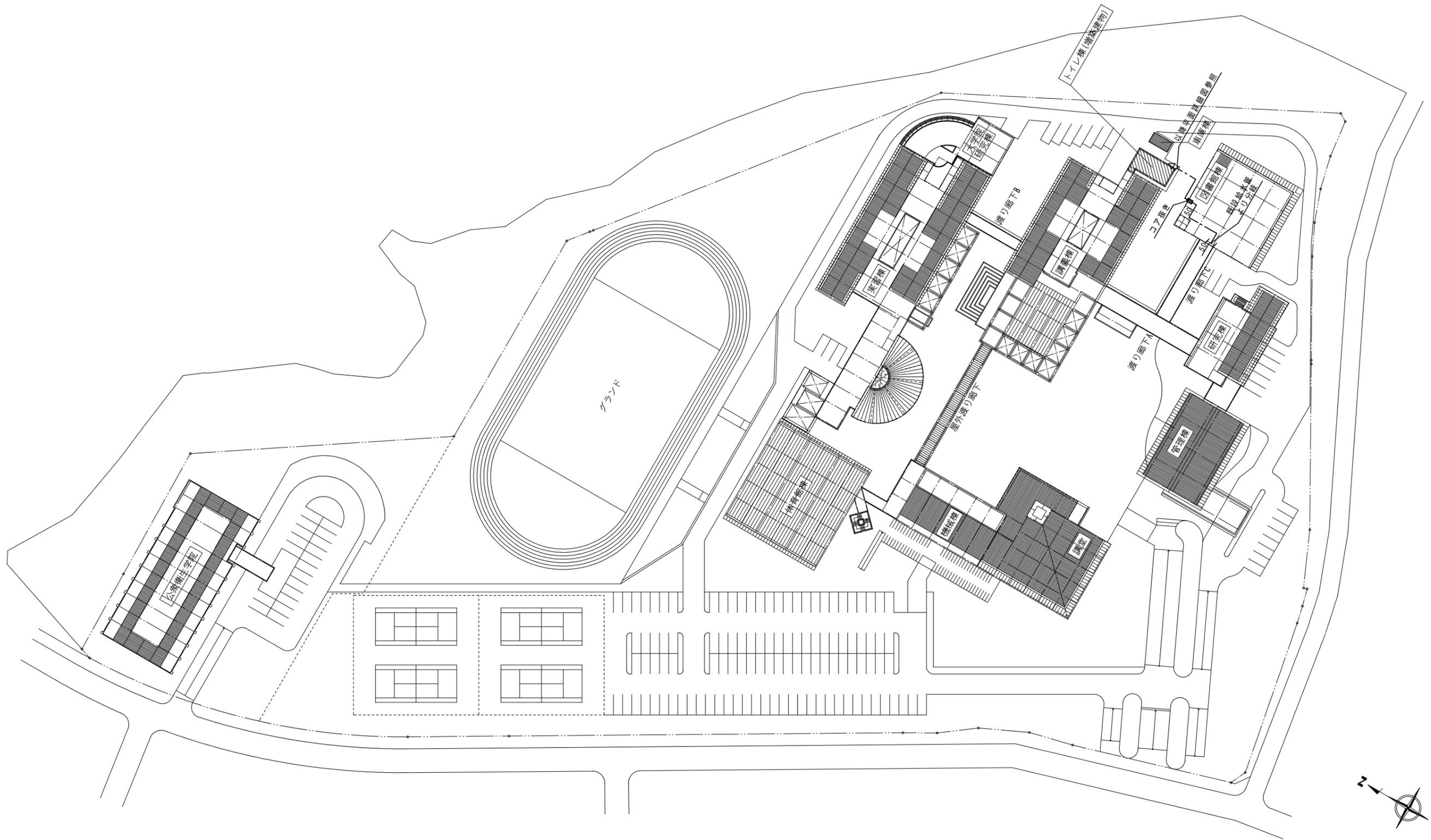
**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	拡声設備・自動火災報知設備 1階・2階平面図
Designator	設計担当者
Architect	一級建築士 327089 倉田和彦

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2:1/100 A3:1/140
	E - 07





備	
考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawing Title	配置図
設計担当者	
一級建築士 No.327089 倉田祐彦	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: 1/800 A3: 1/1,120
M-02	

図示記号

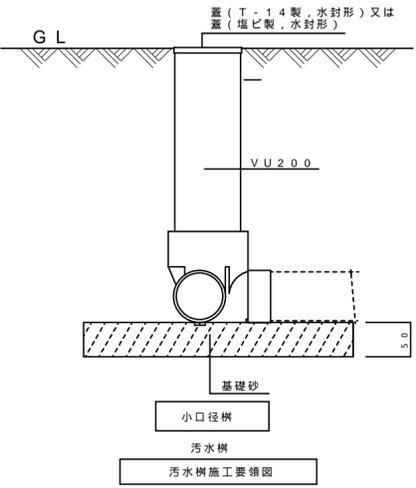
記号	名称
———	給水管
- - - - -	通気管
—————	汚水管
—————	雑排水管
——— R ———	冷媒管
——— D ———	ドレン管
——— OA ———	外気取入ダクト
—————	換気ダクト

記号	名称
○	給水栓
⊕	混合水栓
▽	弁類
⊖	床上掃除口
⊗	排水金物

樹仕様

種別	記号	樹寸法	蓋	備考
小口径インバート樹	S-2	200	下記による	記号○
雨水用小口径樹	R-2	200	下記による	記号⊗

小口径樹 特記なきは塩ビ蓋(鎖付)、Tと表示はT-14(鋳鉄蓋)、格子と表示は格子蓋とする。  
雨水用は、泥留バケツ取付けの事。



衛生器具表

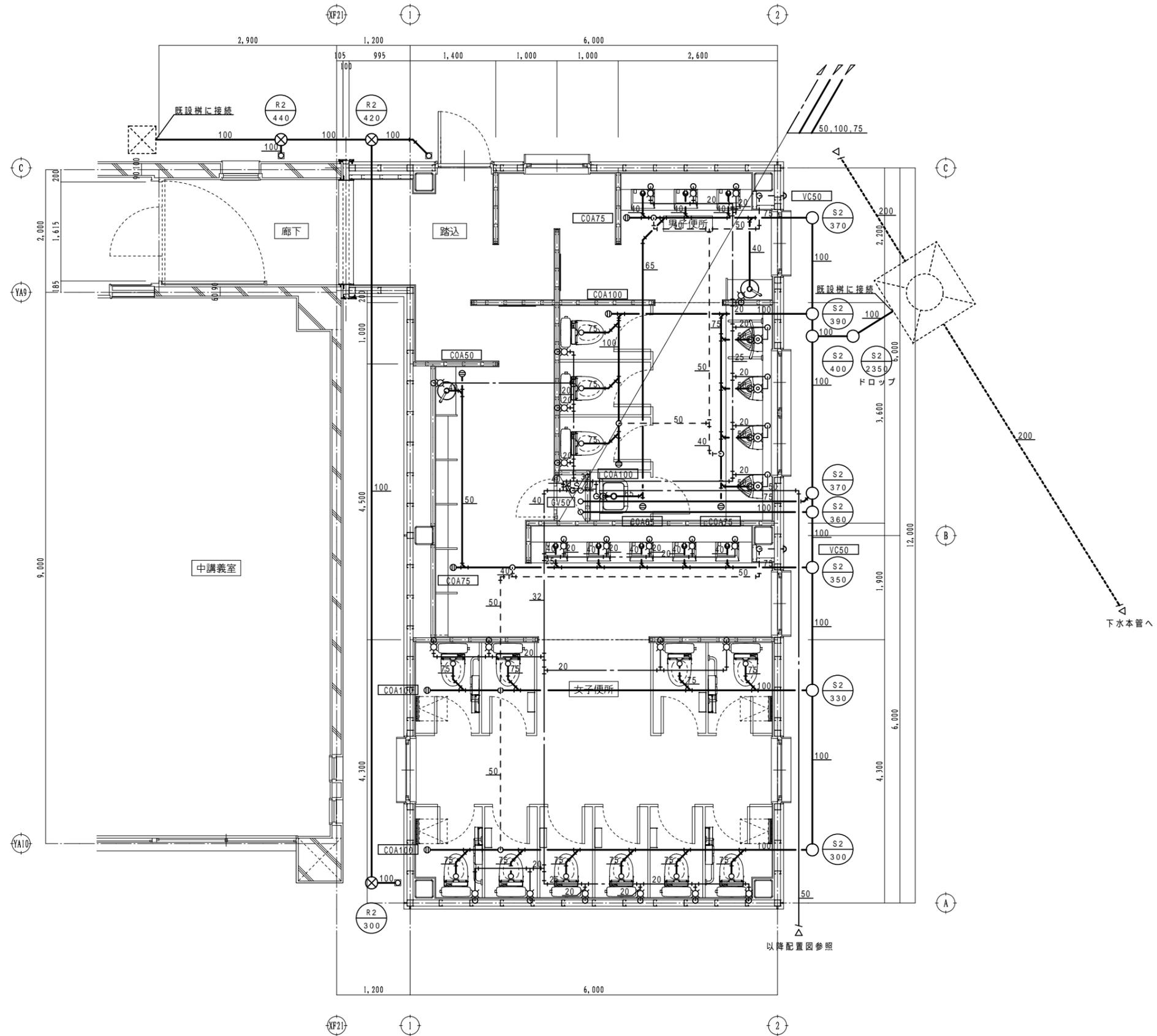
名称	品番	1F					2F					合計
		男子トイレ	男子手洗コナ	女子トイレ	女子手洗コナ	パウダールーム	男子トイレ	男子手洗コナ	女子トイレ	女子手洗コナ	パウダールーム	
洋風便器 (フラッシュタンク式)	CFS497B, TCF5533AU (ウオシュレットPS2A)	3		10			3		10			26
紙巻器 (二連式)	YH702	3		10			3		10			26
小便器 (センサー一体)	UFS800CE	4					4					8
手洗器	UH4MC900BHNX11 L=900 オニックス程度 L701 (手洗器), TEN12L (自動単水栓), TL594BP3R (排水金具)					1					1	2
手洗器	UH4MC700BHNX11 L=700 オニックス程度 L701 (手洗器), TEN12L (自動単水栓), TL594BP3R (排水金具)		1					1				2
カウンター	MKWC (奥行600) L=2200 手洗3連 オニックス程度 TEL120AS (自動単水栓), TS130HR (水石けん供給栓) MFT3NB11 フロントパネル扉式 (2200)		1					1				2
カウンター	MKWC (奥行600) L=3600 手洗5連 オニックス程度 TEL120AS (自動単水栓), TS130HR (水石けん供給栓) MFT3NB11 フロントパネル扉式 (3600)				1					1		2
掃除用流し	SK22A, TK22, T23AEQ20, TN114, T9R, T37SGEP	1					1					2
手すり (L型)	T112CL10 (700X700), T110D3RX3 (固定金具)	1		2			1		2			6
手すり (小便器)	T112CU2, T110D3RX4 (固定金具)	1					1					2
化粧鏡	YMK52K (480X1100)		4		5	1		4		5	1	20
化粧鏡 (姿見)	YMK50K (300X1500)		1			1		1			1	4
チャームボックス	YKB104 (容量6L) アルミ調塗装			10					10			20
フック	YKH22	3		10			3		10			26
フック	YKH20	4					4					8
フィッティングボード	YKA40			4					4			8

備考	
----	--

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 園分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事
Drawin Title	図示記号・樹仕様・機器表
設計担当者	

DATE	2014 - Nov
SCALE	A2: NS A3: NS
	M-03

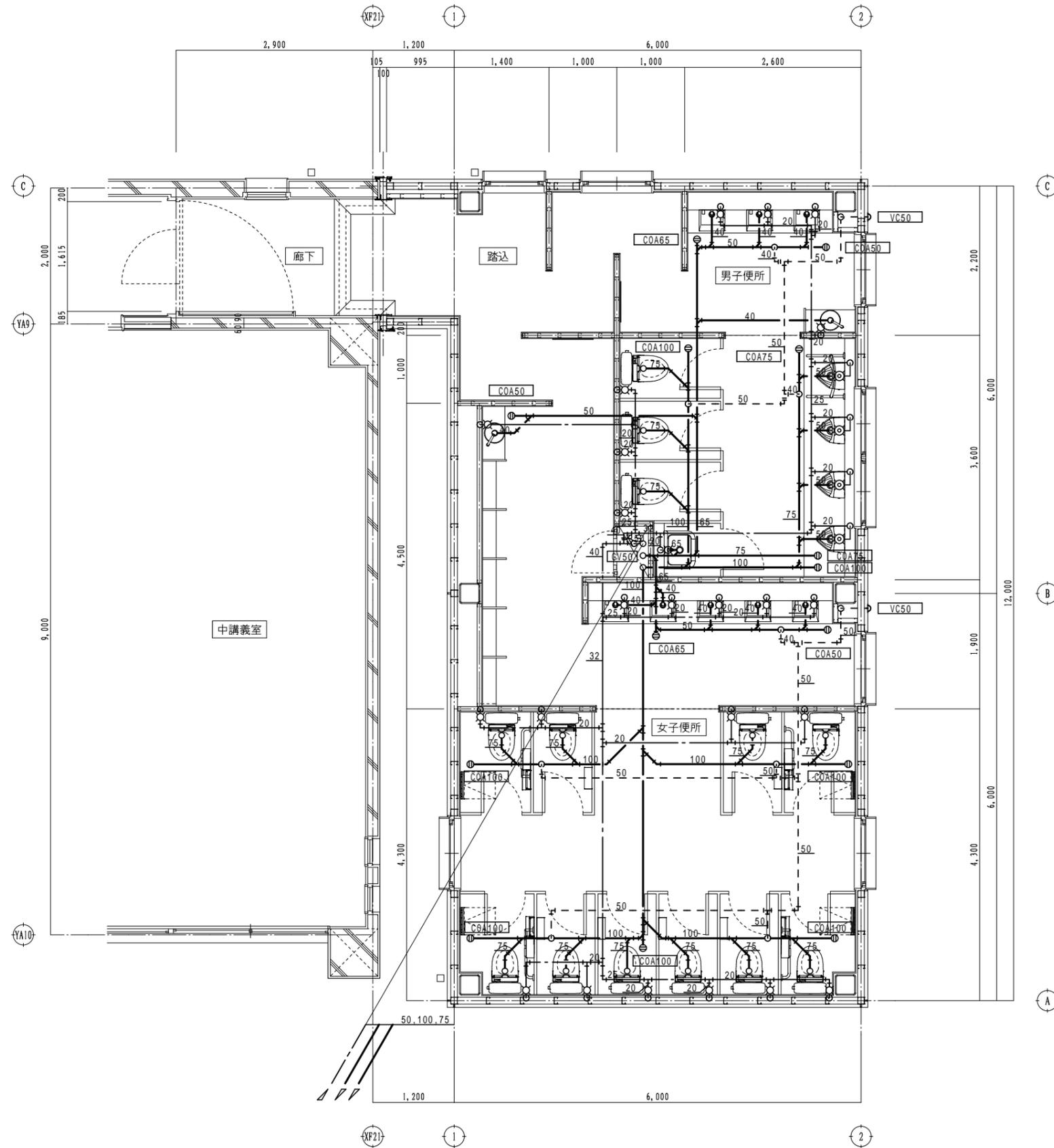


備 考	

**NISSHIN  
SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	1階平面詳細図 給排水衛生設備	SCALE	A2:1/50 A3:1/70
設計担当者			
一級建築士 No.327089 倉田雅彦			

M-04



備 考	

**NISSHIN  
SEKKEI**  
 日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	2階平面詳細図 給排水衛生設備	SCALE	A2:1/50 A3:1/70
設計担当者			
一級建築士 No.327089 倉田雅彦			

M-05

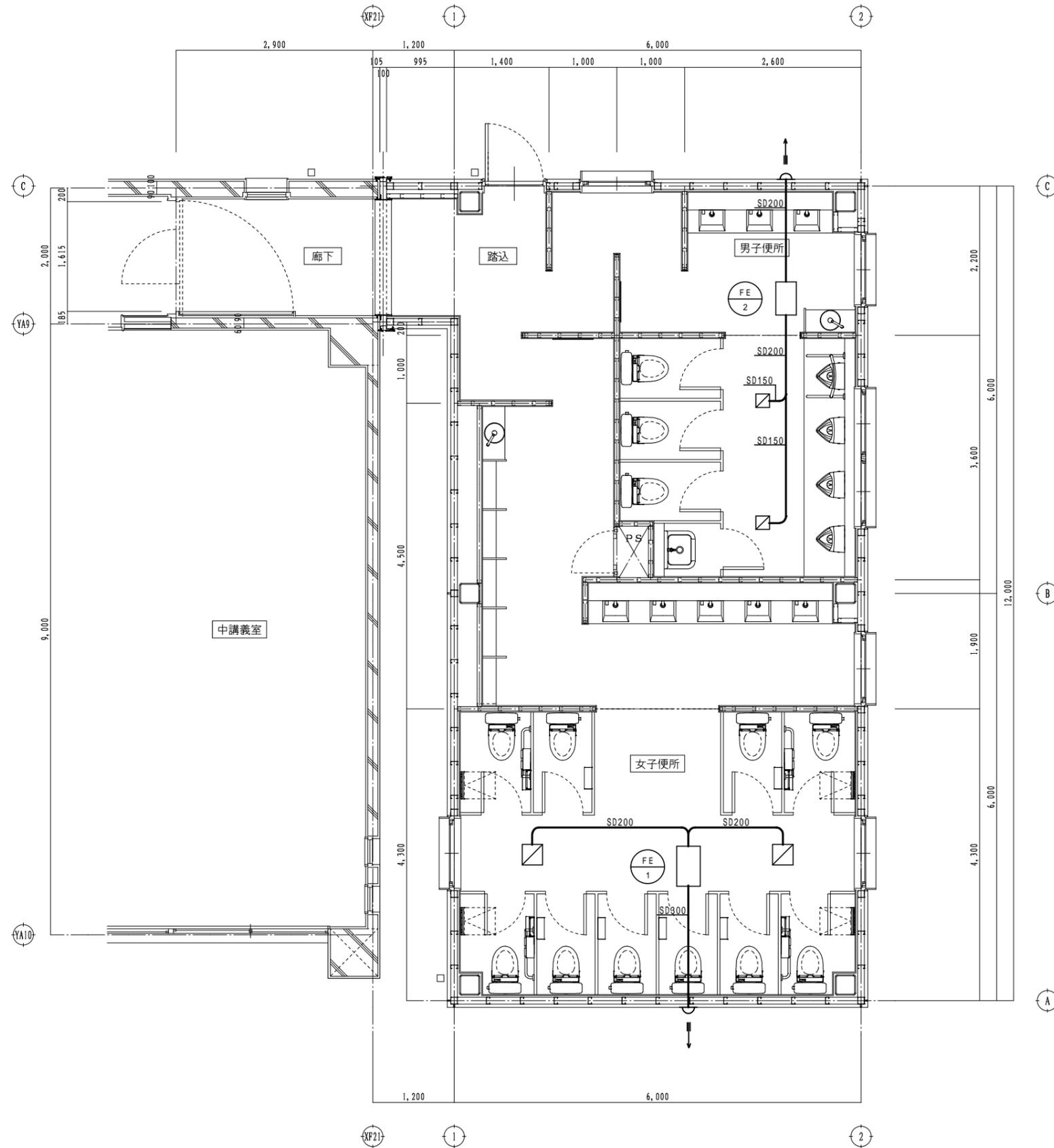
換気機器表      フード類は指定色焼付塗装とする

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量		台数	設置場所及び備考
			電源	消費電力		
			( - V )	( W )		
FE-1	排風機	形式 ストレートボックスファン 標準形	1-100	335	2	1F女子便所
	BFS-120SC	風量 1080 m3/h 100 Pa				2F女子便所
		付属品 SUS深形フード300 (FD付)、防振吊金物、他一式				
FE-2	排風機	形式 ストレートボックスファン 標準形	1-100	155	2	1F男子便所
	BFS-80SC	風量 550 m3/h 80 Pa				2F男子便所
		付属品 SUS深形フード200 (FD付)、防振吊金物、他一式				
注記	消費電力は参考とする。					

備考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号    一級建築士 No. 215909    國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	換気機器表	SCALE	A2: NS A3: NS
設計担当者			
一級建築士 No.327089 倉田和彦			
M-06			



男子便所	
HS: 200 x 200	2
EA: 275m <sup>3</sup> /h	
同上チャンパー共	2
350 x 350 x 350H	

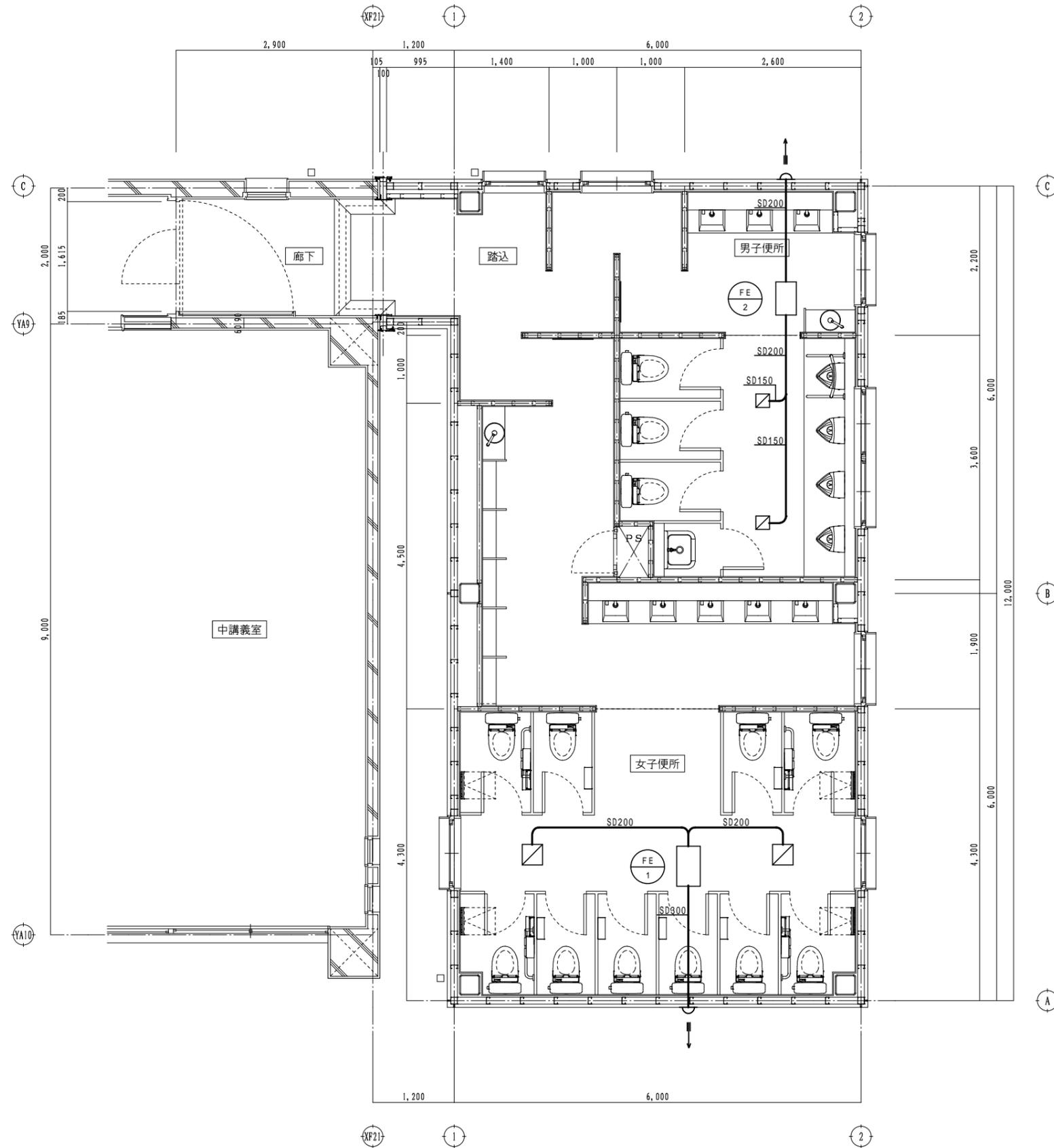
女子便所	
HS: 300 x 300	2
EA: 540m <sup>3</sup> /h	
同上チャンパー共	2
400 x 400 x 400H	

備考

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	1 階平面詳細図 換気設備	SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
設計担当者			
一級建築士 No. 327089 倉田雅彦			

M-07



男子便所	
HS: 200 x 200	2
EA: 275m <sup>3</sup> /h	
同上チャンパー共	2
350 x 350 x 350H	

女子便所	
HS: 300 x 300	2
EA: 540m <sup>3</sup> /h	
同上チャンパー共	2
400 x 400 x 400H	

備考

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 215909 國分恵之

Job Title	三重県立看護大学トイレ設備等建設工事	DATE	2014 - Nov
Drawing Title	2階平面詳細図 換気設備	SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
設計担当者			
一級建築士 No. 327089 倉田雅彦			

M-08